第３回　河川レンジャー
大阪ブロック運営会議（R8.3.2）
参考資料－1

令和７年度
淀川管内河川レンジャー活動報告
【大阪ブロック】

福島出張所管内

毛馬出張所管内

枚方出張所管内

高槻出張所管内

令和８年３月

目　次

1　福島出張所管内 1
○兒玉　曜子(18 期生:1 年目) 1
1.1 新北野ヨシ原清掃活動　・令和７年１１月15日（土） . . 1
○白川　公彦(19 期生:試行) 3
1.2 寝屋川市立三井小学校３・４年生　水辺の安全　出前授業　・令和７年７月１０日（木） 3
1.3 枚方市立山田東小学校５・６年生　出前講座（水辺の安全）　・令和７年７月１６日（水） 5
1.4 守口市立寺方南小学校６年生 水辺の安全 出前授業・令和７年１０月２日（木） 7
1.5 ライフジャケット体験＆淀川のいきものさがし　・令和７年１１月３日（月祝） . . 9
○辻川　松子(河川レンジャーアドバイザー) 11
1.6 リバーウォッチャー淀川探検【自然学習会】　・令和７年６月２６日（木） . . . 11
1.7 大阪市立新北野中学校「わがまち防災スクール」P-1・令和７年１１月１４日（金） 13
1.8 大阪市立新北野中学校「わがまち防災スクール」P-2・令和７年１１月２１日（金） 15
1.9 大阪市立十三中学校「わが町防災スクール」P-1　・令和８年１月１３日（火） . . . 17
1.10 大阪市立十三中学校「わがまち防災スクール」P-2・令和８年１月１６日（金） . . . 19
1.11 野中防災フェスタ　・令和８年２月７日（土） 21
○西岡　和昭(河川レンジャーアドバイザー) 23
1.12 木川南小学校　干潟体験　・令和７年６月２７日（金） . . . 23
○亀井　伸幸(河川レンジャーアドバイザー) 25
1.13 大阪北区ジシン本講座「大規模災害時の備えと心構え」　・令和７年８月６日（水） 25
○桑村　和男(河川レンジャーアドバイザー) 28
1.14 淀商業高校「チャレンジキャンプ２５」　・令和７年８月８日（金） 28
1.15 淀川環境美化・西淀川親子ハゼ釣り大会　・令和７年９月２７日（土） . . . 30
1.16 西淀川区民まつり　・令和７年１１月９日（日） . . . 32
2　毛馬出張所管内 34
○伊藤　茂(12 期生:7 年目) 34
2.1 淀川大堰閘門と魚道見学　・令和７年４月２６日（土） . . . 34
2.2 淀川の生き物展示会　・令和７年７月２９日（火）～８月５日（火） 36
2.3 第５１回都島区民まつり出展　・令和７年９月２７日（土） . . . 38
2.4 企業清掃プロジェクト支援　・令和７年１０月２４日（金） . 40
2.5 淀川小学校４年生（あそぼうさい）校外学習会　・令和７年１１月２２日（土） . 42
○岸田　俊徳(15 期生:4 年目) 44
2.6 淀川左岸伝法エリア清掃活動　・令和７年６月１５日（日） . . . 44
2.7 淀川名人養成講座２０２５　淀川探検隊①　・令和７年７月２６日（土） . . . 46
2.8 淀川の自然を楽しむ会（干潟での水生生物の観察会）　・令和７年７月２６日（土） . . . 48
2.9 淀川名人養成講座　番外①　・令和７年９月２１日（日） . . . 50
2.10 第５１回このはな区民まつり　ブース出展　・令和７年１０月２６日（日） . 52
2.11 環境美化ボランティア（河川敷清掃）　・令和７年１１月７日（金） . . . 54
○波戸　睦(19 期生:試行) 56
2.12 子ども食堂防災講座その１　・令和７年８月６日（水） 56
2.13 子ども食堂防災講座その２　・令和７年８月２０日（水） . . . 58
2.14 門真市立第五中学校１年生　マイ・タイムライン　・令和７年９月２日（火） 60
2.15 枚方市立蹉跎東小学校 防災学習　４年生　・令和７年９月２６日（金） . . . 62
2.16 関目東小学校４年生マイ・タイムラインづくり　・令和７年１１月１８日（火） . 64
2.17 茨木市中津校区防災会（浸水地歩行体験）　・令和８年１月１８日（日） . . . 66
2.18 鳥飼東小校区自主防災会（浸水地歩行体験）　・令和８年２月１５日（日） . . . 68
3　枚方出張所管内 70

○道場　明子(14 期生:5 年目) 70
3.1 自転車と歩行者に関する意見聴取 ・令和７年５月１０日（土）... 70
3.2 守口市こどもまつり出展（ヨシ笛づくり） ・令和７年５月１８日（日）... 72
3.3 自転車と歩行者に関する意見聴取 ・令和７年７月１９日（土）... 74
3.4 自転車と歩行者に関する意見聴取 ・令和７年９月２０日（土）... 76
3.5 自転車と歩行者に関する意見聴取 ・令和７年１０月１８日（土）. 78
3.6 自転車と歩行者に関する意見聴取 ・令和７年１１月２９日（土）. 80
3.7 ＮＡＬＣ「天の川クラブ」水の防災講座 ・令和７年１２月３日（水）... 82
3.8 自転車と歩行者に関する意見聴取 ・令和７年１２月１３日（土）. 84
3.9 寝屋川市立中央図書館 防災講座「教訓から学ぶ防災」・令和８年１月１５日（木）. 86
3.10 自転車と歩行者に関する意見聴取 ・令和８年１月１７日（土）... 88
○岡村　雅広(17 期生:2 年目) 90
3.11 多自然池エリア　なごめる水辺づくり ・令和７年４月２３日（水）... 90
3.12 枚方多自然池エリア　美化アクション ・令和７年５月１１日（日）... 92
3.13 大阪区民カレッジ城東校　枚方宿・淀川　散策と防災学習 ・令和７年５月２６日（月）... 94
3.14 多自然池エリア　なごめる水辺づくり ・令和７年５月２８日（水）... 96
3.15 多自然池エリア　なごめる水辺づくり ・令和７年６月２５日（水）... 98
3.16 枚方市立伊加賀小学校４年生　川の総合学習 ・令和７年７月７日（月） ... 100
3.17 交野市立私市小学校　着衣水泳訓練　５年生 ・令和７年７月１１日（金）.. 102
3.18 門真市立第五中学校　マイ・タイムライン２年生 ・令和７年７月１５日（火）.. 104
3.19 中楠葉春秋会　防災学習 ・令和７年８月２４日（日）.. 106
3.20 多自然池エリア　なごめる水辺づくり ・令和７年８月２７日（水）.. 108
3.21 門真市立第五中学校３年生　マイ・タイムライン ・令和７年９月１日（月）.... 110
3.22 枚方青年会議所　防災フェスタ ・令和７年９月６日（土） ... 112
3.23 枚方市立桜丘北小学校 防災学習 ４年生 ・令和７年９月１２日（金）.. 114
3.24 枚方市立春日小学校 防災学習 ４年生 ・令和７年９月２２日（月）.. 116
3.25 多自然池の生き物から森と海の繋がりを知る ・令和７年９月２３日（火）.. 118
3.26 多自然池エリア　なごめる水辺づくり ・令和７年９月２４日（水）.. 120
3.27 枚方宿・淀川　散策と防災学習 ・令和７年１０月１日（水）.. 122
3.28 枚方市立中宮小学校　防災学習 ・令和７年１０月１７日（金） 124
3.29 枚方市立中宮小学校　防災学習Ⅱ ・令和７年１０月２１日（火） 126
3.30 枚方市立伊加賀小学校　４年生　防災学習Ⅱ ・令和７年１０月３０日（木） 128
3.31 枚方市立桜丘北小学校　４年生　川の学習 ・令和７年１１月７日（金）.. 130
3.32 枚方市立田口山小学校　５年生　防災学習 ・令和７年１１月１０日（月） 132
3.33 令和７年度枚方市総合防災訓練（ひこ防’ｚ） ・令和７年１１月２２日（土） 134
3.34 多自然池エリア　なごめる水辺づくり ・令和７年１１月２６日（水） 136
3.35 枚方市立樟葉西小学校　４年生　防災学習 ・令和７年１２月９日（火）.. 138
3.36 枚方市立田口山小学校　５年生　浸水地歩行 ・令和７年１２月１２日（金） 140
3.37 常翔啓光学園　天野川クリーンアップ活動 ・令和７年１２月１２日（金） 142
3.38 枚方市立樟葉西小学校４年生　浸水地歩行体験 ・令和７年１２月１５日（月） 144
3.39 多自然池エリア　なごめる水辺づくり ・令和７年１２月２４日（水） 146
3.40 枚方市立津田小学校　４年生　防災学習 ・令和８年１月１９日（月）.. 148
3.41 枚方市立樟葉西小学校校区　総合防災訓練 ・令和８年１月２５日（日）.. 150
○天野　康生(18 期生:1 年目) 152
3.42 庭窪ワンド保全活動 ・令和７年５月２５日（日）.. 152
3.43 庭窪ワンド保全活動 ・令和７年６月８日（日） ... 154
3.44 庭窪ワンド保全活動 ・令和７年７月１３日（日）.. 156
3.45 庭窪ワンド意見交換会 ・令和７年８月１０日（日）.. 158
3.46 庭窪ワンド保全活動 ・令和７年９月１４日（日）.. 160
3.47 うめきた朝ガク ・令和７年９月２５日（木）.. 162
3.48 庭窪ワンド保全活動 ・令和７年１０月１２日（日） 164

○安田　宇江亜(河川レンジャーアドバイザー) 166
3.49 水辺の安全利用　高槻市立丸橋小学校２・４・６年生　・令和７年７月１５日（火）.. 166
○山口　遼太(河川レンジャーアドバイザー) 168
3.50 枚方市緑化フェスティバルへの出展　・令和７年４月２６日（土）.. 168
3.51 牧野小学校いきいき広場　船橋川探検隊　・令和７年６月７日（土）... 170
3.52 大阪高齢者大学校　防災講演「マイ・タイムライン」　・令和７年７月４日（金）... 172
3.53 寝屋川市立三井小学校５・６年生　水辺の安全　出前授業　・令和７年７月８日（火）.... 174
3.54 守口市立藤田小学校６年生　水辺の安全　出前授業　・令和７年７月９日（水）.... 176
4　高槻出張所管内 178
○杉本　真一(14 期生:5 年目) 178
4.1 高槻ジュニア河川レンジャー　川の安全ウォーク活動　・令和７年４月６日（日）... 178
4.2 いまむらこどもえん　鵜殿のヨシで学ぼう！遊ぼう！！　・令和７年４月１９日（土）.. 180
4.3 摂津市水辺の生き物観察会　・令和７年７月２５日（金）.. 182
4.4 高槻ジュニア河川レンジャー　・令和７年９月１４日（日）.. 184
4.5 秋のワンドでいきものさがし　・令和７年１１月８日（土）.. 186
4.6 川の学習会（川スタ）～防災教室 in 三箇牧小学校～・令和７年１２月８日（月）. 188
4.7 いまむらこどもえん かんきょうお話し会(鵜殿見学)・令和８年１月１９日（月）. 190
4.8 川の学習会（川スタ）環境教室４年生　・令和８年１月２３日（金）.. 192
4.9 たかつき川の学習会 三箇牧小学校環境教室(生活科)・令和８年２月５日（木）... 194
○竹本　克巳(16 期生:3 年目) 196
4.10 春の淀川・桜の玉川を歩く　・令和７年４月４日（金）... 196
4.11 地域を流れる淀川と水防災　・令和７年７月２７日（日）.. 198
4.12 高槻市立上牧小学校「ヨシ原と生き物」出前授業　・令和７年９月１６日（火）.. 200
4.13 防災体験学習（茨木市防災訓練出展）　・令和７年９月２７日（土）.. 202
4.14 高槻市立上牧小学校「地域の川（よど川）と防災」・令和７年１２月３日（水）.. 204
4.15 高槻市立津之江小学校 水害・地震から身を守るために　・令和７年１２月９日（火）. 206
4.16 防災体験学習　・令和８年１月１８日（日）.. 208
4.17 冬の野鳥観察会 in 三島江野草地区　・令和８年２月７日（土）... 210
○奥山　佳一(19 期生:試行) 212
4.18 吹田市立岸部第二小学校　環境出前講座　・令和７年７月１４日（月）.. 212
4.19 吹田市立岸部第二小学校　河川のつくりかえ　・令和７年１１月１９日（水）214
○小林　勝男(19 期生:試行) 217
4.20 枚方市立五常小学校６年生　水辺の安全出前講座　・令和７年７月１４日（月）.. 217
4.21 高槻市立柱本小学校５・６年生　出前講座（水辺の安全）　・令和７年７月１５日（火）.. 219
○原　健二(河川レンジャーアドバイザー) 221
4.22 第５５回淀川河川公園大塚地区課題検討ＷＧ　・令和７年５月１２日（月）.. 221
4.23 春の野草観察とたたき染め　・令和７年６月２２日（日）.. 224
4.24 第５６回淀川河川公園大塚地区課題検討ＷＧ　・令和７年７月１４日（月）.. 226
4.25 第５７回淀川河川公園大塚地区課題検討ＷＧ　・令和７年９月２２日（月）.. 229
4.26 バッタのオリンピック　・令和７年９月２８日（日）.. 232
4.27 地区コミュニティ文化祭出展　・令和７年１１月1･2日（土日)、8･9日（土日）234
4.28 第５８回淀川河川公園大塚地区課題検討ＷＧ　・令和７年１１月１７日（月）236
4.29 第５９回淀川河川公園大塚地区課題検討ＷＧ　・令和８年１月１９日（月）.. 239
4.30 冬の野鳥観察と野草の迷路探検 2025 年度　・令和８年２月７日（土）... 242
5　連携活動報告 244
5.1 点野みんなの水辺づくり　・令和７年４月１３日（日）.. 244
5.2 淀川まるごと体験会・春　・令和７年４月２７日（日）.. 246
5.3 点野みんなの水辺づくり　・令和７年５月１１日（日）.. 248
5.4 鳥飼ワンド探検ツアー　・令和７年６月１日（日）... 250
5.5 点野みんなの水辺づくり　・令和７年６月８日（日）... 253
5.6 自然とのふれあい（三島江野草地区）　・令和７年６月２９日（日）.. 255

5.7 点野みんなの水辺づくり　・令和７年７月１３日（日）.. 257
5.8 枚方市　市教研社会班対象　防災授業研究　・令和７年７月２３日（水）.. 259
5.9 点野みんなの水辺づくり　・令和７年９月１４日（日）.. 261
5.10 淀川まるごと体験会・夏　・令和７年９月２１日（日）.. 263
5.11 点野みんなの水辺づくり　・令和７年１０月５日（日）.. 265
5.12 点野みんなの水辺づくり　・令和７年１１月９日（日）.. 267
5.13 ふれあい土木展２０２５コーナー出展　・令和７年１１月１４･１５日（金土）269
5.14 茨田イチョウまつり　・令和７年１１月２３日（日） 271
5.15 点野みんなの水辺づくり　・令和７年１２月１４日（日） 273
5.16 点野みんなの水辺づくり　・令和８年１月１８日（日）.. 275

1　福島出張所管内

○兒玉　曜子（18 期生：1 年目）

1.1 新北野ヨシ原清掃活動　　・令和７年１１月１５日（土）

実施状況

活 動 名	新北野ヨシ原清掃活動			
氏　　名	兒玉　曜子（福島出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 11 月 15 日（土）			
実施場所	十三街中～淀川右岸河川敷  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		11 名	
	内訳	参加者	10 名	大人 10 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10：00	開始		
	10：05	・十三東公園において兒玉 R より本日の活動および注意事項の説明		
	10：15	・体をほぐす準備体操		
	10：20	・街中散策（淀壁見学）		
	10：50	・淀川堤防において、淀川の概要とヨシ原の説明後、河川敷のゴミ拾い開始		
	11：40	・新北野ヨシ原保全地区において、ヨシ笛体験		
	12：00	終了（現地解散）		
配付資料	秋の淀川新北野ヨシ原保全清掃活動しおり			
関係機関からの支援内容	淀川区役所：淀川河川敷十三魅力向上事業資料、東北環境事業センター案内			

河川レンジャーの活動内容	準　備	企画内容打ち合わせ：実施内容、日時、場所の検討 必要物品の準備：準備、資料作成 実施法人との調整：使用物品、参加者への案内チラシ
	当　日	活動実施：開会、進行、説明、案内、閉会の挨拶、など
	事　後	活動主催関係者へのお礼、報告書提出
参加者からの意見		・淀壁面白かったです。もっといろいろ見て回りたいと思いました。 ・十三街歩きもお店が新しいところがあって今度行ってみようと思います。 ・つばめ通りは昔は多くのつばめが飛来していたからなんですね。 ・道中のゴミ拾いはやりがいがありますね。ありがとうございました。 ・このあたりの河川敷はゴミはほとんどなくてきれいですね。 ・ヨシ笛ありがとうございます。 ・十三船着き場は今後観光クルーズなんかありますか。 ・（河川敷の）色々なイベントは楽しみですね。 ・西中島辺りの清掃活動も参加したい。

活動状況



十三ゴミ拾い



十三の淀壁アートの見学



新北野地区のヨシ原の説明



ヨシ原見学とヨシ笛の体験

○白川　公彦（19 期生：試行）

1.2 寝屋川市立三井小学校３・４年生　水辺の安全　出前授業　　・令和７年７月１０日（木）

実施状況

活 動 名	寝屋川市立三井小学校 3･4 年生　水辺の安全　出前授業			
氏　　名	白川　公彦（福島出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 7 月 10 日（木）			
実施場所	寝屋川市立三井小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		89 名	
	内訳	参加者	80 名	3･4 年生 80 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	7 名	教員 7 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	09:35	授業開始、児童移動・活動準備
	09:50	自己紹介、今日覚えて欲しい 3 つのこと
	10:00	服を着た状態で水に入って動きやすさの違いを確かめる
	10:15	背浮きの体験
	10:20	＜給水休憩＞
	10:25	浮力体（ペットボトル）があるとどう違うかの体験
	10:35	溺れている人を助ける方法の説明・実演
	10:40	＜給水休憩＞
	10:45	ライフジャケットの着用方法
	10:50	ライフジャケットを着けて浮かぶ
	10:55	ライフジャケットの浮力や動きやすさを確かめる（自由時間）
	11:05	授業のまとめ
	11:10	終了
配付資料		水辺の安全リーフレット、アンケート QR
関係機関からの支援内容		淀川河川事務所枚方出張所：物品搬送 河川レンジャー事務局：物品貸与、資料印刷
河川レンジャーの活動内容	準　備	学校側との実施内容についての事前打合せ（5/8）
	当　日	物品設置、授業準備、授業
	事　後	学校側へのアンケート共有

参加者からの意見	・ライフジャケットを着けると全然違う。すごく浮くことがわかった。 ・川の危ないところを知って、雨の降りそうなときは、行かないようにしようと思った。 ・海や川に入るときは、しっかりと準備してから入ろうと思う。 ・溺れたときは背浮きをして、10 分間耐えれば助けてもらえることがわかった。 ・ペットボトルやバケツなどでも助けられることが分かった。

活動状況



着衣状態での背浮きを解説



波戸 R による背浮きの実演



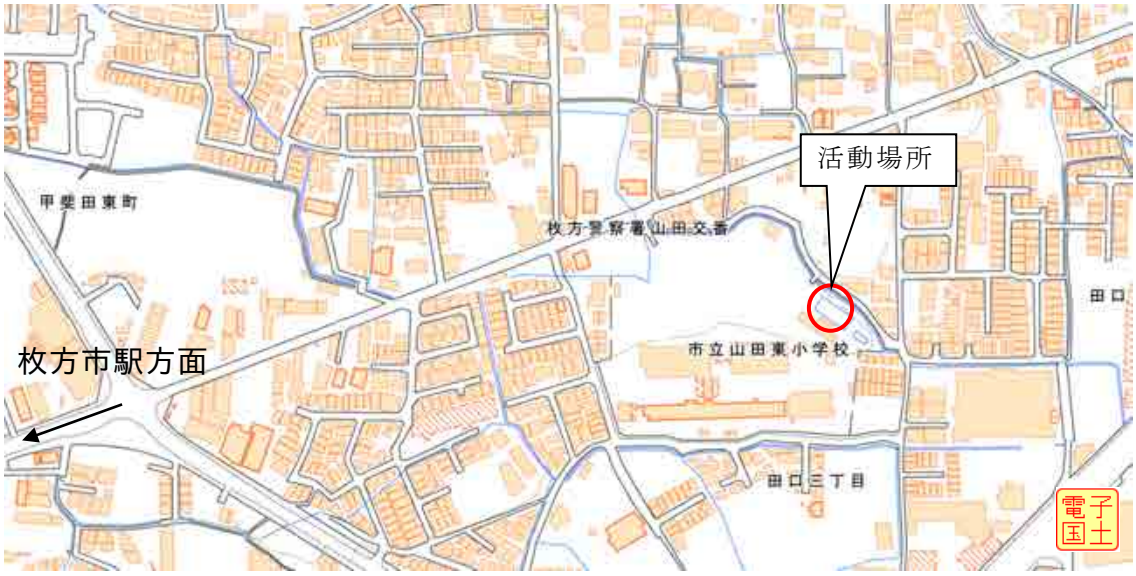
ライフジャケットを着て背浮き



授業の要点振り返りとまとめ

1.3 枚方市立山田東小学校５・６年生　出前講座（水辺の安全）　・令和７年７月１６日（水）

実施状況

活 動 名	枚方市立山田東小学校 5･6 年生　出前講座（水辺の安全）			
氏　　名	白川　公彦（福島出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 7 月 16 日（水）			
実施場所	枚方市立山田東小学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		68 名	
	内訳	参加者	63 名	5･6 年生 63 名
		講師	－	
		スタッフ	－	
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	4 名	教員
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	10:40	開始
		教員による指導。準備体操、水慣れ（ウォーミングアップ）
	10:50	レンジャー自己紹介後、背浮き、ペットボトルを活用して浮かぶ体験
	11:20	溺れた人に浮かぶものを投げる等の救助を実演
	11:25	ライフジャケット着用指導
	11:35	ライフジャケットを着用し、浮かぶ体験
	11:45	まとめ
	11:50	終了

配布資料		水辺の安全リーフレット、アンケート QR
関係機関からの支援内容		淀川河川事務所枚方出張所：物品搬送 河川レンジャー事務局：物品貸与、資料印刷
河川レンジャーの活動内容	準　備	学校側との実施内容についての事前打合せ（5/14）
	当　日	物品設置、授業準備、授業
	事　後	学校側へのアンケート共有
参加者からの意見		・ライフジャケットを着けると全然違う。すごく浮くことがわかった。 ・川の危ないところを知って、雨の降りそうなときは、行かないようにしようと思った。 ・海や川に入るときは、しっかりと準備してから入ろうと思う。 ・溺れたときは背浮きをして、10 分間耐えれば助けてもらえることがわかった。 ・ペットボトルやバケツなどでも助けられることが分かった。

活動状況



開始のあいさつと内容説明



教員による背浮きの実演



ライフジャケットの着用指導



ライフジャケットで浮く体験

1.4 守口市立寺方南小学校６年生 水辺の安全 出前授業・令和７年１０月２日（木）

実施状況

活 動 名	守口市立寺方南小学校 6 年生 水辺の安全 出前授業			
氏　　名	白川　公彦（福島出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 10 月 2 日（木）			
実施場所	守口市立寺方南小学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		87 名	
	内訳	参加者	77 名	6 年生 77 名
		講師	－	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	8 名	教員 4 名、ＰＴＡ4 名
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	13:40	5 限目授業開始（多目的室）		
	13:45	自己紹介、今日の趣旨説明		
	13:50	安全啓発に関する動画を視聴してもらう		
	14:15	ライフジャケットの着用体験		
	14:25	＜5 限目終了　休憩＞		
	14:30	6 限目授業開始		
	14:35	水難発見時救助方法の解説		
	14:40	水辺での危険予知トレーニング　解説		
	14:42	グループワーク（危険はどこかな？）		
	14:50	気づきの発表		
	15:05	危険に対して、どう対応するか（危険を避けられるよう、自分で考える）		
	15:10	授業のまとめ、先生からのお話		
	15:15	終了		
配付資料		水辺の安全リーフレット、アンケート QR		
関係機関からの支援内容		淀川河川事務所枚方出張所：物品搬送 河川レンジャー事務局：物品貸与、資料印刷		
河川レンジャーの活動内容	準　備	学校側との実施内容についての事前打合せ（9/12）		
	当　日	物品設置、授業準備、授業		
	事　後	学校側へのアンケート共有		

参加者からの意見	・ライフジャケットの着け方がわかった。川に行くときは着けようと思った。 ・川の危ないところを知って、雨の降りそうなときは行かないようにしようと思った。 ・海や川に入るときは、しっかりと準備してから入ろうと思う。 ・溺れたときは背浮きをして、10 分間耐えれば助けてもらえることがわかった。 ・ペットボトルやバケツなどでも助けられることが分かった。

活動状況



動画を用いて水辺の安全を啓発



ライフジャケットの着用体験



グループでの危険予知トレーニング



危険への対策を児童と考える

1.5 ライフジャケット体験＆淀川のいきものさがし　　・令和７年１１月３日（月祝）

実施状況

活 動 名	ライフジャケット体験＆淀川のいきものさがし			
氏　　名	白川　公彦（福島出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年 11 月 3 日（月祝）			
実施場所	淀川右岸　阪急京都線高架下（大阪市淀川区）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		18 名	
	内訳	参加者	13 名	大人 11 名、子ども 2 名
		講師	－	
		スタッフ	4 名	波戸 R、奥山 R、西畑 R、その他 1 名
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	－	
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	10:00	阪急十三駅東改札前集合後、現地移動
	10:10	現地到着後活動開始、あいさつ、趣旨説明
	10:15	ライフジャケット着用指導
	10:20	水辺活動の注意事項説明
	10:25	水辺に移動してスローロープ投げ体験
	10:45	水辺の生き物解説
	10:50	いきもの探し、野鳥観察など
	11:30	安全利用、干潟観察に関する資料配付、全体まとめ
	11:40	終了
配付資料		淀川の干潟に行ってみよう、川遊び安全ノートえんじょいリバー
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：物品貸与
河川レンジャーの活動内容	準　備	観察場所、スローロープ投入場所下見
	当　日	物品設置
	事　後	アンケート共有

参加者からの意見	・ライフジャケットを着けると安心感がある。 ・川の危ないところを知って、雨の降りそうなときは、行かないようにしようと思った。 ・海や川に入るときは、しっかりと準備してから入ろうと思う。 ・ペットボトルやバケツなどでも助けられることが分かった。

活動状況



水辺の安全利用の啓発と PFD 着用指導



水際からの救助体験



生き物さがし



採取した生き物の観察

○辻川　松子（河川レンジャーアドバイザー）

1.6 リバーウォッチャー淀川探検【自然学習会】　　・令和７年６月２６日（木）

実施状況

活 動 名	リバーウォッチャー淀川探検【自然学習会】			
氏　　名	辻川　松子（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年６月 26 日（木）			
実施場所	大阪市立野中小学校　理科室 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		40 名	
	内訳	参加者	35 名	4 年生 34 名、保護者 1 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	小島 P
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	3 名	校長、教頭、クラス担任
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	13:45	開始の挨拶（リバーウォッチャー淀川探検の野外活動の予定であったが、雨天により学校の理科室を使用した自然学習会に変更）
	13:50	導入のおはなし ・淀川水系の川について ・水害について
	13:55	パワーポイント「淀川の自然と環境」を使った説明 ・淀川にどのようなゴミが流れ着いているか ・SDGs とは何か、どんな目標があるか ・干潟（汽水域）の環境と生きものについて（小島 P） ・堤防の害となる生きものについて
	14:25	ヨシ刈りについての話、5 時限目まとめ
	14:30	休憩
	14:45	6 限目開始 水質検査の実施 ・試薬の使い方の説明 ・水質検査実施（十三干潟と阪急高架下の水の比較）
	15:15	川に行く際のお約束（安全について）、6 時限目まとめ
	15:20	片付け後、授業終了
	15:25	使用した器具などの洗浄
	15:35	終了、スタッフ解散
配付資料		淀川の汽水域にみられる生きもの(1)魚類(さかな) 淀川の汽水域にみられる生きもの(2)さかな以外の生きもの 振り返りシート

関係機関からの 支援内容		河川 R. 事務局：物品の調達と調整 福島出張所：物品の搬入
河川レンジャーの活動内容	準　備	学校　　日程調整・中止に伴う授業内容の調整 パートナー　　協力打診と授業内容の調整 R. 事務局　　事業申請と物品借用の調達 福島出張所　　物品搬入・搬出の依頼と調整 中止の連絡と搬出場所の変更について調整 協力者　　中止の連絡調整 区役所市民協働課　セーフティーよどがわへの連絡調整（中止連絡も含む） 振り返りシート配布物の作成
	当　日	学校　　変更時の授業内容等の再調整 パートナー　　変更時の授業内容等の再調整 座学の進行
	事　後	物品の返却に伴う引き渡し作業 振り返りシートの回収
参加者からの意見		（別紙　振り返りシートのまとめ） 教諭の声 ・中止になった授業が急遽にもかかわらず、充実した授業で良かったです。 ・教諭自体はじめて聞く内容が多くあり参考になった。 ・今、授業の中で「水」について学習しているところで、出前講座と授業が連続した学習で、2 時限が意義のある学習で非常に良かった。

活動状況



開始の挨拶



汽水域の説明

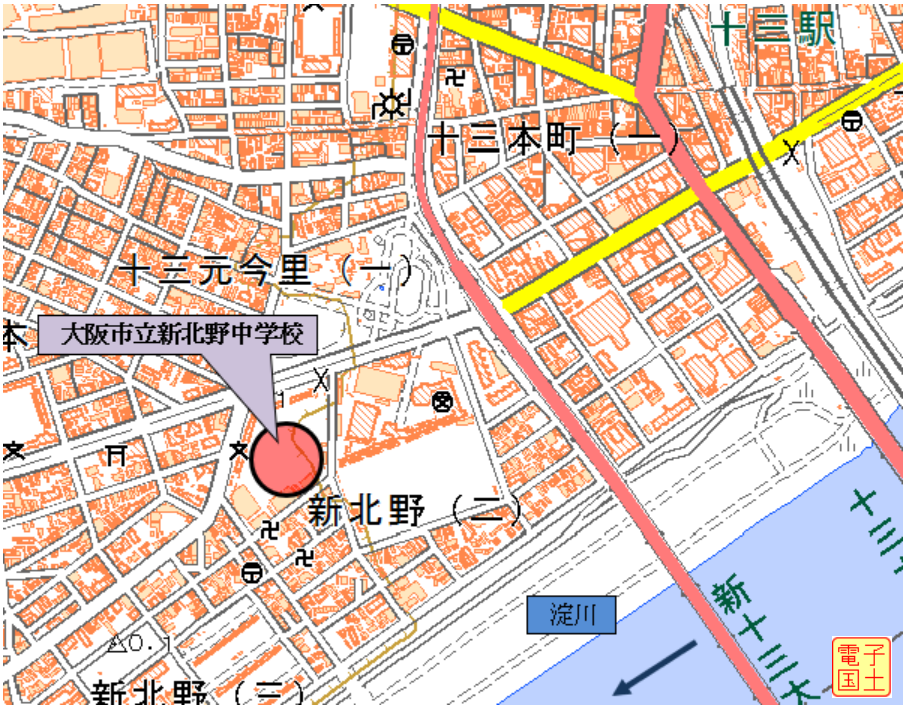


淀川にキツネがいました！



水質検査をやってみよう

1.7 大阪市立新北野中学校「わがまち防災スクール」P-1・令和７年１１月１４日（金）実施状況

活 動 名	大阪市立新北野中学校「わがまち防災スクール」P－１			
氏　　名	辻川　松子（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年 11 月 14 日（金）			
実施場所	大阪市立新北野中学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		205 名	
	内訳	参加者	195 名	1 年生 195 名
		講師	－	
		スタッフ	－	
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	9 名	教諭
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	13：30	開始 ・辻川 RA における学習内容「見る・知る・考える」について説明
	13：35	・パワーポイントにより以下の項目についての説明 ①　東日本大震災、能登半島地震の被害状況から学習すべき点 ②　台風 21 号の被災状況のお話し、淀川の陸閘の話し ③　外水と内水、および津波災害の話し ④　災害時に身を守る為の避難の話し ⑤　避難場所としての避難ビル等の認識について ⑥　大阪における避難アプリの周知について ⑦　地震の話し（上町断層、生駒・高槻断層、中央構造線、南海トラフ等） ⑧　阪神大震災の被害状況について ⑨　自助・共助・公助のお話し ⑩　本日の P－１活動のまとめ ・自分の命は自分で守る、自助の大切さについて ・相手をおもいやる共助について ・中学生の力が人を守りまちを守る、地域の担い手に育ってほしい
	14：20	終了
配付資料		－

関係機関からの 支援内容		ー
河川レンジャーの 活動内容	準　備	学校と日程調整や授業内容等について打ち合わせを行う。 パワーポイントの作成
	当　日	パワーポイントを使用し座学
	事　後	チェックシート等の報告書の作成と提出
参加者からの意見		先生から 災害を通して中学生に大切な自分を守ること、周りの人を思いやることの「自助・共助」について聞くことができた。 分かりやすかった・良かった。

活動状況



わがまち防災スクール P-1 説明



淀川の流れを知る



台風 21 号の被害状況を映像で見る



「自助・共助」について考える

1.8 大阪市立新北野中学校「わがまち防災スクール」P-2・令和７年１１月２１日（金）

実施状況

活 動 名	大阪市立新北野中学校「わがまち防災スクール」P-2			
氏　　名	辻川　松子（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 11 月 21 日（金）			
実施場所	大阪市立新北野中学校　校庭、体育館 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		229 名	
	内訳	参加者	201 名	1 年生 201 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	10 名	更生保護女性会 6 名、淀川区社会福祉協議会 4 名
		行政機関	―	
		学校関係	10 名	教員 9 名、校長
		淀川河川事務所	7 名	施設管理課 1 名、設置運営業者 6 名
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	8:50	開会　グラウンド集合　挨拶、講師・関係者の紹介 辻川 RA 挨拶、訓練の目的・内容の説明、注意事項説明		
	8:55	グループに分かれて訓練の実施 ＜グラウンド＞ ・水没ドア開閉体験 水害時に家の中から外へ出ようとした際、道路が浸水してドアが開かない状況を体験。水深 20 cm（約 16 kg）と、水深 40 cm（約 64 kg）の重さを実際に体験。ドアの開け方、注意点を説明。 ・浸水地歩行体験 浸水した道路を歩いて避難する体験。水深 20 cmの濁った水の中を杖をついて歩行し、さらに流れのある場所での歩行も体験。歩行時の注意点を説明して体験。 ＜体育館＞ ・簡易担架による救助体験 バスタオルやタオルケットを用いてけが人を搬送。横になった体勢と座った体勢の両方で安全に救助する方法を学習。相手を信頼することが大切とポイントを説明。 ・車椅子体験 車椅子を使用し、段差や坂道のある場所を通過。安全に移動させる方法を学習。声かけが相手に安心感を与える、遠回りしても安全な道を選ぶ等ポイントを説明。		
	11:40	辻川 RA から訓練の感想と学生に期待することについての話 自分の命は自分で守る。まわりの人を守る。地域の人たちとつながりをもつ。災害時には、ボランティアとして自分たちにできることをしてまちを守ることをよびかけ。		
	11:45			
	11:50	校長先生の話、生徒代表から挨拶 終了		
配付資料		アンケート（事前配付）		
関係機関からの支援内容		施設管理課：施設の提供・運営、　管理課・福島出張所：長靴の搬入・搬出 淀川区社会福祉協議会：車椅子体験ブースの機材提供と指導		

河川レンジャーの活動内容	準　備	日程の調整、物品の調達 協力者へ依頼・説明 学校・事業者・河川事務所・R 事務局・主催者と、事前打ち合わせ（下見）
	当　日	総括、救出体験ブース進行 車椅子ブース　事業の趣旨説明、区社協の紹介 長靴の清掃及び梱包 通用門の開閉及び車両誘導・撤去立ち合い・鍵の返却
	事　後	アンケートの回収、資料報告書のまとめ
参加者からの意見		■水没ドア開閉体験 ・水の深さが 20 ㎝違うだけで、ドアが重くて開けられなかった。 ・ドアが開いたら一気に水が流れ込んできて驚いた。 ■浸水地歩行体験 ・水が濁っていて地面の凸凹がわからないので杖がないと歩くのがこわいと感じた。 ・流れがあるところは歩くのが難しい。 ■簡易担架による救助体験 ・座った状態の方が運びやすかった。 ・タオルを丸めて運ぶのは手の力がいる。 ・みんなで一緒に簡易担架を持って運ぶのは楽しかった。 ■車椅子体験 ・車椅子に乗ること、車椅子を押すことのどちらも初めて体験した。乗って運ばれるのは少しこわかった。車椅子で坂道や段差を通るのはコントロールが難しかった。 ・以前、車椅子で人を乗せて運んだことがあるのでそれほど難しくなかった。

活動状況



体験前の説明



浸水地歩行体験



車椅子体験



簡易担架による救助体験

1.9 大阪市立十三中学校「わが町防災スクール」P-1　・令和８年１月１３日（火）

実施状況

活 動 名	大阪市立十三中学校「わが町防災スクール」P-1			
氏　　名	辻川　松子（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	主催			
活動日	令和８年１月 13 日（火）			
実施場所	大阪市立十三中学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		166 名	
	内訳	参加者	157 名	1 年生 157 名（4 クラス）
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	8 名	教諭
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	13：35	開始 辻川 RA よりパワーポイントにて以下の項目についての説明 【学習内容】 ① 能登半島地震の振り返り ② 東日本大震災の記憶（海溝型地震の解説） ③ 淀川流域における淀川区の位置説明 ④ 台風 21 号の振り返り（陸閘の話し） ⑤ 避難に関する説明 ⑥ 内水・外水（洪水）と津波浸水の解説 ⑦ 自らの身を守る意識の醸成 ⑧ 避難ビルのお話し ⑨ 大阪防災アプリの紹介 ⑩ 南海トラフ地震による影響について ⑪ 大阪防災訓練の紹介 ⑫ 自助・共助・公助の理解 ⑬ マイ・タイムラインの作成について		

	15：35	⑭ 中学生による地域力の発揮のお願い ⑮ 防災スクールＰ１のまとめ 終了
配付資料		―
関係機関からの支援内容		―
河川レンジャーの活動内容	準　備	日程の調整、事業の申請、協力者への依頼
	当　日	PPT を使用し、授業の実施
	事　後	アンケートの回収
参加者からの意見		・頻繁に起きる地震について学ぶことが出来た。 ・防災をキーワードにして、生徒へクラス運営のアドバイスをいただき良かった。

活動状況



辻川 RA の挨拶



熱心に聞き入る生徒達



パワーポイントによる説明



生徒より感謝の言葉

1.10 大阪市立十三中学校「わがまち防災スクール」P-2・令和８年１月１６日（金）

実施状況

活 動 名	大阪市立十三中学校「わがまち防災スクール」P-2			
氏　　名	辻川　松子（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	主催			
活動日	令和８年１月 16 日（金）			
実施場所	大阪市立十三中学校　体育館 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		177 名	
	内訳	参加者	157 名	1 年生 157 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	9 名	淀川区社会福祉協議会 4 名 十三中学校下更生保護女性会他有志ボランティア 5 名
		行政機関	―	
		学校関係	10 名	教員
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール

13:30　開会式　大阪市立十三中学校　体育館　教諭挨拶
わがまち防災スクール体験学習（辻川 RA）
　体験から学ぼう！　防災力を育てよう！
　目的：災害時の危機管理の啓発と知識・技術の習得及び体験を通して次世代の育成に繋げる

13:40　救出体験、車いす体験をクラス毎に分かれて実施
・救出体験（辻川 RA、十三中学校下更生保護女性会他有志ボランティアによる指導）
　⇒日頃から身近にあるブルーシート、タオルケット、バスタオル等を簡易担架として、救出体験を実施
　⇒体験後に振り返りを行い参加者から意見を聞く
・車いす体験（淀川区社会福祉協議会による指導）
　⇒車いすの操作方法を学び、平坦な道だけではなく段差やスロープといった場所での操作を体験
・注意事項、体験内容を説明した後に生徒による実施

	1 組、2 組	3 組、4 組
①　13:40～14:25	車いす体験	救出体験
②　14:25～14:35	休憩	
③　14:35～15:10	救出体験	車いす体験

15:10　まとめ（辻川 RA）
・配布資料の説明（淀川区防災マップ、もしものときのぼうさいカード）
　⇒家族と共有し、大切に保管しておく
15:20　閉会式　辻川 RA 挨拶、生徒代表からお礼の言葉
15:25　終了

配付資料		・淀川区防災マップ ・もしものときのぼうさいカード ・アンケート
関係機関からの 支援内容		淀川区役所市民協働課：防災マップ 淀川区まちづくりセンター：もしものときのぼうさいカード 淀川区社会福祉協議会：車椅子体験の運営
河川レンジャーの 活動内容	準　備	開催実施にかかる打ち合わせと日程調整 学校・区社協・ボランティア・レンジャー事務局 資料提供の依頼と運搬の依頼 アンケートの作成
	当　日	授業の総括・運営
	事　後	報告書の作成と発信 アンケートの回収と整理
参加者からの意見		・楽しかった。 ・怖かった。 ・一枚の布で人の命を助けることができることを知った。 ・何かの時には活かしたい。

活動状況



開会挨拶



救出体験（タオルケットによる簡易担架）



車いす体験（段差での操作）



救出体験の振り返り

1.11 野中防災フェスタ　　・令和８年２月７日（土）

実施状況

活 動 名	野中防災フェスタ			
氏　　名	辻川　松子（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	協力			
活動日	令和８年２月７日（土）			
実施場所	大阪市立野中小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		64 名	
	内訳	参加者	60 名	大人 40 名、子ども 20 名
		講師	－	
		スタッフ	－	
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	－	
		淀川河川事務所	3 名	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	10:15	開会式 ・野中地域活動協議会　挨拶 ・大阪市立野中小学校校長　挨拶 ・淀川区役所市民協働課　挨拶 目的：もしか！の災害を見据え、防災意識の向上と安心・安全なまちづくりを基にした地域の治安度を高める活動
	10:25	照明車（20mブーム式）　アームを展開し点灯 参加者へ照明車の機能や活躍した現場を紹介 ⇒災害現場での夜間の復旧工事や支援活動、また危険箇所の監視などにおいて、照明やカメラによる監視を行い、施工性や安全性を確保
	11:55	閉会式
	12:00	終了
配付資料		アンケート
関係機関からの支援内容		淀川河川事務所より照明車
河川レンジャーの活動内容	準　備	支援の依頼と調整
	当　日	照明車の説明と運営
	事　後	アンケートの集計
参加者からの意見		・照明車が思った以上の高さまで伸びることに驚いた。 ・災害時のために備えてもらえて有難い。 ・トミカの照明車を持っていて、実際に見られて嬉しい。 ・寒くて来るのを悩んだけれど、来てよかった。 ・迫力のある照明車を見て、すご～いと思った。

活動状況



開会式・挨拶



照明車・点灯



照明車の機能を説明



照明車のアームの長さを説明

○西岡　和昭（河川レンジャーアドバイザー）

1.12 木川南小学校　干潟体験　　・令和７年６月２７日（金）

実施状況

活 動 名	木川南小学校　干潟探検活動			
氏　　名	西岡　和昭（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：木川南小学校、大阪市淀川区役所市民協働課）			
活動日	令和７年６月 27 日（金）			
実施場所	十三干潟  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		39 名	
	内訳	参加者	29 名	3 年生 12 名、4 年生 17 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	2 名	大阪市淀川区役所 2 名
		学校関係	7 名	教諭 7 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール		
	13：00	開始
		・教諭よりレンジャー及び支援者紹介
		・西岡 RA による本日の活動の主旨説明および注意事項の説明
	13：05	・木川南小学校より現地に向けて出発
	13：20	・西岡 RA による活動の範囲及びセーフティトーク
	13：25	・生き物観察の開始
	14：00	・休憩
	14：10	・観察の開始
	14：30	・西岡 RA による捕獲した生き物の説明
		・木川南小学校校長の挨拶
	14：40	・木川南小学校に向けて帰校
	15：00	終了

配付資料		ー
関係機関からの支援内容		小学校教職員による移動時や活動時の安全確保。 区役所セーフティの移動時の安全確保。
河川レンジャーの活動内容	準　備	活動場所の危険個所の確認と、活動範囲の確認。また、ごみ拾いなど行う。
	当　日	10 時：活動場所にレンジャー旗設置。 11 時 30 分：教職員 3 人と活動場所の範囲確認に行く。 13 時：木川南小学校集合 （活動開始） 15 時：活動終了、小学校帰校
	事　後	レンジャー旗回収。教職員・セーフティの方に挨拶。
参加者からの意見		・クロベンケイガニやハゼなどの生き物が取れた。 ・大きなイソガニが取れた。 ・ウナギが２匹取れた。

活動状況



西岡 RA による注意事項の説明風景



生き物観察（1）



生き物観察（2）

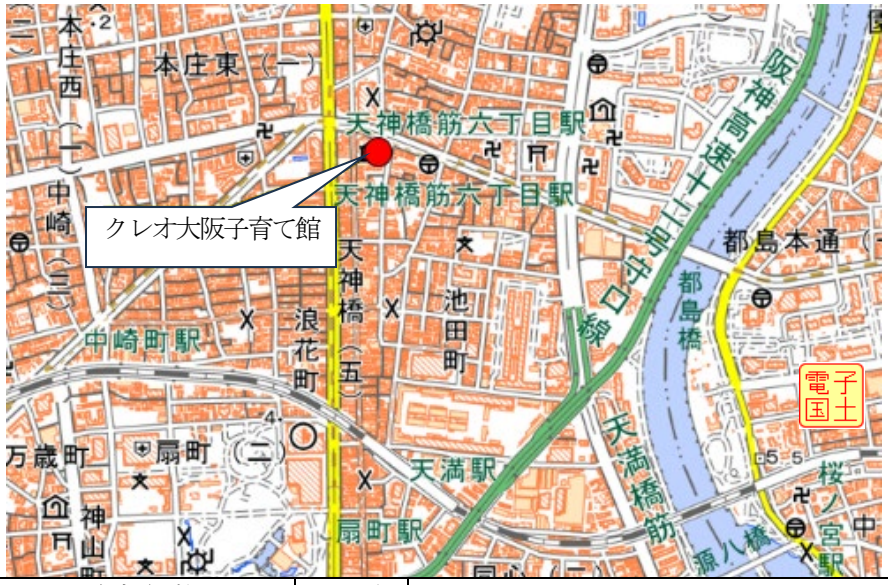


捕獲したウナギ２匹

○亀井　伸幸（河川レンジャーアドバイザー）

1.13 大阪北区ジシン本講座「大規模災害時の備えと心構え」　・令和７年８月６日（水）

実施状況

活 動 名	大阪北区ジシン本講座「大規模災害時の備えと心構え」			
氏　　名	亀井　伸幸（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：大阪北区ジシン本事務局（一般社団法人あおぞら湯）、 大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館）			
活動日時	令和７年８月６日（水）			
実施場所	クレオ大阪子育て館  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		40 名	
	内訳	参加者	23 名	大人 21 名、子ども 2 名
		講師	―	
		スタッフ	2 名	桑村 RA、岸田 R
		市民団体等	12 名	一般社団法人あおぞら湯 4 名、クレオ大阪子育館 2 名、 ニュージェック 4 名、手話通訳 2 名
		行政機関	2 名	大阪市北区役所地域課 2 名
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	19:00	開始 ・クレオ大阪館長による挨拶、レンジャーとジシン本普及 NPO 紹介 ・ジシン本普及 NPO 代表による「ジシン本」の紹介		
	19:05	・亀井 RA による本日の活動内容の説明と北区の災害についての解説 1. 今日の合言葉「防災力は想像力」 2. 北区の災害について 自助・共助・公助　⇒公助には時間がかかるので、自分で助かる、助け合う 地震の合言葉　「最初の一撃から助かる」日頃の備えが 北区の 4 つの水害　洪水・内水氾濫・高潮・津波 3. 昨今の気象状況　雨の降り方が変わってきている（気象変動）			
	19:15	・実習ガイダンス 1 1 班：水の防災講座　（担当:亀井 RA） 2 班：水害ジオラマとクイズ（担当:ニュージェック） ［1 班の内容］ ・淀川下流域の過去の水害 室戸台風、ジェーン台風、第 2 室戸台風 動画視聴「被災者の証言」「2018 年台風 21 号時の中津（高潮による逆流）」 ・浸水想定			

		ハザードマップ・浸水想定図(最大規模と継続時間)に関して ・浸水地の危険・浸水歩行のデモンストレーションと体験 19:45 ・実習ガイダンス 2 (1 班・2 班を入れ替えて実習) 20:15 ・全体のまとめ マイ・タイムライン 「考えること、話し合うことが大切」「防災力は想像力」 20:25 ・主催者挨拶、アンケート調査の記入 20:30 終了
配付資料		・ジシン本講座「大災害時の備えと心構え」レジュメ ・大阪北区ジシン本　・北区防災マップ　・大阪市水害ハザードマップ ・今、災害が起こったら　・地震がキタ!　・台風がキタ! ・やってみよう!あなたの備え診断　・地域イベントに伺いますチラシ ・河川レンジャーニュース（No.63 No.71）・河川レンジャー防災出前講座チラシ
関係機関からの 支援内容		大阪市北区役所　：ハザードマップ等の資料提供 ジシン本事務局　：資料協力、スタッフ協力、全体進行 レンジャー事務局：レジュメ等印刷、レンジャーニュース、など
河川レンジャーの 活動内容	準　備	打ち合わせ、下見 資料作成、スライドデータ作成整理 浸水動画作成、PPT 等解説資料作成、物品受け取り
	当　日	積み込み、搬入、会場設営、 講座講師、ファシリテーション、現場片付け、整理
	事　後	現場荷物引き上げ、物品返却、振り返り、等
参加者からの意見		・防災力は想像力という言葉を常に頭に入れて災害に備えたいと思いました。 ・スライドと解説がテンポ良くわかりやすかった。 ・水深の実演で濁りと見えにくさがよくわかりました。 ・ジオラマは目で見てわかりやすく、水害の怖さを再認識しました。 ・地震については、知っているようで知らないことがあったり、津波や水害については、映像や解説がわかりやく、ジオラマもなるほどと感じました。 ・過去に水害を経験した方の映像と解説を見せていただいたことが良かった。 ・ジオラマを使って水が溢れる様子を見せていただいたことです。 ・避難場所、各大自然トラブル時の水害の傾向を把握しておきたいと思います。浸水予想から、周辺地域も水が引かないと救援物資は来ない。淡路島の東寄りを通る台風はやばい。気をつけたいと思う。 ・ジオラマはコンパクトに水害について、目に見えてわかりやすかったです。 ・家族に合わせた備えが必要なこと、すぐに避難することの大切さに気づかせてもらいました。多い量の雨が降ると、人の足が浸かっていたり、津波で家が流されたり、映像解説とジオラマで見せてもらい、水による災害はおそろしいと改めて思いました。 ・映像もジオラマも具体的にイメージできました。 ・水害に特化した講座でしたが、過去の台風など、歴史も振り返ることができて貴重な時間を過ごせました。水は一度通ったところを忘れていない、過去に学べですね。

活動状況



ハザードマップの紹介



浸水地の危険（デモンストレーション）



浸水想定図の解説



水害ジオラマの疑似体験

○桑村　和男（河川レンジャーアドバイザー）

1.14 淀商業高校「チャレンジキャンプ２５」　　・令和７年８月８日（金）

実施状況

活 動 名	淀商業高校「チャレンジキャンプ 25」			
氏　　名	桑村　和男（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年８月８日（金）			
実施場所	大阪府立淀商業高校第２校舎１階ゼミ室  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		48 名	
	内訳	参加者	38 名	大人 19 名、子ども 19 名
		講師	―	
		スタッフ	4 名	岸田 R、新保 P、西畑 P、新藤 P
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	5 名	教員 1 名、高校生 4 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10：30	開始「チャレンジ・キャンプ」 ◆受付：参加名簿に記載してもらう ◆「ヨシ笛づくり」 材料配布、手順説明、ヨシ笛の吹き方等をレクチャー ◆「パネル展」（ヨシ笛作成後に案内） ・安全に川を楽しむために気をつけること ・河川レンジャーの活動「まるごと紹介」 ・宇治川・淀川に生育するヨシの紹介 ・淀川大堰の新しく開通した閘門 ◆アンケート依頼・回答 ①河川レンジャー知っていますか？　②ヨシ笛つくり楽しかったですか？		
	14：00	終了		
配付資料		①川の安全チラシ ②淀川の干潟にいってみよう！（パンフレット）		

		③知っていますか　淀川のワンド（パンフレット） ④29 種類の指標生き物 ⑤淀川水系に生息する魚 ⑥淀川で見られる野鳥 ⑦夏休みの自由研究「ヨシをしらべよう」 ⑧ヨシ笛ープラ板取付のコツ（ガイド）
関係機関からの 支援内容		・レンジャー事務局：ヨシ笛材料工具、説明パネル５枚（１枚は新規作成）、 淀川の生き物、川の安全のパンフレット①④⑤⑥、他 ・淀川河川事務所福島出張所：貸与備品・説明パネルのレンジャー事務局からの 輸送、スタッフ用説明資料の印刷対応 ・淀川河川事務所河川環境課：淀川のワンド・干潟のパンフレット②③
河川レンジャーの 活動内容	準　備	6 月淀商高校の先生より参加要請あり－実施計画書作成し承認申請 7 月 2 日レンジャー事務局で、ヨシの材料うけとり 8 月 7 日福島出張所　貸与備品を引取り
	当　日	08:50　淀商業高校　スタッフ集合 09:10　スタッフ担当の学校側先生と生徒さんと打ち合わせ、会場の設営 14:00 終了後　教室のそうじ、後片付け
	事　後	関係者にお礼のメール送付 13 日　福島出張所に貸与備品を返却
参加者からの意見		参加者、高校生ともほとんどの人が淀川のヨシについて知らなかった 参加者にアンケートを答えてもらった ①河川レンジャーを知っていますか ・知っています　8 名 ・知らなかった　23 名 ②ヨシ笛つくりは楽しかったですか ・楽しかった　30 名（100%）

活動状況



ヨシ笛つくり（1）



展示パネル



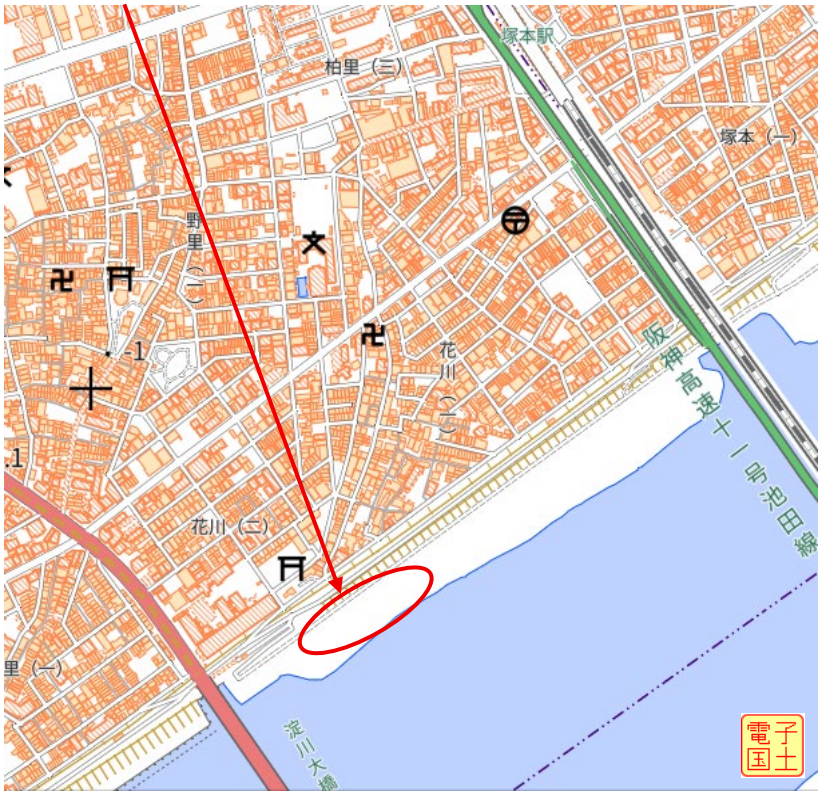
ヨシ笛つくり（2）



ヨシ笛つくり（3）

1.15 淀川環境美化・西淀川親子ハゼ釣り大会　　・令和７年９月２７日（土）

実施状況

活 動 名	淀川環境美化・西淀川親子ハゼ釣り大会			
氏　　名	桑村　和男（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年９月 27 日（土）			
実施場所	淀川大橋北詰上流　淀川右岸河川敷  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		98 名	
	内訳	参加者	67 名	大人 20 名、子ども 47 名
		講師	―	
		スタッフ	１名	西畑 R
		市民団体等	20 名	・西淀川区生涯学習推進区民会議 ・大阪市生涯学習推進委員西淀川区連絡会議 ・大阪市漁業協同組合 ・矢倉釣りクラブ ・あおぞら財団
		行政機関	10 名	西淀川区役所、大阪市環境局
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	13:00	開会式：区長挨拶（主催:淀川環境美化・西淀川親子ハゼ釣り大会実行委員会）		
	13:15	ハゼ釣り大会開始		
	14:45	ハゼ釣り大会終了、釣り竿回収等の片づけ		
	15:00	水辺の教室　①河川レンジャー「環境学習－ヨシについて」 ②大阪市環境局「淀川の水質検査」 ＊参加者　２グループに分けて、①と②　交替して実施		
	15:30	河川敷の清掃活動		
	15:40	閉会式（ハゼ釣り－表彰式）		
	16:00	終了		
配付資料		・河川レンジャーの紹介　パンフレット		
関係機関からの支援内容		・レンジャー事務局：ヨシの説明パネル２枚、河川レンジャーパンフレット、ヨシについての環境学習の説明資料（拡大版 A2 サイズを作成）		

		・淀川河川事務所福島出張所：貸与備品・説明パネルのレンジャー事務局からの輸送、上記ヨシ説明資料 A2 サイズ張り合わせ作業、補強のベニア板
河川レンジャーの活動内容	準　備	＊西淀川区役所地域支援課担当係長より、協力要請あり ・7 月 30 日　西淀川区役所訪問　担当係長と打ち合わせしレンジャー活動決定 →実施計画書を作成し承認を受ける ・9 月 24 日　福島出張所　説明資料作成、貸与備品を引取り ・9 月 26 日　補強板の製作、西淀川区役所訪問担当者と最終確認
	当　日	・11 時　スタッフ関係者集合・説明、テント設営 ・12 時 30 分　受付開始 ・13 時～16 時　イベント対応（上記） ・16 時終了後　後片付け
	事　後	・関係者にお礼のメール送付 ・9 月 30 日　福島出張所に貸与備品を返却
参加者からの意見		＜大人の方から＞ ・高槻の鵜殿にヨシがあること、初めてしりました。 ・和紙をつくるヨシは、どんなヨシを使うのですか？ 淀川のヨシについて知っている人は数人でした。 環境学習を聞いていただいて、大人の人からは、ヨシについて質問がいろいろありました。また、ヨシ笛を吹いて PR したので、子供たちにはヨシ笛に興味を持ってもらった。

活動状況



開会式区長挨拶



釣れた魚計測中



環境学習ヨシについて



閉会式

1.16 西淀川区民まつり　　・令和７年１１月９日（日）

実施状況

活 動 名	西淀川区民まつり			
氏　　名	桑村　和男（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年 11 月 9 日（日）			
実施場所	西淀公園  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		38 名	
	内訳	参加者	36 名	大人 22 名、子ども 14 名
		講師	－	
		スタッフ	1 名	岸田 R
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	－	
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:00	西淀川区民まつり開始（主催：西淀川区民まつり実行委員会・西淀川区役所） （主催者挨拶、注意事項等説明） （河川レンジャーブース） ・淀川大堰閘門整備事業、淀川舟運、淀川陸閘訓練、河川レンジャー活動等の説明を適宜実施。		
	14:30	終了（16 時終了予定が一日雨のため、ステージの演目終了と共にまつり終了）		
配付資料		① 淀川大堰閘門事業パンフレット ② 淀川の緊急用船着場・緊急用河川敷道路ガイドマップ ③ 淀川資料館「舟運今昔」展示ちらし ④ 淀川資料館・枚方　「淀川の舟運と観光」講演会ちらし ⑤ 河川レンジャーニュース ⑥ 河川レンジャーの活動パンフレット		
関係機関からの支援内容		① 淀川河川事務所管理課：説明パネル、動画確認（対応できず） ② 淀川河川事務所環境課：上記資料③④送付 ③ 福島出張所：上記資料①②準備 説明パネル・説明資料のレンジャー事務局受取返却 ④ レンジャー事務局：説明パネル作成、上記資料⑤⑥準備、備品他 ⑤ 西淀川区民まつり実行委員会・西淀川区役所：会場設営		
河川レンジャーの活動内容	準　備	7 月　活動実施計画書作成申請　承認を受けてから、西淀川区役所に区民祭り出展申込書を提出 10 月　レンジャー事務局に説明パネル等の作成依頼 11/5 福島出張所　説明パネル、説明資料　受取		
	当　日	08:30 現地、会場設営 10:00～14:30 上記スケジュール 15:00 後片付け解散		
	事　後	11/11 福島出張所に説明パネル備品返却 実施計画書を作成し報告、関係者にお礼のメール（今後予定）		

参加者からの意見	・親子さん連れでは 「河川敷でのバッタのオリンピック」説明板、バッタのプラモデル、金銀銅の表彰メダル、などを説明して大好評であった。 「淀川にもバッタがいるんですか？　どんなバッタがいるんですか？　どれぐらいバッタは飛ぶんですか」 ・一般の方は 展示パネル「淀川大堰閘門新設開通」を説明したが、知っている人は数名程度で大半の人が知らなかった。 「淀川の舟運、とっても興味があります。船に乗ってみたい！」

活動状況



主催者挨拶



淀川陸閘訓練説明



淀川大堰閘門事業説明



河川レンジャー活動説明
（バッタのオリンピック）

2　毛馬出張所管内

○伊藤　茂（12 期生：7 年目）

2.1 淀川大堰閘門と魚道見学　　・令和７年４月２６日（土）

実施状況

活動名	淀川大堰閘門と魚道見学			
氏名	伊藤　茂（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 4 月 26 日（土）			
実施場所	淀川大堰閘門、淀川大堰（魚道）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		24 名	
	内訳	参加者	18 名	大人 11 名、子ども 7 名
		講師	―	
		スタッフ	5 名	白川 R、波戸 R、川嶋 RA、矢野 P、 河合氏（環境省希少野生動植物種保存推進員）
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:05	開会式 ・自己紹介、スタッフ紹介、活動趣旨、注意事項説明（伊藤 R） ・淀川大堰閘門、淀川大堰・毛馬閘門・毛馬排水機場の施設の役割や機能等を紹介 ・台風 21 号（2018 年 9 月）出水時における毛馬排水機場の効果を説明 ・淀川大堰魚道の説明 ・柴島浄水場の取水口を確認		
	11:00	観察会（左岸魚道）ボラ、鯉、スッポン等 ・前日に仕掛けた網かごの引き揚げ（捕獲なし） ・河合先生による淀川における魚の遡上について解説		
	11:25	淀川大堰魚道（右岸）より左岸へ移動　左岸魚道にてアユの遡上確認		
	11:45	閉会式　アンケート依頼（QR コード）、今後のレンジャー活動案内		
	11:55	終了		
配付資料		淀川大堰閘門資料・排水機場資料		
関係機関からの支援内容		資料の提供		
河川レンジャーの活動内容	準　備	前日の下見とモンドリ仕掛け設置、水槽・テーブルなどの設置準備		
	当　日	排水機場の機能と淀川大堰の概要説明、魚道の役割などの説明、安全確認		
	事　後	後片付け		

参加者からの意見	・大堰を渡れることに感激。 ・最後の最後に鮎の遡上が見られました。 ・鯉やボラがたくさんいた。 ・排水機場の中に入りたかった。 ・家から近くなのに大堰のことや排水機場をぜんぜん知らなかった。 ・お魚が見られて良かった。

活動状況



開会式（注意事項説明）



毛馬排水機場の役割を説明



淀川大堰閘門を見学



淀川大堰魚道（右岸）観察

2.2 淀川の生き物展示会　　・令和７年７月２９日（火）～８月５日（火）

実施状況

活 動 名	淀川の生き物展示会			
氏　　名	伊藤　茂（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 7 月 29 日（火）～8 月 5 日（火）			
実施場所	都島区役所（区民センター内）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		222 名	
	内訳	参加者	220 名	大人 118 名、子ども 102 名
		講師	－	
		スタッフ	2 名	川嶋 RA・矢野 P
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	－	
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	－	
スケジュール	9:30	開始 来館者に水槽の魚やカニ、カメなどの説明を行い観察をして頂き、淀川の自然と大川の自然を感じてもらった。		
	12:00	昼休憩をはさんで観察会の開始		
	16:00	終了、片づけ		
配付資料		河川レンジャーニュース		
関係機関からの支援内容		－		
河川レンジャーの活動内容	準　備	前日よりもんどりの仕掛けと投網での魚捕獲		
	当　日	淀川の生き物の観察		
	事　後	片づけおよび翌日の魚の捕獲など		
参加者からの意見		・こんな生き物がいるなんて知らなかった。 ・年配の方からは昔の淀川の話などよく聞けました。 ・9 月、10 月に魚を捕りにいくイベントをしてほしい。 ・毎日来てくれる子どもや、2 回 3 回来てくれる人もいた。 ・子ども以上に大人の方の反応が多かった（魚の名前や食べれるのか等の質問） ・区民祭でもやる旨を伝えると、是非とも見に行くと言ってくれた。 ・シジミやタニシなどの貝類の質問も多くあった。 ・ウナギを見たいので捕ってきてほしいと言われました。（仕掛けはしましたが。。。） ・次はいつやってもらえますか？		

活動状況



家族連れが良く訪れてくれました



カニを触って大喜び！人気はカニと亀



案外大人の方も興味あり



亀（クサガメ）とのふれ合い

2.3 第５１回都島区民まつり出展　　・令和７年９月２７日（土）

実施状況

活 動 名	第 51 回都島区民まつり出展			
氏　　名	伊藤　茂（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	共催（団体名：大阪市都島区役所）			
活動日	令和 7 年 9 月 27 日（土）			
実施場所	毛馬桜ノ宮公園 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		378 名	
	内訳	参加者	373 名	大人 128 名、子ども 245 名
		講師	－	
		スタッフ	5 名	波戸 R、白川 R、川嶋 RA、岸田 R、牧野 P
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	－	
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	－	
スケジュール	11:00	開始　水槽に魚やカニ・カメなどを展示し、来場者に説明。その後観察をして頂き、淀川の自然と大川の自然を感じてもらった。		
	12:00	昼休憩 昼休憩をはさんで観察会の開始		
	15:30	片づけ、終了		
配付資料		－		
関係機関からの支援内容		－		
河川レンジャーの活動内容	準　備	前日よりもんどりの仕掛けと投網での魚捕獲		
	当　日	淀川の生き物の観察と説明		
	事　後	片づけなど		
参加者からの意見	・こんな生き物がいるなんて知らなかった。 ・海の魚もいるのにびっくりされていた。 ・亀に初めて触った。固かった。 ・何回も来てくれる子どもがいた。また長時間カニと亀を触っていた。 ・子ども以上に大人も興味を持っていた。質問も多い。 ・8 月に区民センターの観察会で会った子どもが遊びにきてくれた。 ・タニシなどの貝類についてもよく質問されていました。 ・カニが欲しいとせがまれました。 ・次はいつやってもらえますか？			

活動状況



多くの家族連れが参加



少しおちついたブース



大きな亀に大喜び



カニの雄雌の説明

2.4 企業清掃プロジェクト支援　　・令和７年１０月２４日（金）

実施状況

活 動 名	企業清掃プロジェクト支援			
氏　　名	伊藤　茂（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 10 月 24 日（金）			
実施場所	淀川河川公園　西中島地区  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		29 名	
	内訳	参加者	27 名	
		講師	―	
		スタッフ	1 名	桑村 RA
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	9:00	開会挨拶 河川レンジャー活動紹介、注意事項、回収ゴミの集積場所、分別方法等の説明（伊藤 R） 集合写真撮影
	9:10	清掃活動開始
	10:00	清掃活動終了、ゴミ分別、備品回収
	10:10	終了
配付資料		―
関係機関からの支援内容		淀川河川公園事務所：ゴミの処理
河川レンジャーの活動内容	準　備	下見とゴミの処理方法、危険箇所の確認
	当　日	注意事項の再確認と収集ごみの選別
	事　後	川ゴミネットへの報告
参加者からの意見		・最初きれいに見えていたけど、植え込みや駐車場付近にたばこの吸い殻やキャンディなどの小さなごみが多い。 ・風でカップ蓋などのゴミは、飛んできて木に引っかかっている気がする。 ・草木の奥にゴミがたまっている。 ・年３回清掃活動していますが、年々ゴミは少なくなっているような気がします。 ・見た目はきれいだが慣れてくるとゴミは目につくようになる。

活動状況



活動の注意



清掃活動(1)



清掃活動(2)



ゴミの計測

2.5 淀川小学校４年生（あそぼうさい）校外学習会　　・令和７年１１月２２日（土）

実施状況

活 動 名	淀川小学校 4 年生（あそぼうさい）校外学習会			
氏　　名	伊藤　茂（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	共催（団体名：淀川小学校）			
活動日	令和 7 年 11 月 22 日（土）			
実施場所	毛馬地区（出張所敷地内、毛馬閘門ほか） 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		49 名	
	内訳	参加者	27 名	4 年生 27 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	19 名	教員 1 名、保護者 18 名
		淀川河川事務所	1 名	毛馬出張所
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	13:00	活動開始 毛馬閘門・淀川大堰・旧毛馬閘門・洗堰見学説明		
	13:30	毛馬出張所（淀川の歴史・淀川大堰等施設の説明、排水機場見学：毛馬出張所担当係長による解説）アンケート回答		
	14:30	淀川大堰管理橋（淀川大堰、淀川大堰閘門の見学説明：毛馬出張所担当係長）		
	14:50	活動終了		
配付資料		毛馬排水機場パンフレット、淀川大堰・毛馬排水機場パンフレット、淀川大堰閘門事業～淀川舟運活性化に向けて～パンフレット、堰カード、毛馬排水機場カード		
関係機関からの支援内容		会議室の利用と施設の動画視聴及び解説		
河川レンジャーの活動内容	準　備	学校との打合せ 学校のニーズの吸い上げと打合せ		
	当　日	参加者の安全管理 移動の案内と保護者対応		
	事　後	今回の実施内容と次回に向けての聞き取り等		
参加者からの意見		・施設の内容がわかって良かった。昔から何の建物か疑問だったので。 ・学校から近いけどたぶんみんな知らないと思うので教えてあげたい。 ・魚道に魚がいなくて残念だった。 ・鮎も遡上するし海の魚やクラゲなども見れるらしいので見てみたい。 ・大阪市民を守っている施設はすごいと思う。		

活動状況



毛馬閘門見学・説明



淀川の歴史・淀川大堰等施設の説明



毛馬排水機場操作室の見学

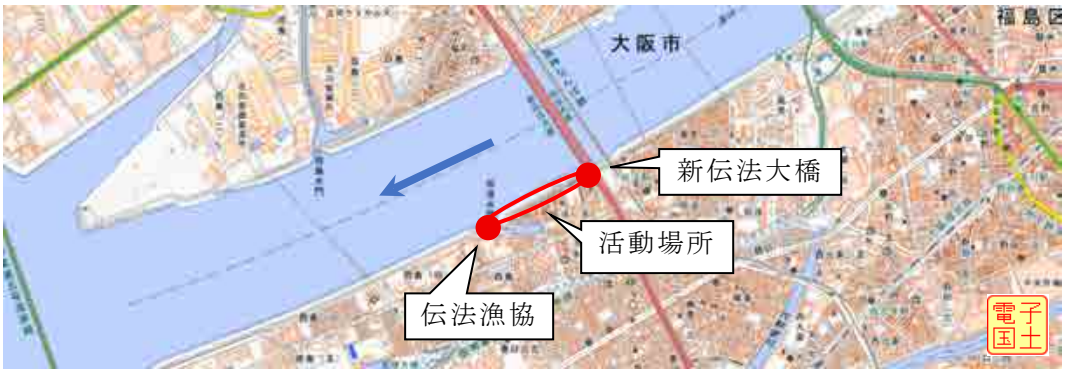


淀川大堰、淀川大堰閘門の見学・説明

○岸田　俊徳（15 期生：4 年目）

2.6 淀川左岸伝法エリア清掃活動　　・令和７年６月１５日（日）

実施状況

活 動 名	淀川左岸伝法エリア清掃活動			
氏　　名	岸田　俊徳（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 6 月 15 日（日）			
実施場所	淀川左岸伝法エリア（新伝法大橋～伝法漁協）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		54 名	
	内訳	参加者	47 名	大人 43 名、子ども 4 名 （大阪市会議員、衆議院議員秘書、含む）
		講師	―	
		スタッフ	6 名	NPO 法人大阪海さくら（主催）
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	10:00	開会式（伝法公園） 活動趣旨と注意事項の説明(大阪海さくら様より） 参加スタッフ紹介　岸田 R 参加団体紹介（パタゴニア大阪、レッドハリケーンズ大阪（ラグビーチーム）等） 「地球☆プロテクト　とあるた」によるペットボトルを再利用した打楽器紹介
	10:25	淀川左岸伝法地区へ移動
	10:35	清掃開始（スタッフによる安全確認、注意喚起） ⇒清掃活動をしながら岸田 R による淀川に関する話（生息する生物等）
	11:35	清掃終了
	11:40	「淀川に関するミニ講座」（岸田 R） ・淀川に浮いているブイの話 ⇒大阪市の市章「みおつくし」を紹介 ・明治 18 年の洪水をきっかけとした「淀川改良工事」について ・淀川に生息する生き物（クロベンケイガニの生態） ・ヨシとアシについて ・ヨシは根が水の中にある 川の水を直接吸い上げる⇒川の水をきれいにする等 ・次回レンジャー活動の案内
	11:50	「プラスチックごみ問題」（大阪海さくら様より） ・増え続ける廃プラスチック ・海洋プラスチックごみ問題
	12:00	集合写真撮影
	12:05	閉会式
	12:10	終了
配付資料		―

関係機関からの支援内容		―
河川レンジャーの活動内容	準　備	清掃活動の下見、ミニ講座の情報収集、など
	当　日	清掃活動、安全監視、ミニ講座、など
	事　後	ミニ講座の反応についての検証
参加者からの意見		・淀川の清掃活動はするが、淀川についてほとんど知らなかった。 ・治水、利水、生き物の話しはもっと聞きたい。 ・淀川でのいろんな活動を知りたい。　など

活動状況



伝法公園での開会式（参加団体紹介）



清掃活動①



清掃活動②



淀川に関するミニ講座

2.7 淀川名人養成講座２０２５　淀川探検隊①　　・令和７年７月２６日（土）

実施状況

活 動 名	淀川名人養成講座 2025　淀川探検隊①			
氏　　名	岸田　俊徳（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 7 月 26 日（土）			
実施場所	大阪市淀川区塚本　淀川右岸ＪＲ神戸線高架下水辺  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		16 名	
	内訳	参加者	8 名	大人 4 名、子ども 4 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	6 名	マリーポ（大人 4 名、子ども 2 名）
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	10:00	開始。自己紹介。本日の活動内容を説明（ゴミ拾いをした後生きもの調査）。テナガエビをヨシ竿を使って捕獲する予定であったが、今回不漁のため断念。 注意事項説明（ゴミの分別はペットボトルのみ。拾ってはいけないもの。１人で動かない）
	10:10	高水敷、水辺のゴミ拾い
	10:40	集めたゴミの分析。記念撮影。集積場所へ移動しシール貼り
	10:55	水分補給。波戸 R による事前に捕獲した生きもの説明。タモ網の使い方説明
	11:05	水辺の生きもの捕獲
	11:15	捕獲終了。参加者の感想発表。外来種ガイドブック説明。レンジャー活動紹介。 淀川クイズ
	11:30	足下泥落とし。捕獲生物のリリース。
	11:40	活動終了。解散
配付資料		外来種ミニブック動物、植物
関係機関からの支援内容		河川レンジャーのぼり、レンジャービブス、折りたたみテーブル、水槽、エアーポンプ、外来種ミニブックの印刷
河川レンジャーの活動内容	準　備	下見(5 月、7 月)、チラシ作成
	当　日	清掃活動、生き物採集、安全監視
	事　後	活動報告書作成、出張所挨拶（7 月 31 日予定）
参加者からの意見		・河川の清掃活動はしたことがあるが、生き物と触れ合える場所の認識はなかった。 ・ゴミがこんなに流されているとは思わなかった。 ・淀川に少し興味を持った。

活動状況



集めたゴミの種類を分析



親子で岩の間に潜む生きものを捕獲



雌雄のカニをスマホで撮影



淀川にまつわる昔話クイズ

2.8 淀川の自然を楽しむ会（干潟での水生生物の観察会）　　・令和７年７月２６日（土）

実施状況

活 動 名	淀川の自然を楽しむ会（干潟での水生生物の観察会）			
氏　　名	岸田　俊徳（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	共催（団体名：淀川河川公園センター）			
活動日	令和７年７月 26 日（土）			
実施場所	淀川右岸十三干潟／十三野草地区 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		29 名	
	内訳	参加者	22 名	大人 10 名、子ども 12 名
		講師	―	
		スタッフ	7 名	淀川河川公園センター5 名、池宮 RA、伊藤 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	13:00	開始 ・事前に採集した生き物の説明 ・川の生き物の説明 ・川の潮位変化の説明 ・危険エリアや危険行為の説明 ・生き物採集活動（タモ、四つ手網、投網） ・安全監視 ・採集した生き物の解説		
	15:00	終了		
配付資料		「淀川の干潟に行ってみよう！」（発行：淀川河川事務所）		
関係機関からの支援内容		タモ、四つ手網、投網、レンジャービブス 水槽、など		
河川レンジャーの活動内容	準　備	備品準備（7/18）		
	当　日	生き物採集（開催前）		
	事　後	備品返却（7/31 予定）		
参加者からの意見		・魚を探すのが楽しかった（小学生） ・手長エビの大きさにびっくりしました。（親／女性） ・生き物の名前をたくさん教えてもらった。（小学生） ・淀川にこれほどたくさんの生き物がいることを知らなかった。（親／女性） ・淀川で親子で楽しめる場所があることを初めて知った。（親／男性）		

活動状況



事前に採集したクロベンケイガニ



活動前の説明



生き物の採集



採集した生き物の解説

2.9 淀川名人養成講座　番外①　　・令和７年９月２１日（日）

実施状況

活 動 名	淀川名人養成講座　番外①			
氏　　名	岸田　俊徳（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年９月 21 日（日）			
実施場所	淀川河川公園 長柄河畔地区／毛馬出張所 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		11 名	
	内訳	参加者	―	
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	6 名	マリーホ（大人５名、子ども１名）
		行政機関	―	
		学校関係	4 名	清流高校 ユネスコ部（教諭１名、生徒３名）
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:00	第１部活動開始 あいさつ、ゴミ拾い活動、毛馬閘門・淀川大堰閘門・旧閘門の説明		
	10:50	第１部活動終了、休憩		
	11:00	第２部活動開始 毛馬出張所内で治水・利水・環境についての座学、模型による毛馬閘門の説明		
	11:45	活動終了		
配付資料	淀川河川事務所：毛馬排水機場、淀川大堰・毛馬水閘門、淀川大堰閘門事業、知ってますか淀川のワンド、等のパンフレット 大阪水上バス（株）：ひまわりで行く毛馬閘門通過体験クルーズパンフレット 近畿地整・大阪府 他：水都大阪の防災を学ぶリバークルーズ参加者大募集チラシ トレーディングカード：毛馬排水機場、淀川大堰、東横堀川水門・道頓堀川水門			
関係機関からの支援内容	―			
河川レンジャーの活動内容	準　備	活動：備品の準備、毛馬施設資料の準備、など 下見：毛馬施設見学ルートの検討、毛馬エリアの不法ゴミの現状確認、など		
	当　日	活動：見学ルートの状況などの確認 安全：毛馬エリアの清掃範囲に危険物などの有無の確認		
	事　後	活動：清掃ゴミの集積、回収場所への移動 安全：参加団体への体調確認、など		
参加者からの意見	・淀川に水門や大堰があることを知らなかった。 ・旧閘門は迫力があるが、説明をされなければ、それ以上の興味を持たなかった。 ・淀川の水で生活をし、そこにある施設に守られていることを知った。			

活動状況



ゴミ拾い活動



淀川大堰等の施設説明



旧毛馬閘門の説明



毛馬出張所での座学

2.10 第５１回このはな区民まつり　ブース出展　　・令和７年１０月２６日（日）

実施状況

活 動 名	第 51 回このはな区民まつり　ブース出展			
氏　　名	岸田　俊徳（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 10 月 26 日（日）			
実施場所	西九条コミュニティ広場 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		157 名	
	内訳	参加者	149 名	大人 80 名、子ども 69 名
		講師	―	
		スタッフ	5 名	伊藤 R、波戸 R、白川 R、西畑 R、桑村 RA
		市民団体等	2 名	NPO 法人大阪海さくら
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	12:00	開始 ①　展示ブースにおいて、河川レンジャー活動及び地域と連携して外来植物防除について説明 ②　カニ釣り体験、チリメンモンスターを実施 ※参加者には①で説明を受けた後に②の体験を案内 【展示ブース】 ・河川レンジャーの活動「まるごと紹介」（パネル） ⇒河川レンジャーの役割や活動内容、淀川に生息する生き物、淀川水系一斉美化アクション活動等を紹介 ・地域と連携して外来植物防除 ⇒特定外来生物「オオバナミズキンバイ」、ワンドに侵入した外来種の防除が必要な理由、鳥飼ワンドで河川管理者、NPO 等と連携して外来植物の防除、生き物調査を実施 【クロベンケイカニ釣り体験】 ・クロベンケイガニ釣り　水槽にクロベンケイガニを入れ、割り箸にタコ糸及び沢庵を付けたもので釣り体験 ・クロベンケイガニの名前の由来や雄雌の見分け方を紹介 【チリメンモンスター体験】 ・ちりめんじゃこに混じったカタクチイワシ以外の生物（タコやイカ、エビ等）を探し出し分類、観察を行う		
	16:00	終了		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		―		

河川レンジャーの活動内容	準　備	備品の借用、クロベンケイガニの採集、活動内容の打合せ
	当　日	レンジャーの紹介（西畑 R、白川 R） チリモン（波戸 R、白川 R） クロベンケイガニ（伊藤 R、桑村 RA） 淀川河川レンジャーの取り組みを説明し、ご理解をいただいたうえで、チリモン、またはクロベンケイガニ体験を行う。 淀川の現状を知ることで、海にも影響をあたえていることを理解していただけるように、淀川（生き物体験）、海（海洋生物の多様性）を感じていただいた。
	事　後	備品の返却、活動の報告
参加者からの意見		・淀川でクロベンケイガニが採れることを知らなかった。 ・今後、河川レンジャーの活動に参加してみたいと思う。 ・淀川へ行って生き物観察をしたい。

活動状況



参加者でにぎわう展示ブース



河川レンジャーの活動紹介



子どもに大人気クロベンケイガニ釣り体験



ちりめんじゃこの中から別の生物を分類

2.11 環境美化ボランティア（河川敷清掃）　　・令和７年１１月７日（金）

実施状況

活 動 名	環境美化ボランティア（河川敷清掃）			
氏　　名	岸田　俊徳（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年 11 月７日（金）			
実施場所	淀川右岸西中島～十三野草公園  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		23 名	
	内訳	参加者	21 名	大人 21 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	13：30	開始
	13：40	・サカタインクスの参加者の紹介 ・岸田 R による活動の注意事項の説明
	13：15	・参加者が 2 班に分かれ、岸田 R と波戸 R が主導で清掃開始 途中で河川の環境、防災などの解説を交えゴミ拾い
	15：25	・ゴミの種類の評価（ゴミ袋 26 袋） ・岸田 R による活動のまとめ
	15：30	終了
配付資料		―
関係機関からの支援内容		―
河川レンジャーの活動内容	準　備	オンラインによる主催者（サカタインクス）との活動打合せ
	当　日	活動場所の安全確認、淀川解説を行いながらの清掃活動
	事　後	清掃ゴミを集積場所へ移動
参加者からの意見		・見えないところにゴミが多くあることに改めて驚いた。 ・淀川でいろんなレンジャー活動が行われていることを知った。 ・清掃と併せて淀川の話しを聞く事が出来て良かった。

活動状況



参加者紹介及び注意事項の説明



ごみ拾い活動（1）



ごみ拾い活動（2）

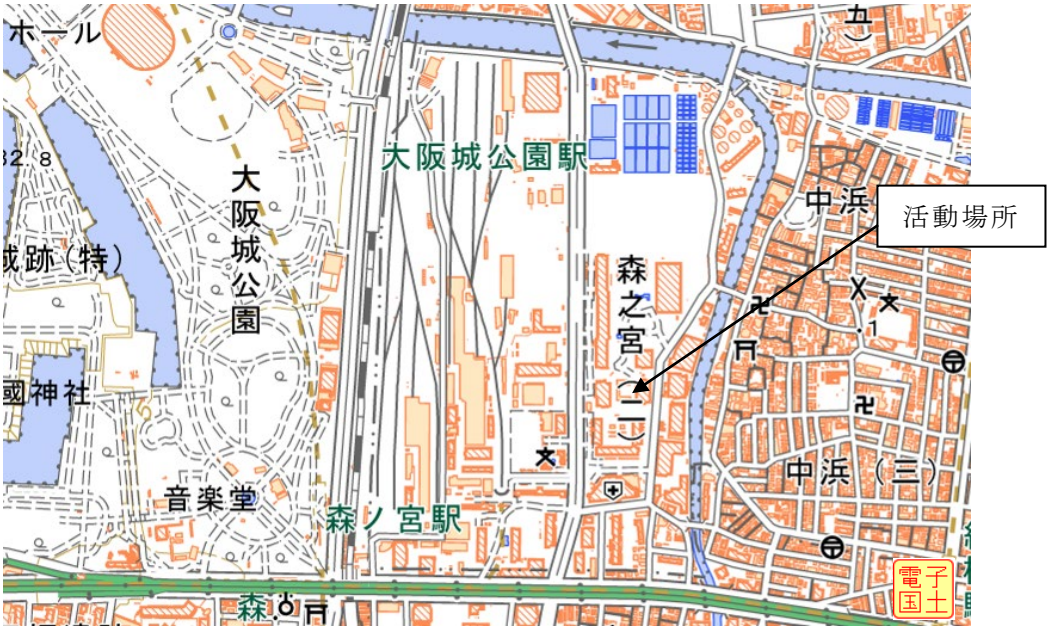


最終ゴミ収集

○波戸　睦（19 期生：試行）

2.12 子ども食堂防災講座その１　　・令和７年８月６日（水）

実施状況

活 動 名	子ども食堂防災講座その 1			
氏　　名	波戸　睦（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 8 月 6 日（水）			
実施場所	森ノ宮 UR 第 2 団地 8 号棟第 2 集会場内子ども食堂  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		24 名	
	内訳	参加者	18 名	子ども 11 名、大人 7 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	奥山 R
		市民団体等	4 名	子ども食堂ボランティア 4 名
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	19:00	開始、あいさつ、自己紹介など
	19:05	動画「雨水の行方と地面の様子」視聴
	19:15	防災クイズ「どこにひなんする？」
	19:20	会場周辺のハザードマップ解説
	19:30	グループで「マイぼうさいリュック」を考える
	19:35	まとめ、終了

配付資料		どこにひなんする？(PPT)、マイぼうさいリュック(PPT)、淀川のワンドにいってみよう(冊子)
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：物品貸与、資料印刷
河川レンジャーの活動内容	準　備	事前打ち合わせ（２回）、子供用防災資料（PPT 資料）、リハーサル（２回）
	当　日	上記スケジュール実施
	事　後	物品返却
参加者からの意見		・浸水するおそれがあることを知らなかった。 ・考えたことがなかったので、話を聞けて良かった。 ・何処に逃げるかわかった。今いるところも水に浸かるんや～ ・何処が安全かを考えるところで畑は安全だと思う？違うの？ ・川が氾濫するときは何処から情報をとればいいの？

活動状況



自己紹介



動画「雨水の行方と地面の様子」視聴



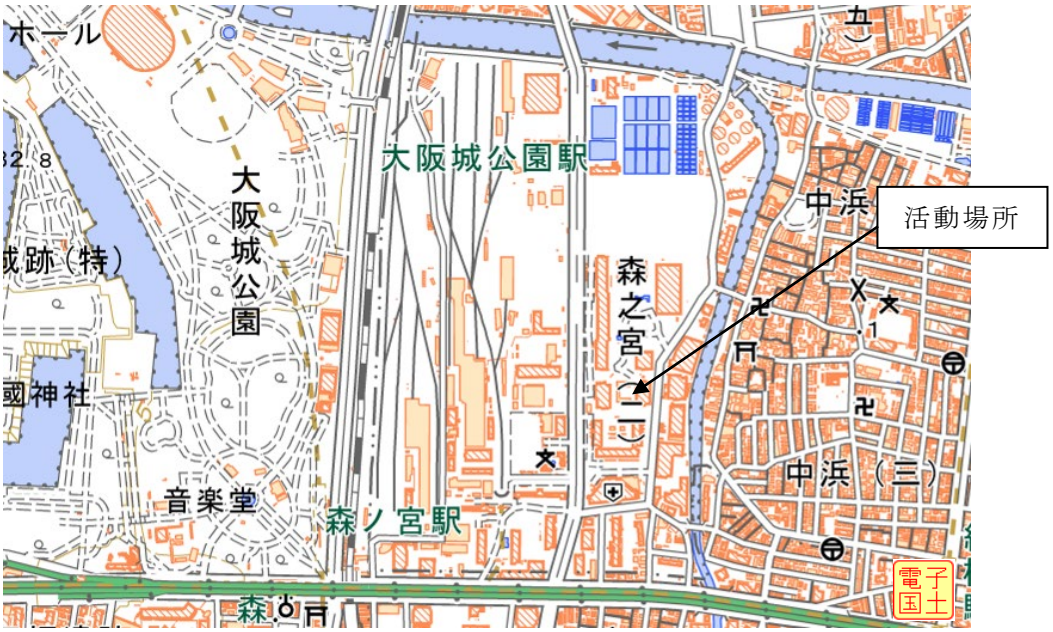
全体のまとめ



作成されたマイぼうさいリュック

2.13 子ども食堂防災講座その２　　・令和７年８月２０日（水）

実施状況

活 動 名	子ども食堂防災講座その 2			
氏　　名	波戸　睦（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 8 月 20 日（水）			
実施場所	森ノ宮 UR 第 2 団地 8 号棟第 2 集会場内子ども食堂  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		44 名	
	内訳	参加者	42 名	子ども 26 名、大人 16 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	白川 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	19:00	開始、あいさつ、自己紹介など
	19:05	動画「雨水の行方と地面の様子」視聴
	19:10	防災クイズ「どこにひなんする？」
	19:15	会場周辺のハザードマップ解説
	19:20	グループで「マイぼうさいリュック」を考える
	19:30	まとめ、終了

配付資料		どこにひなんする？(PPT)、マイぼうさいリュック(PPT)、淀川のワンドにいってみよう(冊子)
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：物品貸与、資料印刷
河川レンジャーの活動内容	準　備	依頼主との打ち合わせ（２回）、資料作成（PPT）、リハーサル（２回）、防災グッズの準備
	当　日	依頼主、参加者からの聞き取り
	事　後	支援員との振り返り、次回に向け調整
参加者からの意見		・雨がいっぱい降って洪水になることがわかった。 ・ちゃんと準備しとかなあかんてわかった。 ・防災リュックって初めて知った。何を入れようかすごく迷った。 ・家で防災バッグのシールを子供と貼って、一緒に考えることが出来たのが良かった。（今まで考えたことがなかった） ・防災リュックの中になにが入ってるのか初めてみた。

	・いろんなものがリュックに入っていて、何に使うかわからないものもあったけど、ちゃんと教えてくれた。 ・子供が地震が怖くて今日の授業も心配していたけど、ちゃんと聞いてきたことをお家で話してくれて嬉しかった。

活動状況



自己紹介



大雨が降った時のまちを考えるパート



グループにわかれて防災クイズ



マイぼうさいリュックの検討

2.14 門真市立第五中学校１年生　マイ・タイムライン ・令和７年９月２日（火）

実施状況

活 動 名	門真市立第五中学校 1 年生　マイ・タイムライン			
氏　　名	波戸　睦（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 9 月 2 日（火）			
実施場所	門真市立第五中学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		141 名	
	内訳	参加者	131 名	1 年生 131 名
		講師	－	
		スタッフ	1 名	岡村 R
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	8 名	教員
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	①13:30	①開始・自己紹介（波戸 R は 2 階教室でリモート講座。生徒は 4 階各クラスで受講）		
	13:35	水害の種類、停電について		
	13:45	門真市周辺で起こった水害について		
	13:48	ハザードマップの確認方法		
	13:50	マイ・タイムラインの説明（各クラスでは教員と岡村レンジャーが解説の補助）		
	13:55	マイ・タイムライン作り（教員が黒板上で作成。波戸 R は各クラス移動し、進捗確認）		
	14:03	作成したマイ・タイムラインをもとにグループワークで共有		
	14:10	気づきや意見、疑問などを気づきシートにまとめる。		
	14:16	活動まとめ、アンケート記入		
	14:20	終了		
	②14:30	②開始　　※①13:30～2 クラス、②14:30～2 クラス、計 4 クラス 131 名に実施。		
	～15:20	終了　　②時間進行と内容は、①スケジュールと同様。		
配付資料		校区ハザードマップ、マイ・タイムラインシート・シール、付箋		
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：配付資料印刷、物品貸与 門真市立第五中学校：PC 等機材の準備とリモート授業の通信環境設定		
河川レンジャーの活動内容	準　備	事前打ち合わせ、門真市災害資料（PPT 資料）、リハーサル（１回）		
	当　日	上記スケジュール実施		
	事　後	物品返却、振り返り（改善点、追加事項の確認）		

参加者からの意見	アンケート結果より ・災害が起きたときは早めに避難して、いまも、防災グッズとか準備しないといけないなと思いました。 ・水害は自分が思っていたよりもっと怖いものだと思った。 ・もうちょっと自分の街について知っておこうと思った！ 今日の「防災」の授業を習って、自分が知らない意見などがたくさん出ていて凄く勉強になりました。

活動状況



教員によるマイ・タイムライン作成のデモ



各クラスに移動して補足説明・確認



岡村 R によるクラスでの解説補助



グループワークで気づきの共有

2.15 枚方市立蹉跎東小学校 防災学習 ４年生　　・令和７年９月２６日（金）

実施状況

活 動 名	枚方市立蹉跎東小学校 防災学習 4 年生			
氏　　名	波戸　睦（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 9 月 26 日（金）			
実施場所	枚方市立蹉跎東小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		59 名	
	内訳	参加者	55 名	4 年生 55 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	3 名	教員
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	9:35	授業開始（1 組）
		自己紹介、レンジャーの説明
	9:40	雨と流域の話
	9:50	水害の種類と、枚方市周辺で起きた水害の説明
	9:55	ハザードマップの確認
	10:00	マイ・タイムラインの作り方説明
	10:05	マイ・タイムラインの作成
	10:10	グループワークで気づきの共有
	10:15	まとめ、振り返り
	10:20	授業終了（1 組）
		＜20 分休憩＞
	10:40	授業開始（2 組）※進行・内容は 1 組と同じ
	11:25	授業終了（2 組）

配付資料		ハザードマップ、マイタイムラインキット
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：配付資料印刷、物品貸与 枚方市立蹉跎東小学校：モニター等機材の準備
河川レンジャーの活動内容	準　備	事前打ち合わせ、枚方市災害資料（PPT 資料）、リハーサル（１回）
	当　日	上記スケジュール実施
	事　後	物品返却、振り返り（改善点、アンケート結果の確認）

参加者からの意見	＜アンケート結果より＞ ・自然災害は止められないから、しっかり準備しないといけないということを感じた。 ・防災バックを確認したり、避難場所をもう一度しっかり知る。 ・家族で避難する場所を話し合う。 ・防災バックとか家にあるけど、一回見直してみたり、もっと家族と話し合ってしっかりと決めといたほうがいいなと思った。やっぱり災害は怖いから、自分の命を守るために自分ができることは自分でしようと思った。

活動状況



自己紹介とレンジャーの説明



教員を交え避難行動について考える



マイ・タイムライン作成と振り返り



振り返り・各班の気づきを共有

2.16 関目東小学校４年生マイ・タイムラインづくり　　・令和７年１１月１８日（火）

実施状況

活 動 名	関目東小学校 4 年生マイ・タイムラインづくり　浸水歩行体験			
氏　　名	波戸　睦（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 11 月 18 日（火）			
実施場所	大阪市立関目東小学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		110 名	
	内訳	参加者	101 名	4 年生 101 名
		講師	－	
		スタッフ	3 名	赤畠 R、白川 R、西畑 R
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	5 名	教諭 3 名、学校長、OEN 事務局
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール

1 学年を 2 グループに分け、浸水地歩行体験(運動場)とマイ・タイムライン(多目的室)を同時進行し、1 時限目と 2 時限目でグループを入れ替えする形で実施。

(A グループ)

9:45　開始　河川レンジャーの紹介
9:47　水害って何だろう(雨水の行方の動画視聴、水害の種類、雨の降り方の遷移)
近くで水害は起こるの(淀川の水害の歴史、寝屋川総合治水対策紹介)
ハザードマップをみてみよう(ハザードマップの紹介、自分の家をマーク、近くの避難所の確認)
10:10　マイ・タイムラインを作ろう
10:22　質問や意見を出し合おう
10:27　まとめ　1 時限目終了

(B グループ)

9:45　開始　河川レンジャーの紹介
9:00　城東区の浸水想定、浸水したらどうなる(水は高いところから低いところに流れる、水が集まる、浸かってしまう)
浸水した場合の町の中の写真を使って説明(道路の状態が目視できないこと、いろいろなところに段差があること、マンホールが外れてしまっていることがあるなど)
9:07　浸水地歩行体験　レンジャーが歩き方のデモストレーション
班ごと(9 班)に分かれて体験(運動靴で体験した子は、体験後に着替え、長靴で体験した子は履き替え)

	10:25 10:30	体験後の感想を聞く まとめ(実際の避難では運動靴、浸水前に避難など) 終了 (10:45～11:30　２時限目 AB のグループを入れ替え実施)
配付資料		マイ・タイムラインシート・シール、校区のハザードマップ
関係機関からの支援内容		機材の運搬(毛馬出張所)
河川レンジャーの活動内容	準　備	実施内容確認の為打ち合わせ１回、資料作成、追加スタッフ要請（2 名）
	当　日	室内講義担当と浸水地歩行の 2 チーム体制で 2 時限を担当
	事　後	気付き、意見、質問を集約、質問に対しては回答を準備（送付予定）
参加者からの意見		(マイ・タイムライン) ・早めに準備して、風があまり強くないときに買い物や外に出る備えをすることがわかりました。それに逃げるときは早めに逃げる。 ・台風が来る前に用意することが多いと思いました。 ・３日前にどうするか、かぞくで相談するとわかりました。 ・いつでも避難できるように準備しておくことが、すごく大切だとわかりました。 ・雨や川の様子をネットで調べることもとても大切だなということに気づきました。 (浸水地歩行体験) ・運動靴で水が冷たかった。気持ち悪かった。 ・水の中が見えなくて怖かった。こんなに茶色の水なん? ・水の中を歩くのが歩きにくかった。 ・足に何か当たってびっくりした。何か全然わからない。 ・実際に水害のときに流れてくる水は汚い水だと聞いた。そんなん入るの、いや。

活動状況



校区のハザードマップを見てみよう



マイ・タイムライン作成



町が浸水したらどうなる?



浸水歩行体験

2.17 茨木市中津校区防災会（浸水地歩行体験）　・令和８年１月１８日（日）

実施状況

活 動 名	茨木市中津校区防災会（浸水地歩行体験）			
氏　　名	波戸　睦（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和８年１月 18 日（日）			
実施場所	茨木市立中津小学校　校庭 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		226 名	
	内訳	参加者	143 名	
		講師	―	
		スタッフ	2 名	奥山 R、西畑 R
		市民団体等	36 名	中津校区自主防災会 33 名 阪神救助犬協会 3 名
		行政機関	16 名	茨木市職員 2 名 茨木市消防本部 2 名 茨木市消防団三島分団 12 名
		学校関係	28 名	茨木市立東中学校（生徒 27 名、教員 1 名）
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:00	地区防災訓練　開会あいさつ ・参加団体等の紹介 ・今日の体験内容説明【①浸水地歩行体験、②家具倒壊防止啓発、③AED 講習】 （3 グループが 3 箇所のブースを 20 分ごとにローテーションで巡る） （レンジャーは浸水歩行体験ブースを担当する）		
	10:15	地区防災訓練　開始 ①中津小学校区の水害リスク解説 ②浸水時の避難方法の解説（消防団や中学生が体験補助を担当） ③浸水地歩行体験（体験中の待ち時間に、地区防災会から各地区の詳細解説） ④まとめ（浸水が発生する前の早期避難、ルート確認の重要性を伝える） 【同様の手順で計 3 グループに実施。10:15～10:35、10:40～11:00、11:05～11:25】		
	11:25	3 グループ終了		
	11:30	災害救助犬のデモンストレーション、消防車両との記念撮影		
	12:00	地区防災訓練終了 ※一部体験がまだの方や自主防災会員を対象に浸水地歩行体験を実施。		
	12:25	終了・撤収		
配付資料		防災ミニブック、レンジャーニュース 73 号		

関係機関からの 支援内容		河川レンジャー事務局：配付資料印刷、物品貸与 中津校区防災会：機材の搬入・搬出、浸水地歩行スタッフ参加 消防団、中津東中学生：浸水地歩行スタッフ参加
河川レンジャーの 活動内容	準　備	実施内容確認の為打ち合わせ１回、資料作成、追加スタッフ要請（2 名）
	当　日	解説と浸水地体験で担当スタッフを分けて順番待ちの参加者へもしっかりと対応
	事　後	防災会スタッフと感想の確認、今後の防災企画への参加についての話を行う
参加者からの意見		・自分の住んでいる所がまさか２ｍ～３ｍも浸水するとは思わなかった。 ・避難経路をしっかりと確認しとかないといけないなぁ。 ・校区が水没してる、どこに逃げても水に浸かるやん！ ・避難場所が何処か、確認できてよかった。 ・１５ｃｍでも足元が見えない、ヤバい。 ・思っていたより水の抵抗が大きくて歩きにくい、３０ｃｍだともう無理。 ・うちはマンションの１階だから、しっかりと避難所に行く準備をしておこう。 ・避難するタイミングが難しい。 ・足元が見えないのは、怖かったです ・傘で足元を確認しながら歩くのは良かった。 ・まだ浅めだったから歩けた ・以外とそこが見えなくて、本番だったら戸惑いそうで怖かった ・とても良かった ・知らない情報が知られてよかった ・怖かった。

活動状況



水害リスクと浸水地歩行体験の解説



参加者の体験を地域の消防団や中学生が補助



地区防災会による各地区の詳細解説



地域住民の質問に答えるレンジャー

2.18 鳥飼東小校区自主防災会（浸水地歩行体験）　・令和８年２月１５日（日）

実施状況

活 動 名	鳥飼東小校区自主防災会（浸水地歩行体験）			
氏　　名	波戸　睦（毛馬出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和８年２月 15 日（日）			
実施場所	摂津市立鳥飼東小学校　校庭 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		131 名	
	内訳	参加者	87 名	
		講師	―	
		スタッフ	3 名	鳥飼東小校区ＰＴＡ3 名
		市民団体等	19 名	自主防災会 9 名 福祉委員会 8 名 日本レスキュー協会 2 名
		行政機関	13 名	摂津市職員 2 名 摂津市消防本部 5 名 摂津市消防団鳥飼上分団 6 名
		学校関係	8 名	第五中学校　生徒 7 名、教員 1 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:00	地区防災訓練　開会あいさつ ・参加団体等の紹介 ・今日の体験内容説明 【①浸水地歩行・水没ドア体験、②段ボールベッド、③AED 講習】 （3 グループが 3 箇所のブースを 20 分ごとにローテーションで巡る） （レンジャーは浸水歩行体験ブースを担当する）		
	10:25	地区防災訓練　開始 ①鳥飼東小学校区の水害リスク解説 ②浸水時の避難方法の解説（ＰＴＡの方 3 名が体験の補助を担当） ③浸水地歩行体験（体験中の待ち時間に、地区防災会による水没ドア解説） ④まとめ（浸水が発生する前の早期避難、ルート確認の重要性を伝える） 【同様の手順で計 3 グループに実施。10:25～10:45、10:50～11:10、11:15～11:35】		
	11:25	3 グループ終了		
	11:40	災害救助犬のデモンストレーション、消防車両との記念撮影		
	12:10	地区防災訓練終了		
配付資料		防災ミニブック、レンジャーニュース 73 号		
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：配付資料印刷、物品貸与 鳥飼東小校区自主防災会：機材の搬入・搬出、浸水地歩行スタッフ協力		

河川レンジャーの活動内容	準　備	実施内容確認の為打ち合わせ、現地視察１回、資料作成、搬入・搬出要請
	当　日	解説と浸水地体験で担当スタッフを分けて順番待ちの参加者へもしっかりと対応
	事　後	感想の確認、今後の一斉清掃等の企画紹介と参加要請
参加者からの意見		・自分の住んでいる所がまさかこんなに浸水するとは思わなかった。 ・避難所に避難するのが恥ずかしいと思っていたけど考え直します。 ・こんなに飲み水がいるとは思わなかった。 ・校区内何処に逃げても水につかる！どうしよう？ ・避難場所へ行く道中の危険箇所も見ておきます。 ・１５ｃｍでも足元が見えない、怖い。 ・流れがあると歩きにくい、避難の時はもっときついんでしょ。 ・水の抵抗（浸水地歩行、水没ドア）ってすごい。

活動状況



水害リスクと浸水地歩行体験の解説



参加者の体験はPTAのスタッフが補助



併設された自主防災会作成の水没ドア体験



地域住民の質問に答えるレンジャー

3　枚方出張所管内

○道場　明子（14 期生：5 年目）

3.1 自転車と歩行者に関する意見聴取　　・令和７年５月１０日（土）

実施状況

活 動 名	自転車と歩行者に関する意見聴取			
氏　　名	道場　明子（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 5 月 10 日（土）			
実施場所	淀川河川公園太子橋地区（大阪市旭区）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		54 名	
	内訳	参加者	52 名	聞き取り調査 ・自転車利用 28 名　・歩行者 20 名　・ランニング 4 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	8:50	調査票を基に聞き取り調査開始 調査票の内容：区分、利用頻度、利用区間、ヒヤリ・ハット経験、内容（今回新たに「対応者」を追加）、その他ご意見		
	10:45	調査終了		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		―		
河川レンジャーの活動内容	準　備	聞き取り調査項目作成		
	当　日	公園管理所挨拶。河川レンジャーのぼり、調査中看板設置・撤収、公園管理所お礼		
	事　後	調査結果整理・分析		
参加者からの意見		意見聴取 52 名中ヒヤリ・ハット経験者は、26 名 ヒヤリ・ハット有の内訳は、歩行者：11 名、ランナー：4 名、自転車：11 名 ・自転車・歩行者より、交通ルールが不明。路面表示してほしい。どこを歩いたらいいの？（自転車や通行人から強い口調で注意を受けた方が 4 名いた。） ・舗装の劣化で、自転車のパンクや落車があった。（自転車 3 名） ・今回は、ヒヤリ・ハット理由で高速自転車によるものが最も多かった。（11 名） ・（接触事故経験者より）AED 設置場所情報と、救急車を呼ぶ時スマートフォンがなくても現在地がわかるような表示があればよい。 【ヒヤリ・ハット以外の意見】 ・大工大グラウンド付近にひばりの巣があり、子育ての時期に草が刈られた。時期を考慮してほしい。		

活動状況



歩行者への聞き取り



野鳥観察が日課の方への聞き取り



自転車利用者への聞き取り



ランナーへの聞き取り

3.2 守口市こどもまつり出展（ヨシ笛づくり）　　・令和７年５月１８日（日）

実施状況

活 動 名	守口市こどもまつり出展（ヨシ笛づくり）			
氏　　名	道場　明子（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	共催（団体名：守口市こどもまつり実行委員会）			
活動日	令和 7 年 5 月 18 日（日）			
実施場所	大枝公園(守口市) 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		671 名	
	内訳	参加者	667 名	大人 217 名、子ども 450 名
		講師	―	
		スタッフ	3 名	出来 RA、新保 P、他 1 名
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	9:30	守口市こどもまつり　開会式		
	10:00	受付開始 ヨシ笛作り （1 グループ 5 名程度に分けて材料配付、リード取付手順説明） （ヨシ笛の吹き方レクチャー、鳴らない場合にサポート） ※待ち時間を利用して、「水辺の植物　ヨシってすごい（ヨシの紙芝居)」、「あし」「やぶこぎ」などの絵本を閲覧できるように展示 ※午後の部開始前に水辺の安全(ライフジャケット着用)の啓発を実施。 10:00～11:30 午前の部 11:30～12:30 材料手配と休憩 12:30～14:10 午後の部		
	14:10	受付終了		
	14:30	終了		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		当日：テント 2 個・長机 8 本・椅子 6 脚（実行委員会） 準備：広報等		
河川レンジャーの活動内容	準　備	実行委員会参加（4 回）・当日使用物準備（ヨシ・プラバン・物品貸与・受付表作成等）		
	当　日	運営全般・安全管理・ヨシ笛づくり		
	事　後	実行委員会 6/17 参加予定（1 回）		

参加者からの意見	・はじめてヨシを知った。淀川に生えているところがあるんですね。 ・鵜殿って知らない。こんなに生えているところが淀川にあるの? ・面白い音が鳴る。ブタの鳴き声みたい。 ・笛が鳴ってうれしかった。 ・かやねずみかわいい。 ・守口でも自然ゆたかな場所があるの知らなかった。 ・庭窪ワンド行ってみたい。 ・こんなに大きい植物が淀川にあるんだ。

活動状況



ヨシの説明・水辺の安全の啓発



ヨシ笛づくり



ブース内部(受付も含めテント内で熱中症対策)



ヨシ笛作りサポート

3.3 自転車と歩行者に関する意見聴取　　・令和７年７月１９日（土）

実施状況

活 動 名	自転車と歩行者に関する意見聴取			
氏　　名	道場　明子（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 7 月 19 日（土）			
実施場所	淀川河川公園太子橋地区  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		22 名	
	内訳	参加者	20 名	＜聞き取り調査＞ 自転車利用 3 名 歩行者 13 名 ランナー4 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	土井 P
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	9:00	開始 活動内容説明、公園通行者へのヒヤリハット体験の意見聴取		
	10:45	調査終了		
	11:00	片づけ・終了、解散		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		―		
河川レンジャーの活動内容	準　備	聞き取り調査項目作成・下見（通行調査・公園管理所挨拶）		
	当　日	公園管理所開始と終了挨拶、のぼり・看板設置、撤収		
	事　後	調査結果の整理		
参加者からの意見	・太子橋地区の駐車場出入口付近でヒヤリハットした経験者は 3 名（3 名とも原因は高速自転車） ・子どもが公園から飛び出し、高速自転車と接触しそうになりヒヤリとする事がある。 ・両耳にイヤホンして歩行する人、周囲の音が聞こえないので、危険がせまっていてもわからない。 ・「よけんかい」と走っていたら罵声をあびせられた。 ・歩車分離してはどうか。 ・夜に BBQ をする人がいる。近所なので火の始末など心配。（公園管理者がいない時間帯の利用）公園管理者に言っても改善されない。 ・赤川地区は駐車場が 7 時に開いてトイレも使用できる。太子橋地区はトイレ 9 時にならないと開けてくれない。 ・自動販売機があればいい。 ・電動自転車は音がしないので近づいたのがわからず危険。			

	・集団で高速走行する自転車は怖い。 ・公園駐車場付近は徐行して運転するが、公園から一般道にでる所が危ない。 ・公園内をバイクで走る人を最近みかける。

活動状況



活動内容明示看板設置と活動内容の説明



意見聴取（ランナー）



意見聴取（歩行者）



意見聴取（自転車利用者）

3.4 自転車と歩行者に関する意見聴取　　・令和７年９月２０日（土）

実施状況

活 動 名	自転車と歩行者に関する意見聴取			
氏　　名	道場　明子（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年９月 20 日（土）			
実施場所	淀川河川公園太子橋地区（大阪市旭区）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		85 名	
	内訳	参加者	83 名	聞き取り調査　自転車利用　28 名 歩行者　33 名 ランナー　6 名 自動車利用　16 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	一般
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	8:45	調査票を基に、聞き取り調査開始 調査票の内容：区分、利用頻度、利用区間、ヒヤリ・ハット経験、内容（今回新たに「どうしたらいいか？」、「ゆっくり走行はどのくらい？」を追加） （調査の合間を見て、散乱しているゴミを収集）		
	11:00	調査終了		
配付資料	―			
関係機関からの支援内容	河川レンジャーのぼり、ビブス、調査票の印刷			
河川レンジャーの活動内容	準　備	聞き取り調査項目作成		
	当　日	公園管理所挨拶、河川レンジャーのぼり・調査中看板の設置撤収 公園管理所お礼と収集ゴミ処理のお願い		
	事　後	調査結果整理・分析		
参加者からの意見	意見聴取 83 名中、ヒヤリ・ハット経験者は 22 名 ［内訳］歩行者 7 名、ランナー1 名、自転車 11 名、自動車 3 名 ［内容］高速自転車 7 名、飛び出し（ボール・子ども）4 名、一旦停止しない車 2 名、など その他毎回だが、20 インチの電動アシスト自転車の立ち往生が多くみられる（写真有）子どもを乗せている事も多く、特に上流側は道路が近く待機場所も危険。 【ヒヤリ・ハット以外の意見】 ・歩行者：太子橋地区駐車場の植え込みに毒キノコがはえている、対処してほしい。			

	（太子橋公園管理センターに連絡済） ・ウォーキングイベント参加者：道が広くて安全に歩けるのでありがたい。 ・自転車利用者：・並走するランナーが通行の妨げになる。 ・橋で遮れられず広いので、緊急用河川敷道路の方が天端より走りやすい。 ・歩行者・自転車ともにイヤホンをつけている人が多くみられる。（周囲の状況に気付きにくい）

活動状況



簡単に通り抜けできないバイク止め



自動車利用者への聴取



ウォーキンググループへの聴取



自転車利用者への聴取

3.5 自転車と歩行者に関する意見聴取　　・令和７年１０月１８日（土）

実施状況

活 動 名	自転車と歩行者に関する意見聴取			
氏　　名	道場　明子（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 10 月 18 日（土）			
実施場所	淀川河川公園太子橋地区（大阪市旭区）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		44 名	
	内訳	参加者	41 名	聞き取り調査　自転車利用　20 名 歩行者　12 名 ランナー　4 名 駐車場利用（車）5 名
		講師	―	
		スタッフ	2 名	佐藤 P、一般
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	9:00	調査票を基に、聞き取り調査開始 調査票の内容：区分、利用頻度、利用区間、ヒヤリ・ハット経験、内容（今回新たに様式を変更）、その他ご意見 （雨が強くなってきたため、早めに撤収）		
	10:40	調査終了		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		―		
河川レンジャーの活動内容	準　備	聞き取り調査項目作成		
	当　日	公園管理所挨拶、河川レンジャーのぼり、調査中看板設置・撤収、公園管理所お礼		
	事　後	調査結果整理・分析		
参加者からの意見		＜当日の往来数＞（9:15～10:40、曇り時々雨、気温 23 度） 上流側から下流側へ：歩行者　42 名、自転車　66 台 下流側から上流側へ：歩行者　45 名、自転車　78 台 堤防上から緊急道へ：歩行者　28 名、自転車　37 台、自動車 49 台 ―――――――――――――――――――――――― 期間中通行者の総計：歩行者 115 名、自転車 181 台、自動車 49 台		

	意見聴取 41 名中 ●緊急用河川敷道路でのヒヤリ・ハット経験者は 14 名 （内訳：歩行者 1 名、ランナー4 名、自転車 7 名、自動車 2 名） ［内容］複数回答 ・高速自転車 4 名 ・飛び出し（ボール 3 名・子ども 3 名）計 6 名 ・駐車場入り口の視界を遮る草 2 名 ・その他（道をふさぎ並走する自転車やランナー、自転車や歩行者のよそ見、スマホを見ながらの自転車運転、一旦停止しない車、等） ●太子橋地区駐車場出入口付近でのヒヤリ・ハット経験は 2 名 （内訳：歩行者 1 名、ランナー1 名） ［内容］・高速自転車　・一旦停止しない車 他府県ナンバーの車など、初めて駐車場を利用するドライバーは徐行しているが、一旦停止せずつっこんできて危険。 【ヒヤリ・ハット以外の意見】 ・豊里大橋下流側のグランド使用者が原付に乗っている所を複数回目撃した。 ・城北ワンド周辺には、トイレがないので立ちションが多発し見苦しいし、汚い。 ・ヒヤリ・ハットする事もあるが、マナーが悪くてイラっとする事がある。人によって常識が違うので、トラブルになるといけないし注意できない。 ・自然にふれられる良い場所。毎日利用している。

活動状況



聞き取り準備


歩行者・自転車利用者への聞き取り


親子の利用者から話を聞く


ヒヤリ・ハットのあった地点を聞き取り

3.6 自転車と歩行者に関する意見聴取　　・令和７年１１月２９日（土）

実施状況

活 動 名	自転車と歩行者に関する意見聴取			
氏　　名	道場　明子（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 11 月 29 日（土）			
実施場所	淀川河川公園太間地区（左岸太間駐車場付近） 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		82 名	
	内訳	参加者	80 名	自転車 62 名、ランナー7 名、歩行者 7 名、公園利用者 4 名
		講師	－	
		スタッフ	1 名	一般
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	－	
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	8:55	意見聴取開始 （随時　自転車利用者、歩行者等に対してヒヤリハット等のヒヤリングを実施）		
	10:30	意見聴取終了（ヒヤリング用紙終了）		
配付資料		－		
関係機関からの支援内容		（枚方出張所）事前調整 （事務局）物品貸与、アンケート用紙印刷		
河川レンジャーの活動内容	準　備	下見、河川管理者との打合せ		
	当　日	看板の設置、のぼり設置、公園管理員との調整		
	事　後	後片付け、報告書の作成		
参加者からの意見		意見聴取 80 名中 ●緊急用河川敷道路でのヒヤリ・ハット経験者は、20 名 （内訳：自転車 18 名・車 2 名） ［内容］複数回答 ・子どもや高齢者の飛び出し→9 名 ・飼い犬でリードしていない犬が近づいてきた→1 名 ・高速自転車によるあおり運転→2 名 ・鳩の群れに視界を遮られた→1 名 ・磯島グランドより下流で、草がのび道幅が狭い所がある→1 名 ・砂利道の所→2 名 ・磯島グランド付近で、半年くらい前に少年野球のこどもと自転車の接触事故を目撃した→1 名 ・防護柵でケガはないが、自転車に無数の傷がついた→1 名 ・草丈が高く見えにくい所がある→2 名 ・自転車に草が絡んでこけた→1 名		

	●太間地区駐車場出入口付近でのヒヤリ・ハット経験は 2 名 （内訳：車で公園利用 2 名） ・駐車場出入口付近の草丈が高いと視界が遮られ、徐行しているが見えにくい。 ・今はなくなったが、駐車場出入口付近に植木があり見えにくかった。 【ヒヤリ・ハット以外の意見】 ・河川公園のトイレの扉が閉まらない事があった。 ・ほぼ毎日散歩しているが、安全で楽しく散歩できる。 ・車でよく利用するが、徐行しているのでヒヤリとした経験ない。 ・自転車の防護柵が改善され、特段支障がない。 ・堤防の草刈がされており、見通しが確保されている。 ・防護柵が改善されているので、自転車からおりずに通過するロードバイクが多い。 ・改善された防護柵の為、立ち往生する電動アシスト自転車がなかった。

活動状況



自転車の利用状況



自転車利用者へのヒヤリング



歩行者へのヒヤリング



公園利用者へのヒヤリング

3.7 ＮＡＬＣ「天の川クラブ」水の防災講座　　・令和７年１２月３日（水）

実施状況

活 動 名	NALC「天の川クラブ」水の防災講座			
氏　　名	道場　明子（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	共催（団体名：NALC「天の川クラブ」）			
活動日	令和 7 年 12 月 3 日（水）			
実施場所	楠葉生涯学習市民センター 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		23 名	
	内訳	参加者	20 名	大人 20 名
		講師	―	
		スタッフ	2 名	NALC「天の川クラブ」2 名
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール

10:00　開始

NALC「天の川クラブ」事務局長　挨拶・近況報告

・各地区日常生活に関する防災防火、詐欺被害防止、見守りパトロール、清掃活動などを推進、天の川クラブメンバー624 名、平均年齢 79 歳（2025 年 9 月時点）

NALC「天の川クラブ」１地区会　運営委員挨拶

10:30　水の防災講座　道場 R

活動趣旨と注意事項の説明、自己紹介

淀川管内河川レンジャーとは　①治水、防災　②環境保全　③河川利用　④維持管理　⑤歴史文化　⑥川づくり・人づくり　に関する活動を実施

【本講座の目的】

風水害から「自分」や「家族」の身を守るために、とるべき行動を前もって考え、整理し、「災害から命を守る」避難行動につなげること

【今日の目標】

・ハザードマップを確認

・（淀川洪水版）マイ・タイムラインを作成

【風水害から身を守るために】

①　災害リスクを知る

・水害リスクの高い日本、都市化により高まる水害リスク、気候変動により高まる水害リスク

・想定される風水害

⇒ 河川氾濫（内水氾濫、外水氾濫）、ため池の決壊、土砂災害、台風、枚方市で発生した風水害

⇒ 明治 18 年淀川堤防決壊、2012.8.14 前線による大雨、2013.9.16 台風 18 号、2017.10.23 秋雨前線、2018.9.4 台風 21 号、2021.9.25 豪雨の概要と被害を写真で解説

・樟葉駅周辺の地形的特徴

②　避難方法の確認

・立ち退き避難（水平）と在宅避難（垂直）

		・避難場所（緊急的、一時的)、避難所（一定期間、生活） ③ マイ・タイムラインを作成 ・ハザードマップで自身の居住エリアの災害想定及び避難所等を確認 ・災害想定シートへ記入、ハザードマップの注意点 ・災害時のトイレについて ④ まとめ ・災害に備えた施設紹介（雨水貯留管整備、土のうステーション、止水版） ・できる所から、「知識」と「訓練」を（訓練や講座への参加、避難所の確認、避難経路の確認など、日頃からできることの積み重ねが重要）
	12:00	終了
配付資料		マイ・タイムライン作成シート（シール）
関係機関からの支援内容		事務局から印刷と資料作成
河川レンジャーの活動内容	準　備	打合せ・下見・説明資料作成・物品貸与
	当　日	設営・講義・撤収
	事　後	報告書作成・物品返却
参加者からの意見		・ハザードマップをはじめてみた。 ・ハザードマップで自宅を確認できてよかった。 ・簡易トイレを準備しようと思った。 ・実際に楠葉で浸水を経験した。 ・浸水継続時間が長く避難方法を再検討した。 ・スライドが見えにくかった。 ・また、他の人にも伝えたいので、別のグループでも受けたい。 ・河川レンジャーはいろんな活動をしている事を知った。

活動状況



開会の挨拶



ハザードマップで居住エリアを確認



マイ・タイムラインを作成



まとめ

3.8 自転車と歩行者に関する意見聴取　　・令和７年１２月１３日（土）

実施状況

活 動 名	自転車と歩行者に関する意見聴取（12 月度）			
氏　　名	道場　明子（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 12 月 13 日（土）			
実施場所	淀川河川公園太子橋地区  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		92 名	
	内訳	参加者	90 名	聞き取り調査　自転車利用　49 名 歩行者　35 名（内ペット同伴 1 名） ランニング　6 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	一般
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	9:00	調査票を基に、聞き取り調査開始 調査票の内容：区分、利用頻度、利用区間、ヒヤリ・ハット経験・内容 （調査の合間を見て、散乱しているゴミを収集）		
	10:45	調査終了		
配付資料	―			
関係機関からの支援内容	河川レンジャーのぼり、調査票の印刷			
河川レンジャーの活動内容	準　備	調査票印刷		
	当　日	公園管理所挨拶。河川レンジャーのぼり、調査中看板設置・撤収。公園管理所お礼と収集ゴミ処理お願い。		
	事　後	調査結果整理・分析		
参加者からの意見	意見聴取 90 名中ヒヤリ・ハット経験者は 35 名 ヒヤリ・ハット有の内訳 歩行者：12 名、ランナー：4 名、自転車：19 名 ・バイク止め危険、7 名（毛馬のバイク止めでこけてケガした。内 1 名） ・高速自転車や自転車の横並び運転、6 名 （自転車の危険運転が多いので自転車走行は使用許可制にしてほしい。内 1 名） ・公園付近のボール・人の飛び出し、5 名（大人の急な立ち止まりなど） ・草丈が高く、狭い道は視界が悪く自転車走行時危険、5 名 ・イヤホンしている歩行者・ランナー・自転車は危険、4 名 ・電動キックボードが音なく近くにいてびっくりした（歩行者） ・自転車とぶつかりそうになった（ランナー）			

	・犬の散歩中、邪魔とどなられた（歩行者） ・マラソン大会等、ランナーが横並びで走り通路をふさぐ（自転車） ・緊急用河川敷道路でのキャッチボール（自転車） 【ヒヤリ・ハット以外の意見】 ・以前はゴルフをしていた人がいたが、最近は見なくなった（ほぼ毎日・歩行者） ・軟式ボールで野球している。多少ボールが飛び出してあたったとしても危険性はないので迷惑になっていないのでは（公園利用者） ・外島と太子橋の間の森の茂みは防犯上よくない、草刈りしてほしい。

活動状況



ペット同伴の歩行者



自動車・自転車・歩行者



手振りで自転車のすり抜けを指摘



聞き取りの合間にゴミ収集

3.9 寝屋川市立中央図書館 防災講座「教訓から学ぶ防災」・令和８年１月１５日（木）

実施状況

活 動 名	寝屋川市立中央図書館　防災講座「教訓から学ぶ防災」			
氏　　名	道場　明子（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	共催（団体名：寝屋川市立中央図書館）			
活動日	令和８年１月 15 日（木）			
実施場所	寝屋川市立中央図書館 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		21 名	
	内訳	参加者	17 名	大人 17 名
		講師	―	
		スタッフ	１名	土井 R
		市民団体等	―	
		行政機関	２名	図書館職員
		学校関係	名	
		淀川河川事務所	名	
		河川レンジャー事務局	１名	

スケジュール

14:00	開会式 活動趣旨と注意事項の説明、自己紹介、河川レンジャー活動について(道場 R) ～教訓から学ぶ防災～ 【目標】ハザードマップを確認し、「自分はどう動くか」を考える ・阪神淡路大震災時の状況ふりかえり ・阪神淡路大震災における淀川の被災状況（西島川表護岸沈下） ～緊急船着き場の整備
14:10	寝屋川市の災害シミュレーション ・寝屋川市で想定される災害について説明（地震、液状化、ため池決壊、がけ崩れ・地すべり、外水氾濫、内水氾濫） ・寝屋川市の地域特性(地理・地形の特徴)、都市化による水害リスク ・住宅密集×木造住宅が多い　・通勤・通学流出型の都市
14:25	地震、水害・台風時の教訓 事前(発災前の平時)「０次の備え」の説明
14:40	個人ワーク「自分はどう動くか」 １．「ハザードマップで調べて考えよう」 ・ハザードマップで自身の居住エリアの災害想定及び避難所等を確認 ・災害想定シートへ記入し、避難場所を考える ・ハザードマップの注意点 ・避難について考える（避難経路、避難所の定員、避難所の備蓄品、トイレ等）
15:05	２．「非常持ち出し袋と備蓄品を考えよう」 ・ミニブックを使って避難リュックを作る
15:22	３．まとめ ・災害に備えた施設紹介（雨水貯留施設、防災井戸等） ・寝屋川市地域防災計画の紹介 ・できる所から、「知識」と「訓練」を（訓練や講座への参加、避難所の確認、避難経路の確認など日頃からできることの積み重ねが重要）
15:30	閉会式（アンケート依頼）、終了

配付資料		・ハザードマップを確認しよう/災害想定シート　・避難を考えるミニブック ・大阪府非常用リスト/大阪府備蓄品リスト
関係機関からの支援内容		・寝屋川市ハザードマップ（寝屋川市危機管理室防災課より貸出）
河川レンジャーの活動内容	準　備	下見、打合せ、講座準備（ＰＰＴ・配布物）
	当　日	講座
	事　後	お礼挨拶
参加者からの意見		・避難用品の揃え方などがすごく参考になった。もっと詳しく教えてほしい。 ・今まで気づけていない事にきがつけた。 ・ゆっくり考えたことがなかったので、考える時間がもててよかった。 （質問） ・このハザードマップでは他の川の氾濫はわからないですよね？浸水した場所が塗られていない （回答） ・見ていただいているのは、淀川が氾濫した場合のマップです。他に内水氾濫や寝屋川、ため池のハザードマップがあります。ホームページなどで確認できますので、ご自宅のリスクを確認しておいてください。

活動状況

寝屋川市の特性について説明



ハザードマップの見方や凡例の解説



災害想定シートへ記入



避難リュックを作ろうのワーク



3.10 自転車と歩行者に関する意見聴取　　・令和８年１月１７日（土）

実施状況

活 動 名	自転車と歩行者に関する意見聴取			
氏　　名	道場　明子（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和８年１月 17 日（土）			
実施場所	淀川河川公園太子橋地区（豊里大橋 左岸）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		75 名	
	内訳	参加者	73 名	聞き取り調査　自転車利用　53 名 歩行者　13 名 ランニング　7 名
		講師	―	
		スタッフ	１名	一般
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	１名	
スケジュール	9:00	開始、自転車と歩行者に関する意見聴取 通行人や自転車利用者に対して、「ヒヤリ・ハット」した場所や事柄等のヒアリングを実施 【意見聴取内容】 ・利用目的、利用頻度、利用区間 ・「ヒヤリ・ハット」した経験や見たことの有無 ⇒いつ頃、具体的な内容、対応者、どうしたらいい？等		
	11:00	終了		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		調査票の印刷		
河川レンジャーの活動内容	準　備	調査票・掲示物準備		
	当　日	公園管理所挨拶 河川レンジャーのぼり、調査中看板設置・撤収 公園管理所お礼と収集ゴミ処理お願い		
	事　後	調査票集計		
参加者からの意見		意見聴取　73 名中ヒヤリ・ハット経験者は、33 名 33 名の内訳（歩行者：８名、ランナー：５名、自転車：20 名） 主な内容：高速自転車 10 名、飛び出し 7 名（こども・犬・ボール）、路面不良 6 名（溝が危険、工事の砂でこけた、デコボコでこけたこどもを目撃した等）、バイク止め 5 名（通りにくい等）、駐車場付近はどこも徐行せず車・自転車が突っ込んできて危険、草が茂って道幅が狭くなる時期があり危険等 【ヒヤリ・ハット以外の意見】 ・ポイ捨てが目立つ。マナーが悪い。（自転車利用者）		

	・河川公園のトイレを利用しやすくしてほしい。（歩行者） ・毛馬から枚方までは、草刈りがされていて気持ちよく走れる（自転車利用者） ・よく利用するが、駐車場出入り口など危険を感じた事はない。（車で公園利用）

活動状況



歩行者への意見聴取



ランナーへの意見聴取



自転車利用者への意見聴取①



自転車利用者への意見聴取②

○岡村　雅広（17 期生：2 年目）

3.11 多自然池エリア　なごめる水辺づくり　　・令和７年４月２３日（水）

実施状況

活 動 名	多自然池エリア　なごめる水辺づくり No.18			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年４月 23 日（水）			
実施場所	淀川河川公園　枚方地区 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		17 名	
	内訳	参加者	12 名	大人 12 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	清水 P
		市民団体等	―	
		行政機関	3 名	枚方市観光交流課
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	9:50	開会式　活動趣旨と注意事項の説明（岡村 R）		
	10:00	清掃開始（多自然池エリアへ） スタッフによる安全確認、注意喚起		
	10:45	清掃終了 回収ゴミの分別チェック、集合写真撮影		
	11:00	収集場所への移動		
	11:05	閉会式（アンケート依頼、今後の活動紹介、参加者の感想・気づきの共有）		
	11:25	終了		
配付資料		なごめる水辺づくり案内、淀川発見講座チラシ、今後の活動チラシ		
関係機関からの支援内容		枚方市環境政策課：ゴミ袋貸与、トング貸出、回収ごみの収集		
河川レンジャーの活動内容	準　備	多自然地内に浮遊するごみの引き揚げ、物品の貸出申請、駐車場入場許可申請		
	当　日	参加者の安全確認、タイムキーパー、以降の活動紹介		
	事　後	物品、許可証の返却		

参加者からの意見	・伐採して草も無くなっていたのに、少し暖かくなっただけですぐに青々と茂るんだなとビックリした。 ・埋まっているゴミがたくさんあった。今はまだ見えているが今後草が生えてくると見えなくなる。早めに取ってしまわないと。 ・以前参加したことがあるが、風景が大変変化しているのに驚いた。 ・埋もれているビニール、プラスチックを掘り起こすというゴミ拾いを初めて体験した。 ・以前から進めていた多自然池の利用が整備されたことで、これからの展開について広く意見をもらいたい。 ・初めての参加となったが、これからも参加していきたい。 ・河川事務所、枚方市と連携されていることがよく理解できた。

活動状況



開会式（活動趣旨説明）



清掃活動



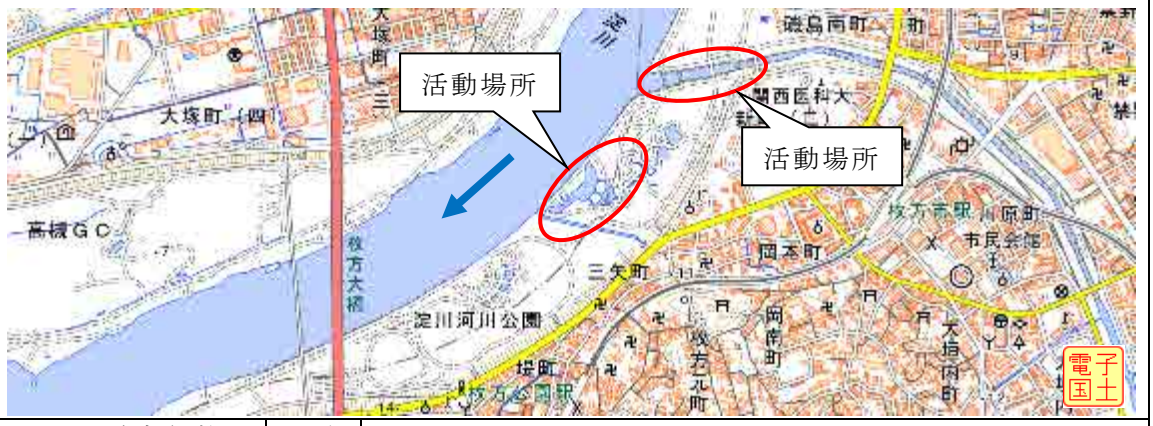
清掃活動　遠景



作業後の振り返り

3.12 枚方多自然池エリア　美化アクション　　・令和７年５月１１日（日）

実施状況

活 動 名	枚方多自然池エリア　美化アクション			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年５月 11 日（日）			
実施場所	淀川河川公園　枚方地区 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		87 名	
	内訳	参加者	12 名	大人 12 名
		講師	―	
		スタッフ	3 名	天野 R、竹本 R、清水 P
		市民団体等	69 名	パナソニック 69 名（大人 57 名、12 歳以下 12 名）
		行政機関	2 名	枚方市観光交流課　2 名
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	9:30	開会式　活動趣旨と注意事項の説明（岡村 R）
	9:45	清掃開始（ほのぼのコース：多自然エリアへ。岡村 R、清水 P が安全管理） （ガッツリコース：天野川河口エリアへ。竹本 R、天野 R が安全管理） 多自然池の解説、枚方市の「かわまちづくり」についてとこれからの取組 活動中はスタッフによる安全確認、注意喚起
	10:45	清掃終了
	11:00	回収ゴミの分別チェック、集合写真撮影
	11:15	収集場所へゴミの移動、集合場所に戻ってまとめ 閉会式（アンケート依頼、今後の活動紹介、継続参加の呼びかけ）
	11:30	終了
配付資料		活動説明、淀川発見講座チラシ、今後の活動チラシ
関係機関からの支援内容		枚方市環境政策課：ゴミ袋貸与、トング貸出、回収ごみの収集 枚方市観光交流課：人的支援
河川レンジャーの活動内容	準　備	・京阪舟運フェスティバル、チラシ掲載願い、パナソニック様と事前打合せ ・活動場所の川面に浮かぶゴミの引き揚げ、河岸に埋もれているシート類の引き出し、下草刈り、枝払い
	当　日	・活動前に、スケジュール、注意事項の説明、タイムキーパー、閉会式にてまとめ
	事　後	・貸与品の返却、参加人数の詳細確認、アンケートまとめ、今後も継続して実施してゆくことの申し入れと受諾確認
参加者からの意見		・淀川・天野川の川際まで来たのは今回が初めて。川の美しさとゴミの存在を知ることができました。このような活動のおかげです。 ・こんなにゴミがあるとは驚いた。 ・「ほのぼの」と「ガッツリ」とのコース分けで作業ができて良かったし楽しかった。 ・今回は参加者が多く驚いた。 ・もう少し活動時間が長くてもよい。もう少し時間が欲しかった。 ・定期的なゴミ清掃が必要と感じた。回収後の分別が大変と思った。 ・淀川河川敷近くの住民で、これまで散策することもなかった。知らないエリアを

	清掃することで気分もすっきりした。またの機会に参加したい。 ・大阪の川にきれいなイメージが無かったのですが、間近で見るときれいで鳥も泣いていたり、いろいろ花も咲いていて広場もきれいですごしやすそうと思った。 ・ペットボトル・ビニル袋が多く、粗大ごみもあることを知った。 ・このような活動の継続性が重要だと感じた。 ・ゴミがこれだけ捨てられているというやるせなさを感じた。是非ともいろいろな人がこのような経験をして、意識を変えてもらいたいと思う。 ・流されてくるペットボトルの多さや、土に埋もれているビニル袋を知って、今後どうすればいいのか考えさせられるいい機会になりました。 ・前回のゴミ拾いがいつだったのか？どのくらいの期間で、こんなにゴミがたまるのか気になった。 ・見た目はさほどゴミが無いように思えたが、拾ってみると多くのゴミがあり、特にペットボトルの割合が多かったのが気になった。 ・ボランティア活動に興味があるので、また参加したいです。

活動状況



開会式（活動趣旨説明）



ほのぼのコース　清掃活動



ガッツリコース　清掃活動



ゴミの分別作業

3.13 大阪区民カレッジ城東校　枚方宿・淀川　散策と防災学習　　・令和７年５月２６日（月）

実施状況

活動名	大阪区民カレッジ城東校　枚方宿・淀川　散策と防災学習			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年５月 26 日（月）			
実施場所	岡本町公園、京街道・枚方宿散策、本陣跡（三矢公園）、淀川資料館、 郵便屋の渡し跡碑、明治十八年洪水碑、中央流域センター  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		44 名	
	内訳	参加者	35 名	大人 35 名
		講師	―	
		スタッフ	5 名	中野 R、波戸 R、大阪区民カレッジ２名、 大阪府民カレッジ１名
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	3 名	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール

10:00	開始（枚方市駅中央改札口）
10:10	岡本町公園広場
	・自己紹介、スタッフ紹介（中野 R）
	・活動趣旨、注意事項説明、資料配布
10:15	京街道・枚方宿散策、くらわんかギャラリー
10:30	本陣跡（三矢公園）
10:40	淀川資料館
	・淀川について（講義）　淀川河川事務所
	1. 淀川の概要　～琵琶湖から大阪湾まで～
	2. 淀川の歴史　～大阪平野の特徴と昔の堤防～
	3. 淀川の歴史　～舟運の歴史と淀川近代改修～
	4. 淀川の歴史　～洪水の歴史～
	5. 淀川の環境　～ワンドと鵜殿のヨシ原～
	・資料館見学
11:30	淀川堤防散策
11:55	郵便屋渡し跡碑、明治十八年洪水碑
12:10	中央流域センター到着（昼食・休憩）
13:00	防災講座（岡村 R）
	・自己紹介、河川レンジャー制度と活動紹介
	1. 水害について　体験談の共有（参加者が経験した浸水被害）、過去の出水状況等
	2. ハザードマップで浸水状況・避難先を確認
14:10	3. 大型台風を想定したマイ・タイムラインの作成
14:30	4. グループ討議（参加者による「気付き」、「意見」、「質問」を交換）
	・岡村レンジャーによる講評
	・アンケート依頼
15:00	閉会式

配付資料		・枚方文化観光協会　制作「枚方宿」マップ ・ひらかた環境ネットワーク会議　制作「枚方歴史マップ」 ・淀川河川公園　守口サービスセンター　制作「枚方地区歴史散策ＭＡＰ」 ・スケジュールと注意事項チラシ
関係機関からの支援内容		・淀川河川事務所　環境課　淀川資料館での説明
河川レンジャーの活動内容	準　備	・配布資料の収集、作成、スケジュールの確認
	当　日	・午前中は中野Ｒに委託　午後は岡村Ｒが担当
	事　後	・アンケートの回収
参加者からの意見		・改めて防災について考えてみたいと思った。 ・今回の講座を通じて気づきがあり、良い勉強になりました。 ・防災について日ごろ考えていなかったので大変参考になった。 ・枚方について勉強できて良かった。防災は日ごろから考えておかねば。 ・考えないといけないことがよく判った。本気で考えます。 ・考えながら進行されたので退屈しなかった。 ・城北ワンドの成立が判り良かった。防災意識が高まりました。 ・出先での避難の方に興味があります。 ・振り返りができた。準備点検をしようと思います。

活動状況



開会式（注意事項説明）



淀川資料館（淀川の歴史に関する講義）



防災講座（避難方法を確認）



マイ・タイムラインの作成

3.14 多自然池エリア　なごめる水辺づくり　　・令和７年５月２８日（水）

実施状況

活 動 名	多自然池エリア　なごめる水辺づくり No.19　５月			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年５月 28 日（水）			
実施場所	淀川河川公園　枚方地区 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		12 名	
	内訳	参加者	9 名	大人９名
		講師	－	
		スタッフ	１名	清水Ｐ
		市民団体等	－	
		行政機関	１名	枚方市観光交流課
		学校関係	－	
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	１名	

スケジュール	9:50	開会式　活動趣旨と注意事項の説明（岡村 R）
	10:00	清掃開始（多自然池エリアへ） スタッフによる安全確認、注意喚起
	10:45	清掃終了 回収ゴミの分別チェック、集合写真撮影
	11:00	収集場所への移動
	11:05	閉会式（アンケート依頼、今後の活動紹介、参加者の感想・気づきの共有）
	11:25	終了
配付資料		なごめる水辺づくり案内、今後の活動チラシ
関係機関からの支援内容		枚方市環境政策課：ゴミ袋貸与、トング貸出、回収ごみの収集
河川レンジャーの活動内容	準　備	多自然地内に浮遊するごみの引き揚げ、物品の貸出申請、駐車場入場許可申請
	当　日	参加者の安全確認、タイムキーパー、以降の活動紹介
	事　後	物品、許可証の返却
参加者からの意見		・継続して参加しているが、整備してからの変化に驚いている。 ・これまでは流れがなく池状態でしたが、水が流れており川を感じた。 ・3 回目の参加ですが、以前と比べて変化していたので驚いた。 ・毎月参加することで何か社会に貢献できているような達成感を感じています。 ・川底に埋もれているビニールが見えてきた。川中に入って回収したいので検討してもらいたい。 ・枚方市として「かわまちづくり」を推進していく上で、継続してゴミの回収をしてくれているこの活動はたいへんありがたい。いろいろなイベントも企画されているので、人が集まるエリアになることを目指します。 ・会社としてもこの活動に参加することを薦めてもらっているので、引き続き参加していきたい。

活動状況



開会式（活動趣旨説明）



清掃活動



回収後のゴミ分別



作業後の振り返り

3.15 多自然池エリア　なごめる水辺づくり　　・令和７年６月２５日（水）

実施状況

活 動 名	多自然池エリア　なごめる水辺づくり No.20			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年６月 25 日（水）			
実施場所	淀川河川公園　枚方地区 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		14 名	
	内訳	参加者	10 名	大人 10 名
		講師	―	
		スタッフ	２名	大人１名 清水Ｐ
		市民団体等	―	
		行政機関	１名	枚方市観光交流課
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	１名	
スケジュール	9:50	開会式　活動趣旨と注意事項の説明（岡村 R）		
	10:00	清掃開始（多自然池エリアへ） スタッフによる安全確認、注意喚起		
	10:45	清掃終了 回収ゴミの分別チェック、集合写真撮影		
	11:00	収集場所への移動		
	11:05	閉会式（アンケート依頼、今後の活動紹介、参加者の感想・気づきの共有）		
	11:25	終了		
配付資料		なごめる水辺づくり案内、今後の活動チラシ		
関係機関からの支援内容		枚方市環境政策課：ゴミ袋貸与、トング貸出、回収ごみの収集		
河川レンジャーの活動内容	準　備	多自然地内に浮遊するごみの引き揚げ、物品の貸出申請、駐車場入場許可申請		
	当　日	参加者の安全確認、タイムキーパー、以降の活動紹介		
	事　後	物品、許可証の返却		
参加者からの意見		・増水後、もっとゴミが漂着していると思ったが予想に反して少なく、嬉しくもあり残念でもあった。 ・オギの特徴やカバキコマチグモが毒クモであることを教えてもらって、ためになった。 ・アメンボが流れがあるにも関わらず一定のところにうまく残っているのを不思議に感じた。自然を身近に感じてよかった。 ・アメンボやハスの葉の水玉は「ロータス効果」と名付けられています。 ・引き続き参加してゆきたい。		

活動状況



開会式（活動趣旨説明）



清掃活動



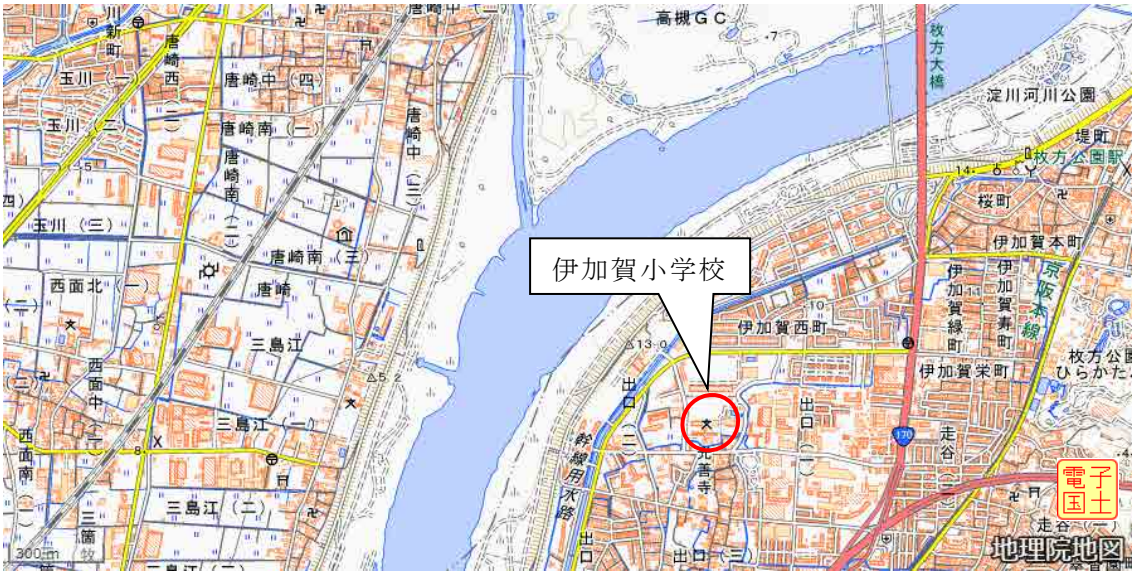
回収後のゴミ分別



作業後の振り返り

3.16 枚方市立伊加賀小学校４年生　川の総合学習　　・令和７年７月７日（月）

実施状況

活 動 名	枚方市立伊加賀小学校４年生　川の総合学習			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年７月７日（月）			
実施場所	枚方市立伊加賀小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		80 名	
	内訳	参加者	75 名	4 年生 75 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	3 名	教員 3 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	9:35	授業開始
	9:45	河川レンジャーについて、よどがわってどんな川？、三川の特徴など
	9:55	淀川について５つのテーマに分けて解説 （川の自然・川のいきもの・淀川のワンド・水の利用・川のゴミ）
	10:20	＜20 分休憩＞
	10:40	授業再開 動画で「流域と水の流れ方」の解説 伊加賀で起きた過去の水害
	11:00	ハザードマップの解説 自分たちにできること、学習の振り返り
	11:20	終了

配付資料		伊加賀小学校　ハザードマップ 「ワンドに行ってみよう」冊子
関係機関からの支援内容		―
河川レンジャーの活動内容	準　備	事前に電話にて打合せ、日程が合わず現地視察できませんでしたが、電話でフォローしました。
	当　日	スケジュールに沿って実施
	事　後	撤収とアンケートの内容確認

参加者からの意見	・河川レンジャーのことがよくわかった。 ・淀川のいきものをもっと知りたいと思った。 ・ワンドへ行ってみたい。ヘビが隠れているのに驚いた。 ・ワンドが生き物の宝庫であることを知った。 ・ワンドをもっと調べたいと思った。 ・レンジャーと一緒にゴミを拾いたい。ポイ捨てはしない。 ・水の恐ろしさが判った。 ・避難場所がわかった。 ・浸水すると家の二階まで水がくることがわかった。 ・避難先を決めておかないといけないことがわかった。

活動状況



自己紹介と淀川の解説



メモをとる児童



写真に隠れている生きものさがし



振り返り

3.17 交野市立私市小学校　着衣水泳訓練　５年生　　・令和７年７月１１日（金）

実施状況

活 動 名	交野市立私市小学校　着衣水泳訓練　5 年生			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 7 月 11 日（金）			
実施場所	交野市立私市小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		82 名	
	内訳	参加者	75 名	5 年生 75 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	5 名	教員 5 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	13:20	授業開始、児童移動・活動準備		
	13:30	熱中症対策としてプールに入ってから自己紹介、今日覚えて欲しい 3 つのこと		
	13:40	服を着た状態で水に入って動きやすさの違いを確かめる		
	13:45	背浮きの体験		
		＜給水休憩＞		
	13:50	浮力体（ペットボトル）があるとどう違うかの体験		
	13:55	溺れている人を助ける方法の説明・実演		
	14:00	「サンダルバイバイ」の話		
	14:10	ライフジャケットの着用方法		
	14:15	ライフジャケットを着けて浮かぶ		
	14:25	ライフジャケットの浮力や動きやすさを確かめる（自由時間）		
	14:35	授業のまとめ		
	14:40	（自由時間）		
	14:50	終了		
配付資料		水辺の安全リーフレット、アンケート QR		
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：物品貸与、資料印刷		
河川レンジャーの活動内容	準　備	学校側からの要請を受け事前打合せを行った		
	当　日	活動実施		
	事　後	撤収、アンケートの内容確認		

参加者からの意見	・水ってとても怖いと思った。 ・自由時間もあった授業だったので、楽しく授業を受けられました。 ・浮かぶのが難しかったです。しかしライフジャケットやペットボトルを使えば浮きやすかった。 ・海・川で遊ぶときは、大人の近くでライフジャケットを着ようと思います。 ・もし自分がおぼれた時は、習ったことをやろうと思いました。 ・ライフジャケットの大切さを知った。 ・服をきたままだと動きにくかった。 ・ライフジャケットを使うのは初めてだったので楽しかったけど、緊急の時はすごく怖いと思った。 ・おぼれた時にペットボトルを首と手を胸でつかむことを知ったので、この方法を使いたいです。 ・楽しかったです。安全について教えていただき考えが変わりました。ライフジャケットを買うよう家族に勧めます。 ・普段食べているポテトチップスでも、おぼれている人を助けられると知ってびっくりした。 ・わたしは泳ぎが苦手ですが、今日の授業を受けて泳ぎやすくなって安心しました。 ・聞こえやすかったし、わかり易かったから良かった。 ・ライフジャケットを着ていた方がとても浮きやすかったです。もう 1 回この授業を受けたいです。 ・最初は浮くのが難しくて怖かったけど、ペットボトルなどで浮くことができた。

活動状況



ハンドサインで理解ができているか確認



浮力体を使用した背浮きの体験



ライフジャケットを着て背浮き



授業の要点振り返りとまとめ

3.18 門真市立第五中学校　マイ・タイムライン２年生 ・令和７年７月１５日（火）

実施状況

活 動 名	門真市立第五中学校　マイ・タイムライン 2 年生			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 7 月 15 日（火）			
実施場所	門真市立第五中学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		131 名	
	内訳	参加者	124 名	2 年生 124 名
		講師	－	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	5 名	教員
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	①13:30 13:35 13:45 13:48 13:50 13:55 14:03 14:10 14:16 14:20 ②14:30 ～15:20	①開始、自己紹介（岡村 R は空き教室にてリモート講座。生徒は各クラスで受講） 水害の種類、停電について 門真市周辺で起こった水害について ハザードマップの確認方法 マイ・タイムラインの説明（各クラスにて教員による解説補助） マイ・タイムライン作り（岡村 R は各クラスに移動し進捗確認） 作成したマイ・タイムラインをもとにグループワークで共有 気づきや意見、疑問などを気づきシートにまとめる 活動まとめ、アンケート記入 終了 ②開始　※①13:30～2 クラス、②14:30～2 クラス、計 4 クラスに実施。 終了　②時間進行と内容は、①スケジュールと同様。			
配付資料		校区ハザードマップ、マイ・タイムラインシートとシール、付箋		
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：配布資料		
河川レンジャーの活動内容	準　備	学習進行についての事前打合せ、説明用資料の事前送付		
	当　日	リモートでの講義調整、各自の作業時間帯に教室に訪問		
	事　後	気づきシート、アンケートの回収		
参加者からの意見		・助けられることは幅ひろく助けたいと思いました。 ・危険を感じたら高齢者の方に一緒に行こうと伝える。 ・避難所を改めて確認しようと思った。 ・みんなで避難する場所や行動を確認しておこうと思った。 ・食料を備蓄しておきたい。 ・地域の人たちと避難するところを共有しようと思った。		

	・台風が来た時、避難していない人がいたら「もう避難したほうがいいと思いますよ」と声を自分からかけようと思った。 ・避難するときに助け合いをする。 ・行動は早めにすることがいいと思った。 ・自分だけじゃなく他の人も一緒に避難できれば良いと思った。 ・一年経つと忘れてしまっていることが多くて、思い出すことができて良かったです。 ・あまりよく判らないことが多かったので、この授業で詳しく知れて良かった。 ・班の人の意見を聞けたことで、避難に対する意識が高まった。 ・避難などは早めにすることが大切だと判った。 ・毎年台風が来る中で、毎年確認していた方がいいなと改めて思った。 ・日本は災害が多い国なので、それに関することを詳しく知れて良かったです。 ・一年が経つと習ったことが曖昧になってしまうので、また頭に叩き込めて良かったし、考えが改まったと思います。 ・自然災害はいつ起きてもおかしくないものなので、普段から警戒し、準備などはしておこうと思った。 ・早めの避難は、空振りではなく素振りという言葉は本当にそうだと思ったし、何かあってはもう手遅れなので、早めの避難が大切だと感じた。

活動状況



別室からのリモート解説



各クラスにてモニター受講と教員の指導補助



マイ・タイムライン作成とグループワーク



波戸Ｒによるクラスでの進行補助

3.19 中楠葉春秋会　防災学習　　・令和７年８月２４日（日）

実施状況

活 動 名	中楠葉春秋会　防災学習			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年８月 24 日（日）			
実施場所	中楠葉集会所 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		33 名	
	内訳	参加者	32 名	大人 31 名、子ども 1 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	13:00	活動開始・自己紹介
	13:05	○水害の種類と枚方市の水害 ・水害の種類 ・枚方市で起きた過去の水害
	14:05	○マイ・タイムライン作り ・ハザードマップの解説 ・マイ・タイムライン作りとグループでの共有
	15:10	○浸水地歩行体験 ・浸水地で気をつけること・早期避難の啓発（事前に屋内で解説） ・体験は 3～4 名ずつ交代で外へ出て実施、終了後すぐ室内へ。（熱中症対策）
	15:30	まとめ、終了
配付資料		枚方市ハザードマップ（楠葉北小校区）、マイ・タイムラインシート・シール
関係機関からの支援内容		―
河川レンジャーの活動内容	準　備	事前打合せ、浸水地歩行キット設営確認
	当　日	水害を中心とした防災学習、参加者の浸水地歩行体験実施
	事　後	アンケート実施、撤収

参加者からの意見	・自分たちの地域のマップを作って話をしてくれたのでわかりやすかったです。 ・ハザードマップは知っていましたが、なんとなく浸かるんだというくらいでしか捉えておらず、3mもの深さが想定されているとは思わなかった。しっかり考える。 ・15cm の段差でも濁っていると足下が見えず段差でつまずきそうになった。実際は流れも深さもあるだろうから、こんな場所を歩くのはできるだけ避けたいと思う。 ・シールを最初はどこに貼ればいいのか分からなかったけど、一枚貼ったら次々予定が決まっていった。事前に考えると漠然と考えていた物がまとまるように感じた。

活動状況



自身の避難方法について理解度の確認



マイ・タイムライン作成の進捗確認



屋内で浸水地歩行体験の要点を解説



暑さを避け少人数・短時間で体験実施

3.20 多自然池エリア　なごめる水辺づくり　　・令和７年８月２７日（水）

実施状況

活 動 名	多自然池エリア　なごめる水辺づくり No.21			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年８月 27 日（水）			
実施場所	淀川河川公園　枚方地区 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		15 名	
	内訳	参加者	10 名	大人 10 名
		講師	―	
		スタッフ	3 名	一般１名、清水 P、土井 P
		市民団体等	―	
		行政機関	1 名	枚方市観光交流課
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	9:50	開会式、活動趣旨と注意事項の説明（岡村 R）		
	10:00	清掃開始（多自然池エリアへ） スタッフによる安全確認、注意喚起		
	10:30	清掃終了・収集場所へ移動（木陰にて雨やどり）		
	10:50	雨が止んだ後、回収ゴミの分別チェック、集合写真撮影		
	11:00	閉会式（アンケート依頼、今後の活動紹介、参加者の感想・気づきの共有）		
	11:10	終了		
配付資料	なごめる水辺づくり案内、今後の活動チラシ			
関係機関からの支援内容	枚方市環境政策課：ゴミ袋貸与、トング貸出、回収ごみの収集			
河川レンジャーの活動内容	準　備	物品の貸出申請、駐車場入場許可申請、多自然池の水際へのアプローチ確保の草刈り		
	当　日	参加者の安全確認、タイムキーパー、以降の活動紹介		
	事　後	物品、許可証の返却		
参加者からの意見	・２ヶ月で草丈が繁茂し、様相が一変した。 ・活動途中に急に雨が降ってきて思う存分ゴミ拾いができず残念。 ・以前から見たかった天野川の合流点を初めて見ることができて良かった。 ・雨で中断したが、雨が上がったのでもう少し活動をしたかった。 ・イベントの前に草刈りを実施すると枚方市から説明があったが、イベント前だけでなく計画的に草刈りを実施してもらいたい。 ・雨が降ってくる前に中止判断され、結果ずぶぬれになったが、雷などの危険に対して早い判断で良かった。 ・初めて参加したが、平日にこれだけの人たちが集まって活動されていることに関心した。 ・二回目の参加だったがこれからも参加していこうと思う。 ・春以降久しぶりの参加だったが、草が生い茂っており自然の生命力に驚かされた。 ・ゴミがあまり落ちていなかった。いいことですが少し物足りなさを感じます。			

	・多自然池は草が繁茂し水辺へのアクセスが難しくなっている。何とかしないと。 ・草刈り機などを持ち寄って個人で草刈りをしてもいいのか？その場合、刈った草の処理は頼めるのかな？ ・保険などの課題もあるが、レンジャー活動として可能かどうか。 ・アドプトプログラムのように、集まって環境整備できるような仕組みや場があると良いと思う。 ・同じ目標に向かって整備ができるよう「どんな水辺にしていきたいか」というビジョンの提示・共有が必要では。 ・水辺の除草をボランティア活動参加者に委託しては如何でしょうか。そのためにバッテリー式草刈り機を数台購入いただき、保管場所も確保していただきたい。当初の購入費用はかかるものの、業者委託費用と比較すると大幅なコスト削減が図れると思える。 ・操作講習会が必要であれば参加者を募集していただきたい。是非、参加させていただきます。

活動状況



開会式（活動趣旨説明）



雨天予報を受けて早めに清掃活動



雨が止んだ後にゴミ分別



作業後の振り返り

3.21 門真市立第五中学校３年生　マイ・タイムライン ・令和７年９月１日（月）

実施状況

活 動 名	門真市立第五中学校 3 年生　マイ・タイムライン			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 9 月 1 日（月）			
実施場所	門真市立第五中学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		132 名	
	内訳	参加者	120 名	3 年生 120 名
		講師	－	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	10 名	教員
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	①13:30	①開始、自己紹介（岡村 R は空き教室にてリモート講座。生徒は各クラスで受講）
	13:35	水害の種類、停電について
	13:45	門真市周辺で起こった水害について
	13:48	ハザードマップの確認方法
	13:50	マイ・タイムラインの説明（各クラスにて教員・レンジャーによる解説補助）
	13:55	マイ・タイムライン作り（岡村 R は各クラスに移動し進捗確認）
	14:03	作成したマイ・タイムラインをもとにグループワークで共有
	14:10	気づきや意見、疑問などを気づきシートにまとめる
	14:16	活動まとめ、アンケート記入
	14:20	終了
	②14:30	②開始　　※①13:30～2 クラス、②14:30～2 クラス、計 4 クラス 120 名に実施。
	～15:20	終了　　②時間進行と内容は、①スケジュールと同様。
配付資料		校区ハザードマップ、マイ・タイムラインシート・シール、付箋
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：物品配布
河川レンジャーの活動内容	準　備	学習進行についての事前打合せ、説明用資料の事前送付
	当　日	リモートでの講義調整、各自の作業時間帯に教室に訪問
	事　後	気づきシート、アンケートの回収
参加者からの意見		・前回も授業を受けたけど、災害が来る前に対処することが大切だと思った。 ・水の怖さについて学ぶことができました。これから家族でしっかり話し合いたいなと思いました。 ・改めて自分の避難場所の確認をすることができたし、警戒レベルの確認ができました。 ・前に聞いたのが一年ほど前でうろ覚えのところもあったから、復習のよう

	なことができて良かった。 ・いつ来るかわからないから早めに行動をしていきたいです。 ・年に一回ぐらいの復習がないとすぐ忘れるから、今回の授業などを大事にしていきたい。 ・最近、家の近くで大雨や雷があったので、この授業を聞けて良かったです。 ・避難する場所や家族で相談しておくことが大切だと思いました。 ・今日の授業をやって災害に備えておこうと思った。

活動状況



各クラスでのモニター受講



各クラスでの教員による指導補助



教員がクラス内で補足と進行



岡村 R・波戸 R のクラス見回りと進行補助

3.22 枚方青年会議所　防災フェスタ　　・令和７年９月６日（土）

実施状況

活 動 名	枚方青年会議所　防災フェスタ			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年９月６日（土）			
実施場所	枚方市岡本町　岡本町公園  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		394 名	
	内訳	参加者	377 名	ブース来場者　　198 名（内大人 103 名、子ども 95 名） 浸水地歩行体験　179 名　　延べ 377 名
		講師	―	
		スタッフ	16 名	波戸 R、土井 P、常翔啓光学園高校教諭他生徒 4 名、 JCI 枚方 8 名、JCI 輪島 2 名
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	12:50	枚方青年会議所による開会式。理事長他挨拶。枚方市長 伏見氏挨拶 防災フェスタ開催の趣旨説明		
	13:00	一般者を入れてのフェスタ開始 浸水歩行体験：長靴に履き替えて傘を杖に歩行し、濁水中の歩行困難を体験させる 備蓄チェックシート作成：紙芝居による説明後、各自チェックシートで確認		
	15:50	フェスタ終了		
配付資料		備蓄チェックシート		
関係機関からの支援内容		浸水地歩行体験キット・付属品、水中ポンプ、長靴、傘、延長電源コード、延長ホース、浸水歩行説明パネル（浸水歩行体験、浸水想定ＣＧ）、地域で作ろう「マイ防災マップ」パネル、河川レンジャーのぼり、ビブス、備蓄チェックシートの印刷、水道水		
河川レンジャーの活動内容	準　備	青年会議所打合せ及び下見(7/8、8/8、計 2 回)		
	当　日	浸水歩行体験キット組立・注水セッティング。同キット撤去		
	事　後	キット乾燥。返却		
参加者からの意見		・浅くても水が濁っていたら深さや障害物が見えないので怖かった。 ・浸水した時の避難を体験できて良かった。 ・紹介いただいたので参加しました。体験できて良かった。（津田小学校教諭） ・防災についての繋がりで、またレンジャーの活動ができて光栄です。（常翔啓光学園高等学校教諭） ・浸水地歩行体験は河川レンジャーならではのブースですね。（枚方市長 伏見氏）		

活動状況



青年会議所会員へ浸水ＣＧ写真で説明



浸水地歩行体験



紙芝居で備蓄の必要性を説明



ＪＣＩ輪島から体験談も説明

3.23 枚方市立桜丘北小学校 防災学習 ４年生　　・令和７年９月１２日（金）

実施状況

活 動 名	枚方市立桜丘北小学校 防災学習 4 年生			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 9 月 12 日（金）			
実施場所	枚方市立桜丘北小学校			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		53 名	
	内訳	参加者	48 名	4 年生 48 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	土井 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	3 名	教員
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	



スケジュール	10:40	＜3 限目開始＞
		自己紹介、レンジャーの説明
	10:50	雨と流域の話
	11:00	水害の説明
		ハザードマップの確認
		チェックシートの作成
	11:20	桜丘北小学校周辺の水害リスクについて
	11:25	＜3 限目終了・休憩＞
	11:30	＜4 限目開始＞
	11:35	マイ・タイムラインの作成と共有
	11:50	備蓄品チェックシートの作成
	12:00	気づきシートでのグループ共有
	12:15	まとめ・終了
配付資料		ハザードマップ、チェックシート、マイタイムラインキット、備蓄品シート
関係機関からの支援内容		近畿地方整備局防災室より「備蓄チェックシート」のデータ

河川レンジャーの活動内容	準　備	授業日程、内容の打合せ
	当　日	防災授業 2 時間
	事　後	アンケート記入のお願い
参加者からの意見		・日ごろから備えておくものを見直せた。 ・大きな台風が来る前は、早く買い物をすませておかないといけないと思った。 ・避難をするところを家族と話しをしてきめる。 ・ペットの餌も準備しておかないといけない。 ・今回の授業をうけて災害について学べたのが良かった。 ・レンジャーはこれまでにどれくらいのゴミを集めましたか？

活動状況



雨がもたらす水害と流域の解説



ハザードマップとマイ・タイムラインの解説



備蓄品についてのチェックシート作成



振り返り・各班の気づきを共有

3.24 枚方市立春日小学校 防災学習 ４年生　　・令和７年９月２２日（月）

実施状況

活 動 名	枚方市立春日小学校 防災学習 4 年生			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 9 月 22 日（月）			
実施場所	枚方市立春日小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		80 名	
	内訳	参加者	73 名	4 年生 73 名
		講師	－	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	5 名	
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	9:35	授業開始 自己紹介、レンジャーの説明
	9:40	雨と流域の話
	9:50	水害の種類と、枚方市周辺で起きた水害の説明
	9:55	ハザードマップの確認
	10:00	マイ・タイムラインの作り方説明
	10:05	マイ・タイムラインの作成
	10:10	グループワークで気づきの共有
	10:15	グループワークのまとめ、振り返り
	10:20	授業終了

配付資料		ハザードマップ、マイタイムラインキット、備蓄品シート
関係機関からの支援内容		－
河川レンジャーの活動内容	準　備	事前打合せ、スタッフ協力のお願い
	当　日	図工室にて４年生全員で防災学習を実施した
	事　後	アンケート、気づきシートの学校側との共有
参加者からの意見		・これまでも命が大事な事はわかっていたけど、もっと命が大事な事が分かりました。 ・分かりやすく教えてくれたと思う。災害の事、用意の仕方がよく分かった。 ・必要なものの準備と、避難の場所ルートを決める。 ・水害だけでなく、他の災害も知りたいと思った。 ・災害とかそんなに知らなかったけど、どれぐらい危険か分かった。

	・今日いろいろ考えて、本当に台風が来た気分になった。 ・家族といっしょじゃない時に起こるかもしれないので、避難する場所などを家族と決めようと思った。 ・災害の為に準備しようと思いました。 ・早めに買い物をする。 ハザードマップを見ようと思った。 ・どんな時でも準備して、冷静に考えて行動する。 ・山で雨がふったら、流域の川の水が増える。 ・淀川でも水害が起こったことを知らなかった。

活動状況



自己紹介とレンジャーの説明



映像を用いて流域について解説



マイ・タイムライン作成の進行



振り返り・各班の気づきを共有

3.25 多自然池の生き物から森と海の繋がりを知る　　・令和７年９月２３日（火）

実施状況

活 動 名	多自然池の生き物から森と海の繋がりを知る			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年９月 23 日（火祝）			
実施場所	淀川河川公園枚方地区多自然池及び枚方市総合文化芸術センター別館第５会議室  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		25 名	
	内訳	参加者	16 名	大人８名、子ども８名
		講師	－	
		スタッフ	５名	京阪電鉄３名、淀川河川公園管理センター1 名、波戸 R
		市民団体等	１名	竹門康弘（京の川の恵みを活かす会代表）
		行政機関	２名	枚方市観光交流課２名
		学校関係	－	
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	１名	
スケジュール			（枚方「かわまちづくり協議会」からの協力依頼） 10:20　多自然池（活動場所①）にて、自己紹介、注意事項の説明（岡村 R） 10:25　ライフジャケット着用指導 10:35　竹門講師（京の川の恵みを活かす会代表）による生物採集指導、採集開始 ・河川レンジャーは採集の補助及び安全管理を担当 11:00　採集終了 ・参加者は総合文化芸術センター別館（活動場所②）へ移動 ・河川レンジャーは現地撤収後、活動場所②へ移動 11:20　森と海のつながりを知るワークショップ ・採集した生物を顕微鏡を使って観察、種の同定 （竹門講師が指導を担当、レンジャーは参加者をサポート） ・同定した種別に「海とつながるいきもの」「川とつながるいきもの」「池とつながるいきもの」「森とつながるいきもの」に大別し、多自然池の環境について考察 12:25　まとめとアンケートの実施 12:30　終了	
配付資料			なごめる水辺づくりチラシ　ふれあい土木展 2025 チラシ	
関係機関からの支援内容			京阪ホールディングス：活動エリアの除草	
河川レンジャーの活動内容	準　備		事前打合せに参加　計２回	
	当　日		ライフジャケットの正しい装着説明、川中の安全確保	
	事　後		－	

参加者からの意見	・当日来るまで楽しみでした。実際体験し、とても嬉しかった。 ・海、森の繋がりが知れてよかった。先生に何でも聞けて嬉しい。安全のためのスタッフ配置ありがとう。 ・子供の喜びが、大変良かった。 ・先生に直接話せて楽しかった 。 ・生き物の名前を教えて貰えて嬉し かった。自然に触れ、魚や生物に触れる体験が楽しかった。

活動状況



ライフジャケット着用指導（岡村 R）



採集方法説明（竹門講師）



生物採集の補助、安全監視



生物採集の補助

3.26 多自然池エリア　なごめる水辺づくり　　・令和７年９月２４日（水）

実施状況

活 動 名	多自然池エリア　なごめる水辺づくり No.22			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年９月 24 日（水）			
実施場所	淀川河川公園　枚方地区 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		24 名	
	内訳	参加者	12 名	大人 12 名
		講師	―	
		スタッフ	３名	土井 R、清水 P、中井 P
		市民団体等	５名	協豊会５名
		行政機関	１名	枚方市観光交流課
		学校関係	３名	大阪商業大学
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	9:50	開会式　活動趣旨と注意事項の説明（岡村 R）		
	10:00	清掃開始（多自然池エリアへ） スタッフによる安全確認、注意喚起		
	10:30	清掃終了・収集場所へ移動（木陰にて雨やどり）		
	10:50	雨が止んだ後、回収ゴミの分別チェック、集合写真撮影		
	11:00	閉会式（アンケート依頼、今後の活動紹介、参加者の感想・気づきの共有）		
	11:10	終了		
配付資料		なごめる水辺づくり案内、今後の活動チラシ　ふれあい土木展		
関係機関からの支援内容		枚方市環境政策課：ゴミ袋貸与、トング貸出、回収ごみの収集		
河川レンジャーの活動内容	準　備	物品の貸出申請、駐車場入場許可申請、川中のゴミ引き揚げ、草刈り		
	当　日	参加者の安全確認、タイムキーパー、以降の活動紹介		
	事　後	物品、許可証の返却		
参加者からの意見		・水辺へのエリアの草刈りは河川管理者で行ってほしい。 ・回収するごみはあきらかに以前に比べ減っている。 ・季節の変化や花火の後始末ができて良かった。 ・きれいになったが取り残しがあり残念。 ・花がきれいに咲いているが外来種のようで残念。 ・四季折々感じながらゴミ拾いができて一挙両得。 ・健康である限り参加を続けたい。 ・4 回目でした。前回欠席しましたが夏を過ぎると様相が一変していて驚いた。 ・花火の残骸が多く残念。 【初参加の方々より】 ・ビニール・プラゴミが海へ流れ出るのが心配。マナーの向上が必要。 ・他のエリアでも活動をしているが吸い殻が多い。モラルが低い。 ・自然がいっぱいでいいところですね。		

	・きれいなところですがボランティア活動の方々のおかげでしょう。 ・見た目は少ないと思っていましたが集めると多かった。 ・いい雰囲気でゴミ拾いができました。 ・庭窪に比べ拾いやすかった。 ・拾いやすく気持ちがよかった。

活動状況



開会式（活動趣旨説明）



水際に引き上げたゴミを回収



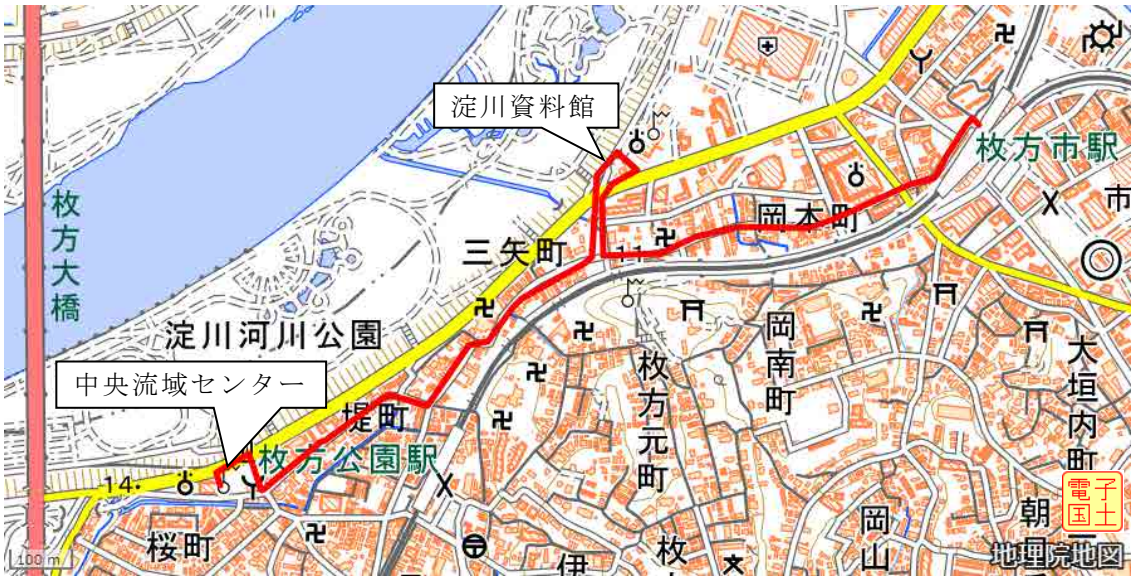
淀川本川護岸のゴミを回収



分別作業

3.27 枚方宿・淀川　散策と防災学習　　・令和７年１０月１日（水）

実施状況

活 動 名	大阪府民カレッジひらかた校　枚方宿・淀川　散策と防災学習			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 10 月 1 日（水）			
実施場所	枚方市内、淀川資料館、中央流域センター 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		40 名	
	内訳	参加者	34 名	
		講師	―	
		スタッフ	1 名	土井 R
		市民団体等	3 名	NPO 法人大阪府民カレッジ:ディレクター、スタッフ
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	1 名	河川環境課
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	
9:50	開始　枚方市駅出発
10:00	岡本町公園にてスケジュール・注意事項等の説明
10:10	京街道枚方宿の散策 ・本陣跡→三矢町交差点→淀川資料館
10:30	淀川資料館到着 ・河川環境課職員による解説（20 分）、その後館内にて自由見学
11:30	淀川資料館出発 ・堤防上から淀川を解説　高規格堤防について、郵便屋の渡し碑、明治 18 年洪水碑
12:00	中央流域センター到着、昼休み
13:00	・水害について（近年の水害、淀川の水害、近年の降雨の特徴など） ・ハザードマップで調べよう（ハザードマップの見方、避難行動判定フローの記入）
14:00	休憩
14:10	マイ・タイムライン作成体験
14:25	グループ討議
14:40	気づき・意見・感想の発表、まとめ　アンケート
15:00	終了

配付資料	歴史散策 MAP、枚方歴史こぼれマップ、マイ・タイムラインシート・シール、枚方市ハザードマップ抜粋、なごめる水辺づくりチラシ、ふれあい土木展 2025 チラシ、アンケート、本日のルート図とスケジュール
関係機関からの支援内容	・淀川資料館見学ならび「淀川」についての解説 ・ひらかた環境ネットワーク会議より　歴史マップパンフレットの提供

河川レンジャーの活動内容	準　備	・淀川資料館の使用許可申請　・枚方歴史マップの入手
	当　日	・枚方宿の散策、引率、歴史 POINT の紹介、防災授業の実施
	事　後	・アンケートによる評価確認
参加者からの意見		・説明がわかり易かった。 ・日ごろから災害について備えておかないといけないとあらためて思った。 ・ハザードマップの重要性が判った。 ・色々なことについて気づきを教えてもらった。 ・工夫されていることで楽しく受講ができた。 ・河川レンジャーのみなさまありがとうございました。

活動状況



枚方宿・淀川の散策



淀川資料館にて淀川の学習・館内見学



マイ・タイムライン作成体験



気づき・意見・感想の発表

3.28 枚方市立中宮小学校　防災学習　　・令和７年１０月１７日（金）

実施状況

活 動 名	枚方市立中宮小学校　防災学習			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 10 月 17 日（金）			
実施場所	枚方市立中宮小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		83 名	
	内訳	参加者	78 名	4 年生 78 名（3 クラス）
		講師	―	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	3 名	教諭
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール		
	13:35	開始　５限目授業 水害から身を守るために　～みんなにできることってなんだろう～（岡村 R） 自己紹介、スタッフ紹介 周辺地域を流れる川（淀川、天野川、穂谷川、溝谷川） 淀川河川公園　枚方地区の紹介、河川レンジャーとは（活動内容を紹介） 水のゆくえ（動画鑑賞） 1. 水害ってどうしておこるのかな？ ⇒町や家は大丈夫？　避難について考えよう 水害の歴史を学ぶ、近年の出水写真を紹介 自宅の位置をハザードマップで確認 溝谷川ポンプ場の役割を説明（内水氾濫や外水氾濫について）
	14:20	休憩
	14:25	６限目授業 2. たいへん大きな台風がやってくる ⇒いつ何をすればいいのかな？　マイ・タイムラインを作ってみよう 3. 備えることが大事だね ⇒何を準備しておけばいいのかな？ 4. 今日の授業で気づいたことをみんなで話し合おう 次回開催予定の浸水地歩行体験について説明 次回までに家族で備蓄チェックシートを確認しておく 防災学習のまとめ　①「水害」のことを知る　②「地域」のことを知る ③何ができるか考える　④家族みんなで考える アンケートのお願い
	15:10	終了
配付資料		―

関係機関からの支援内容		―
河川レンジャーの活動内容	準　備	授業内容の事前打合せ
	当　日	ホールにて 4 年生全員で 2 時間実施
	事　後	アンケート実施
参加者からの意見		・水は高い所から低い所へ集まるということがわかった。 ・ハザードマップで危険な場所があるということを確認できた。 ・日頃から災害用バッグを持つことが大切。 ・大雨の時は地下が危ない。 ・ペットのことを考えておかないといけないことが判った。 ・早めに買い物を済ませておかないといけないことが判った。 ・避難は早い方がいいと思った。 ・家に帰って備えておくものを相談する。 ・近くで災害が起こっていることを初めて知った。

活動状況



水害ってどうしておこるのかな？



マイ・タイムラインを作成



授業で気づいたことをグループ討議



備蓄チェックシートの説明

3.29 枚方市立中宮小学校　防災学習Ⅱ　　・令和７年１０月２１日（火）

実施状況

活 動 名	枚方市立中宮小学校　防災学習Ⅱ　浸水地歩行体験			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 10 月 21 日（火）			
実施場所	枚方市立中宮小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		82 名	
	内訳	参加者	74 名	4 年生 74 名（3 クラス）
		講師	－	
		スタッフ	2 名	波戸 R、土井 R
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	5 名	教諭
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	
9:35	授業開始
9:40	自己紹介、レンジャーの説明
9:45	１階ホールにて前回授業の振り返り
9:50	大雨による浸水時の注意点を体験前に解説
9:55	渡り廊下に移動し、浸水地歩行体験 ・交代でクラス全員が浸水地歩行を体験 ・浸水地歩行時の装備や歩き方の説明 ・感染症や流される危険性について説明
10:10	ホールに戻ってまとめ
10:15	・このような場所は危ないので、浸水する前に避難 ・児童から感想、アンケート協力のお願い
10:20	授業終了 ※同様の授業を 3 クラスに実施 ①9:35～10:20 ②10:40～11:25 ③11:30～12:15
12:15	最終終了

配付資料	ふれあい土木展チラシ（希望者のみ）、アンケート QR
関係機関からの支援内容	－

河川レンジャーの活動内容	準　備	事前打合せ、下見から実施場所及びスケジュールの確認
	当　日	搬入、設置、スタッフへの役割指示、防災学習の実施
	事　後	アンケートによる評価確認
参加者からの意見		・備えるシートを持って帰って、家の人と備える物を見直した。 ・備蓄品を見直したり、避難するときに気をつけなければいけないことがわかった。 ・水は本当に危ないものでちゃんと日頃から備えておけばいいんだなと思いました。 ・本当に起きたら、ということを考えたら体験できてよかったなと思いました。 ・流域やいろんなことがわかってちょっとだけ難しかったけど、浸水地歩行が楽しかった。 ・水害になった時どうしたらいいかわかりました。 ・自分ももう少し防災について学習したいなと思った！ ・しん水地歩行を経験できて嬉しかったです。勉強になった。いい経験をさせてくださってありがとうございました。 ・防水のことを知って親子で話せてよかったです。 ・最初は、自主学習とかで、調べただけだったけど、この授業をやって災害や防災について色々しった。 ・社会の授業でも教えてもらったけど、基本が身についた上でさらに防災学習を通して知識が増えた。

活動状況



前回授業の振り返り



浸水地歩行体験前の事前学習



浸水地歩行の体験



振り返りと共有・まとめ

3.30 枚方市立伊加賀小学校　４年生　防災学習Ⅱ　　・令和７年１０月３０日（木）

実施状況

活 動 名	枚方市立伊加賀小学校　4 年生　防災学習Ⅱ　浸水地歩行体験			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 10 月 30 日（木）			
実施場所	枚方市立伊加賀小学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		81 名	
	内訳	参加者	74 名	4 年生 74 名
		講師	－	
		スタッフ	2 名	波戸 R、土井 R
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	4 名	
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	
9:35	授業開始 自己紹介、レンジャーの説明
9:40	前回授業の振り返り、今日の内容説明
9:45	水害のリスクについて
9:50	浸水地歩行体験へ移動（2 階教室→1 階屋外へ）
9:55	浸水地歩行に関する解説と実演
10:00	浸水地歩行体験をクラス全員が実施
10:10	教室へ移動
10:15	浸水地歩行体験の振り返りとまとめ・連絡事項
10:20	授業終了 ※同様の流れで授業を 3 回実施 1 組　9:35～10:20 2 組　10:40～11:25 3 組　11:30～12:15
12:15	最終終了

配付資料	・伊加賀小学校校区ハザードマップ、ふれあい土木展チラシ、ポスター
関係機関からの支援内容	－

河川レンジャーの活動内容	準　備	・下見と打合せ、スタッフ支援要請
	当　日	・スケジュール、役割分担に基づきクラスごとに実施
	事　後	・アンケート内容の確認
参加者からの意見		・災害は、いつ起きるかわからないから他にデコボコな道を体験したい。 ・水は楽しいけど浸水地はとっても危ないと判った。やっぱり水害はとても危険。 ・今回水の中がにごって歩くのが怖かった。長い棒を持っていたら安心だと思った。 ・避難の仕方やどうやってはんらんが起きるのかがよくわかった。 ・防災や災害に備えるための訓練とかはめっちゃ大切ということがわかった。 ・災害が起きた時すぐに逃げられるように、防災グッズを用意しとくといい。 ・浸水地歩行をして体験した人しかわからないことがわかったし、浸水のことじゃなくてもいろいろな体験をして災害の怖さを知りたいです。 ・2回、河川レンジャーさんのお話を聞いて、やはり防災はとても大切と分かった。 ・ハザードマップを見たおかげで備えようという気持ちが増えた。 ・やっぱり災害ってたくさんあるし気をつけたいです。 ・初めて通る道がしん水していたら、穴がどこかわからないのでとてもこわい。 ・前回と今日勉強したことを、気をつけて暮らしていきたいと思いました。 ・軽いものは浮くのに重いものがしずむのが不思議だった。 ・15センチでもふかかった。災害はとっても恐ろしいことがよくわかった。 ・レンジャーさんたちが川の危険などを教えてくれて自分のためにもなった。 ・今日は本当に入ってみて体験できて嬉しかったです。 ・淀川が氾濫してここも浸水するかもしれないから、気をつけようと思った。 ・前回と今日とで避難ルートや災害のそなえをしといたほうがいいなと思った。 ・このたいけんをして自然災害があったらこれをいかす。家族にもおしえる。

活動状況



自己紹介とレンジャーの説明



前回の振り返りと浸水リスクの解説



浸水地歩行体験

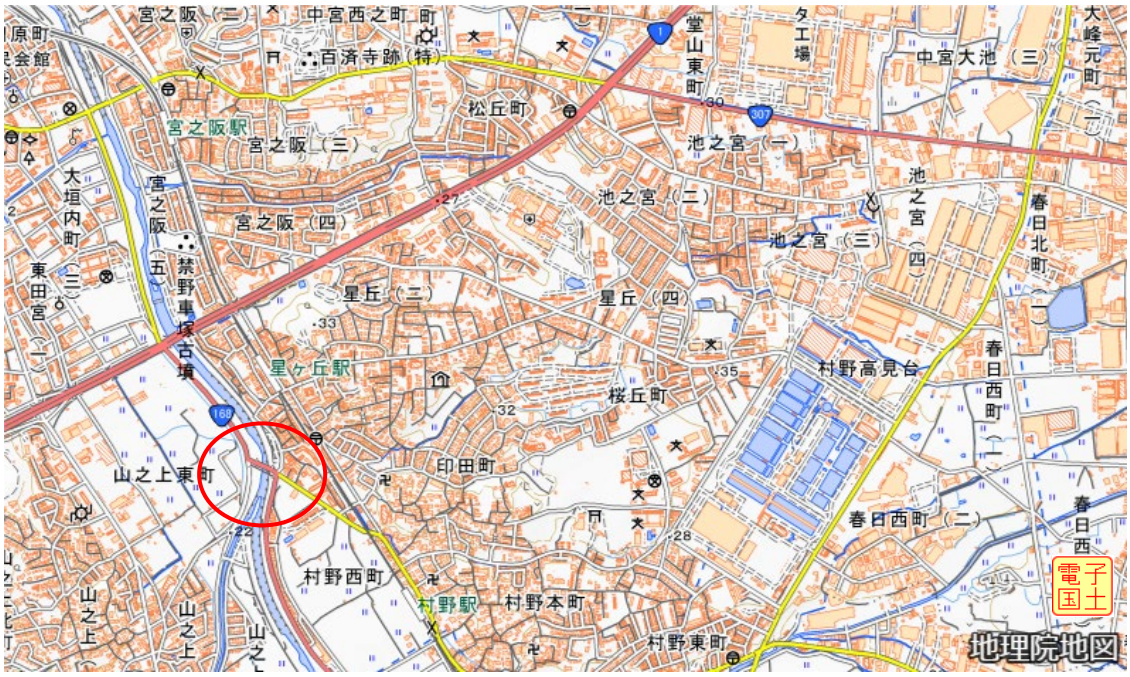


振り返り・体験での気づきを共有

3.31 枚方市立桜丘北小学校　４年生　川の学習　　・令和７年１１月７日（金）

実施状況

活 動 名	枚方市立桜丘北小学校　４年生　川の学習			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年 11 月 7 日（金）			
実施場所	淀川支川天野川　浜橋直下　藤田川合流点付近			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		53 名	
	内訳	参加者	47 名	4 年生 47 名
		講師	－	
		スタッフ	1 名	土井 R
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	4 名	教諭、見守り隊（中学生）
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	



スケジュール	9:30	学校から移動してきた児童が現地に到着。活動開始
	9:35	・天野川と淀川、大阪湾の話 ・今日の流れの説明と注意点
	9:45	① 1 組：水質調査、2 組：ゴミ拾い、の 2 グループに分かれ活動
	10:05	② 2 組：水質調査、1 組：ゴミ拾い、に入れ替わって活動実施 水質調査：岡村 R より COD 検査の説明、天野川の性質や環境も解説 ゴミ拾い：土井 R が誘導と安全管理、上流側 100m 間でゴミ拾いと生物観察
	10:20	③ 拾ってきたゴミを集めて分別 燃えるゴミ、ペットボトル、カン・ビン、その他に分類 ペットボトルは全員で本数を数えて確認 → 川ゴミネットワークへ報告 ゴミはどこから来るのか、ゴミを減らすために自分たちができることを考える ゴミを前に記念撮影
	10:40	④ 野鳥観察のお話 岡村 R より野鳥の話、手元資料で解説 カラス、セキレイ、カワウ、サギ、ドバト、カワセミなどを確認した。
	11:00	⑤ 質疑応答、まとめ
	11:05	活動終了、現地解散、児童は学校へ移動
配付資料		学習資料、アンケート

関係機関からの 支援内容		河川レンジャー事務局：物品支援、資料提供 枚方土木事務所：活動エリアについてのアドバイス 枚方市環境政策推進課：ゴミの回収
河川レンジャーの活動内容	準　備	実施計画打合せ：実施内容、実施日時、実施場所の検討 （桜丘北小学校、枚方土木事務所、枚方市環境政策課） 必要物品の準備：各関係機関への備品・資料の貸与提供依頼、資料作成 小学校との調整：現場までの移動願い、事前学習の依頼など
	当　日	活動の実施：開会、閉会の挨拶、進行、説明、質疑応答など
	事　後	関係各所への御礼、アフターフォロー、ゴミ回収後の備品回収
参加者からの意見		・今日改めて川を大切にしないとなって思ったし、生き物のためにもゴミを捨てないようにしないとなって思った。 ・ひとつの薬で水の綺麗さを知れるのはすごいと思った。 ・鳥を知れてよかったし、ゴミ拾いでたくさんゴミを拾えてよかった！ ・水の検査と動物の観察が楽しかった。 ・ゴミは自分で持って帰る。（ポイ捨てはしない‼） ・キャンプ（川で焼肉）や川で遊ぶときはゴミを必ず自分の家に持って帰る。 ・鳥の観察をもっと知りたいです。 ・水質が 1 番綺麗になるまで清掃してみたい。 ・魚やエビや亀を川の中に入って取りたい。 ・たまに見に来てゴミ拾いをしたい。

活動状況



天野川の水質を調査



天野川沿いを児童達の手でゴミ拾い



拾い集めたゴミを分別し数量や種類を確認



本日の授業内容のまとめ

3.32 枚方市立田口山小学校　５年生　防災学習　　・令和７年１１月１０日（月）

実施状況

活 動 名	枚方市立田口山小学校 5 年生 防災学習			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 11 月 10 日（月）			
実施場所	枚方市立田口山小学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		70 名	
	内訳	参加者	64 名	5 年生 64 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	4 名	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	
13:35	＜5 限目開始＞ 自己紹介、レンジャーの説明
13:40	雨と流域の話
13:55	水害の説明 ハザードマップの確認 学校周辺の水害リスクについて
14:20	＜5 限目終了・休憩＞
14:25	＜6 限目開始＞
14:30	マイ・タイムラインの作成と共有
14:40	気づきシートを使用してグループでふりかえり・共有
15:00	備蓄品チェックシートの配布
15:05	まとめ
15:10	＜6 限目終了＞

配付資料		ハザードマップ、マイタイムラインキット、備蓄品シート、土木展チラシ
関係機関からの支援内容		近畿地方整備局 防災室：備蓄チェックシートのデータ
河川レンジャーの活動内容	準　備	授業日程、内容の打合せ
	当　日	防災授業 2 時間
	事　後	アンケート記入のお願い、ふれあい土木展への来場お願い

参加者からの意見	・防災のことについてくわしく知れて、とても参考になったし、楽しかったです。ありがとうございました！ ・災害はいつ起きるかわからないから常に準備しておかないとダメってことを知った。 ・河川を「かせん」って読む事を初めて知りました。 ・水害には外水氾濫と内水氾濫、土砂災害の 3 種類があることを初めて知った。 ・一番危険な場所や一番安全なところを把握できてよかったと思います。 ・枚方は意外と昔から災害が起こってきていることに気づいた。 ・土地は水が流したものからできていることがわかった。 ・災害が起きそうになったら、すごくたくさんの行動をしないとダメだということを知った。 ・河川レンジャーの出前授業はとてもわかりやすく、とても楽しかったです。次の授業も楽しみです。 ・教え方がわかりやすかったし、ワークシートにシールを貼るのが楽しかった。

活動状況



雨がもたらす水害と流域の解説



グループに分かれマイ・タイムライン作成



備蓄品チェックシートの配布



振り返り・各班の気づきを共有

3.33 令和７年度枚方市総合防災訓練（ひこ防’ｚ）　　・令和７年１１月２２日（土）

実施状況

活 動 名	令和 7 年度枚方市総合防災訓練（ひこ防’z）			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 11 月 22 日（土）			
実施場所	枚方市役所別館前庭  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		199 名	（枚方市危機管理室からの協力依頼）
	内訳	参加者	193 名	ブース来場者　大人 110 名、子ども 83 名
		講師	―	
		スタッフ	2 名	土井 R、西畑 R
		市民団体等	1 名	禁野小学校安全安心部会　会長
		行政機関	1 名	枚方市市長
		学校関係	1 名	樟葉西小学校　教諭
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	12:00	枚方市市長伏見氏開会挨拶		
	12:05	ブース開場・浸水地歩行体験開始 ※計画では 15 分おきに体験してもらう予定であったが、スタッフが確保できた事から、来場者に随時体験してもらう様に切り替えて実施した。 ※枚方市主催のスタンプラリーブース箇所 備蓄チェックシートの配布。アンケートは QR コードから		
	15:00	市による閉会の言葉。体験終了。撤収作業		
	15:40	スタッフの気づき・感想報告		
	15:50	終了		
配付資料	備蓄チェックシート			
関係機関からの支援内容	浸水地歩行体験キット・付属品。水中ポンプ。長靴。傘。 浸水歩行説明パネル（浸水歩行体験、浸水想定ＣＧ）。地域で作ろう「マイ防災マップ」パネル。河川レンジャーのぼり。ビブス。備蓄チェックシートの印刷 枚方市：延長コード。ホース			
河川レンジャーの活動内容	準　備	関係者打合せ(11/10)。配布物の印刷		
	当　日	浸水地歩行体験キット組立・注水セッティング。スタッフ分担打合せ。同キット撤去		
	事　後	キット乾燥。返却		
参加者からの意見	・体験してみて深さが見えないことの危険性を感じた。 ・早期避難の大切さを理解できた。 ・貴重な体験ができて良かった。 ・自治会で防災学習を開いてほしい。（伊加賀小学校、旭南小学校） ・浸水になる前に避難した方がいいことが判った。 ・枚方で淀川が氾濫したことを初めて知った。 ・樟葉地区は過去に浸水しているので普段から気にかけている。 ・楠葉西小学校での 12 月防災学習を楽しみにしています。			

活動状況



枚方市市長も体験



体験中の子どもをスマホ撮影



浸水想定 CG 図で我が家を確認



子連れで幼児を抱いて体験

3.34 多自然池エリア　なごめる水辺づくり　　・令和７年１１月２６日（水）

実施状況

活 動 名	多自然池エリア　なごめる水辺づくり No.24			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 11 月 26 日（水）			
実施場所	淀川河川公園　枚方地区 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		18 名	
	内訳	参加者	11 名	大人 11 名
		講師	―	
		スタッフ	3 名	波戸 R、清水 P、一般
		市民団体等	―	
		行政機関	1 名	枚方市観光交流課
		学校関係	2 名	大阪商業大学
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	9:50	開会式　活動趣旨と注意事項の説明（岡村 R）
	10:00	清掃開始（多自然池エリアへ） ・水際にあげたゴミを参加者が処理 ・清掃、ホテイアオイやナガエツルノゲイトウの駆除、回収
	10:45	清掃終了（収集場所へ移動）
	10:50	回収ゴミの分別チェック、集合写真撮影
	11:00	閉会式（アンケート依頼、今後の活動紹介、参加者の感想・気づきの共有）
	11:20	終了
配付資料		なごめる水辺づくり案内、今後の活動チラシ
関係機関からの支援内容		枚方市環境政策課：ゴミ袋貸与、火ばさみ貸出、回収ごみの収集
河川レンジャーの活動内容	準　備	物品の貸出申請、駐車場入場許可申請、川中のゴミ引き揚げ、草刈り
	当　日	参加者の安全確認、タイムキーパー、以降の活動紹介
	事　後	物品、許可証の返却
参加者からの意見		・初めてカラシナの草抜きをしたが疲れた。 ・今日はこちらの活動には初参加でした。ホテイアオイは 10 年前から毛馬エリアで駆除してきたが、やっとここ２、３年で減ってきた。上流側の枚方でもあることを知った。 ・ナガエツルノゲイトウはこれまで庭窪エリアで駆除してきたが、カラシナは初めての植物でした。 ・昔、春の野に明るい草を植えようとカラシナの種を撒いたと聞いており、自分としてはそのまま春を待ちたかったし、抜くことにも抵抗感があった。 ・オギを残しているのはどうしてか？人を近寄せるには刈ってもいいのではないか？ ・停泊エリアに多くの浮いているゴミを残したのは残念。 ・半年ぶりに参加したが様相の変化に驚いている。これからも参加したい。

活動状況



開会式（活動趣旨説明）



引き上げたゴミと外来水生植物の回収



セイヨウカラシナの除去作業



今後の方針を説明

3.35 枚方市立樟葉西小学校　４年生　防災学習　　・令和７年１２月９日（火）

実施状況

活 動 名	枚方市立樟葉西小学校　4 年生　防災学習			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 12 月 9 日（火）			
実施場所	枚方市立樟葉西小学校　図書室  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		63 名	
	内訳	参加者	58 名	4 年生 58 名（2 クラス）
		講師	―	
		スタッフ	1 名	土井 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	3 名	教諭
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール		
	13:35	開始 5 限目授業 ※水害から身を守るために　～みんなにできることってなんだろう～（岡村 R） ・自己紹介、スタッフ紹介 ・周辺地域を流れる川（淀川、舟橋川、穂谷川） ・淀川河川公園　枚方地区の紹介、河川レンジャーとは（活動内容を紹介） ・水のゆくえ（動画鑑賞）（水は高い所から低い所へ流れる） 1. 水害ってどうしておこるのかな？ ⇒町や家は大丈夫？　避難について考えよう 水害の歴史を学ぶ（明治 18 年洪水碑　伊加賀切れ　枚方市） 近年の出水写真を紹介（淀川や溝谷川）外水氾濫、内水氾濫、土砂災害を説明 自宅の位置をハザードマップで確認 舟橋川ってどんな川？
	14:20	休憩
	14:25	6 限目授業 2. たいへん大きな台風がやってくる ⇒いつ何をすればいいのかな？　マイ・タイムラインを作ってみよう 3. 備えることが大事だね ⇒何を準備しておけばいいのかな？ 4. 今日の授業で気づいたことをみんなで話し合おう ・次回開催予定の浸水地歩行体験について説明 ・次回までに家族で備蓄チェックシートを確認しておく ・防災学習のまとめ　①「水害」のことを知る　②「地域」のことを知る ③何ができるか考える　④家族みんなで考える アンケートのお願い
	15:15	終了
配付資料		ハザードマップ、マイ・タイムラインシート（シール）、備蓄チェックシート
関係機関からの支援内容		―

河川レンジャーの活動内容	準　備	事前打合せ
	当　日	防災授業実施
	事　後	アンケート、気づきシートの確認と学校側との共有
参加者からの意見		・日頃から備えや確認が大切だと分かった。 ・(避難場所へは) 楽しくなるものを持っていく。 ・淀川でいろいろなイベントがあることを知った。 ・私の家が洪水に会う時めちゃくちゃ近いし、危ないとハザードマップを見て知った。マイ・タイムラインで検討がついた。 ・田舎より都会の方が水が溜まりやすいことがわかった。(コンクリートは水が染み込まない) ・家が水につかるのを初めて知りました。 ・河川レンジャーのおかげで災害がおきるまでにできる事はたくさんあることが知った。 ・避難する前のことや台風や自然災害の注意報の時に、絶対にしてはいけないことがわかった。 ・淀川の水があふれたら自分の家が水に浸かることがわかった。 ・水は勢いが強いから、洪水が起きたらすぐに一階、二階にいってしまうことが分かって、少し怖かったです。 ・3 階以上まで水が来ることがあるなんてびっくりした。備えは大切だと感じた。 ・ハザードマップを見て自分の家の事を確かめたのは初めてだと思います。見る前はおそらく洪水が起きてもあまりつからないと思っていたけど、ハザードマップを見て、2 階まで浸かるんだと思った。

活動状況



「淀川へ行ったことがある人？」



マイ・タイムラインを作成



マイ・タイムラインを確認



授業で気づいたことを話し合おう

3.36 枚方市立田口山小学校　５年生　浸水地歩行　　・令和７年１２月１２日（金）

実施状況

活 動 名	枚方市立田口山小学校　5 年生　浸水地歩行体験授業			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 12 月 12 日（金）			
実施場所	枚方市立田口山小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		70 名	
	内訳	参加者	64 名	5 年生 64 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	土井 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	4 名	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	
9:35	＜2 限目開始＞
9:40	前回授業の振り返り
9:50	今日の体験（浸水地歩行について） ・浸水地の危険について ・この体験の目的と、体験する上での注意点
9:55	クラスの半数が中庭に移動して浸水地歩行体験 ・残り半数は体育館内で暖を取りながらハザードマップの確認 ・体験が終わったら入れ替わりで同様の学習を行った
10:10	全員が体育館に戻ったのち、ふりかえり
10:15	まとめ
10:20	授業終了
10:40	3 限目も同様の内容で別クラスに実施
11:25	終了

配付資料		ハザードマップ
関係機関からの支援内容		―
河川レンジャーの活動内容	準　備	事前打合せによる場所の確定、授業の進め方の確認
	当　日	設営、授業、撤収、返却
	事　後	アンケートによる理解度確認

参加者からの意見	・15cm でも危ないってことがわかった。 ・なにも見えない（浅くても） ・実際にあの様なことがあったら、下が見えないし、冷たいし、傘や杖を持っていなかったらとても危険だという事を感じた ・よく見えないから危険だと思うけど、体験したときはたのしかったです。 ・災害とは、意外とみじかにもあることが知れました。 ・一回目ではなかった浸水の体験は、浸水の恐ろしさを改めて感じたし、やっぱり水害はすごく危険なんだなと思いました。 ・洪水は危険だと思いました。理由は、高いところにいないと洪水で溺れて死んでしまうかもしれないからです。 とても印象に残ったことは、一つ目は、雨の水は高いところから低いところに流れていくから洪水が起こった時は、高いところに避難することがわかりました。二つ目は、上流はとてもスピードが速く、削る働き（しん食）、運ぶ働き（運搬）などの働きが大きいこと。中流はスピードはあまり速くはなく、しん食、運搬などの働きは上流ほど大きくはない。そして下流は流れるスピードも遅く、しん食などの働きもあまり大きくはないことがわかりました。 ・ライフラインが途絶えたり、店が開いていなかったりするかもしれないから、食料を備蓄することは大切だと思った。

活動状況



前回の振り返りと今日の説明



浸水地歩行体験の体験補助



寒さ対策としてクラスの半数ずつ体験



振り返りを共有して、今日のまとめ

3.37 常翔啓光学園　天野川クリーンアップ活動　　・令和７年１２月１２日（金）

実施状況

活 動 名	常翔啓光学園　天野川クリーンアップ活動			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 12 月 12 日（金）			
実施場所	天野川右岸　禁野橋～天津橋　間  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		24 名	
	内訳	参加者	18 名	生徒 18 名
		講師	―	
		スタッフ	2 名	土井 R、西畑 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	3 名	教員
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	13:25	＜生徒集合・清掃開始＞		
	13:30	自己紹介・活動の趣旨の説明		
	13:35	今日の活動範囲や注意事項の説明		
	13:40	清掃活動開始 ・3 グループに分かれてゴミ拾い（上流・下流・堤防上） ・回収しながら「なぜ川にゴミが集まるか」などの解説も行った		
	14:05	天津橋の堤防上広場で回収したごみを集積し分別 ・ごみの種類や量を確認 ・確認できたゴミを袋に詰めなおして集積場所に集める		
	14:15	広場にてふりかえり、共有とまとめ		
	14:20	終了		
配付資料	なごめる水辺活動チラシ、一斉美化アクション拠点チラシ・全体チラシ			
関係機関からの支援内容	・枚方土木事務所に対しイベントの事前通告と確認 ・枚方市環境政策課に回収ごみの収集要請			
河川レンジャーの活動内容	準　備	・活動エリアの確認（開会式、回収場所と量、コース、閉会式、収集場所） ・水際ごみの引き揚げ、川中ゴミの引き揚げ ・スタッフ支援のお願いとスケジュール・役割分担の指示		
	当　日	・活動内容と注意事項の確認　　・回収指示 ・ボランティア参加証明書の授与　　・アンケートの実施 ・開会式と閉会式の進行		
	事　後	・アンケートの確認		

参加者からの意見	・ボランティア活動を通して自分自身の新しい経験になってよかったです。 ・ゴミ拾いをしないとゴミが溜まり続けていくので、日頃からゴミ拾いしようと思いました。 ・ゴミ拾いを自らすることによって、街のゴミへの関心が深まると思った。 ・思っていたよりゴミが少なかったのと、タバコの吸い殻がやっぱり多いなって思いました。 ・ボランティア活動に参加したのが初めてだから新鮮だった。 ・改めてポイ捨てはダメだと思いました。こんなにもゴミが落ちているなんてびっくりしました。また参加できたらしたいです！ ・もっとゴミが多いと思っていたので意外と少なかったです。普段からポイ捨てなどをしないように心がけようとおもいました。 ・タバコが多かったのとペットボトルや缶のゴミ、お菓子のゴミなどが多かったので私たちでまたきれいにしたいですが、ポイ捨てする人が減ってくれたらうれしいです。

活動状況



今日の活動趣旨と注意点の説明



河川敷沿いのゴミを拾う生徒たち



回収したごみの分別、種類や量の確認



振り返りの共有とまとめ

3.38 枚方市立樟葉西小学校４年生　浸水地歩行体験　　・令和７年１２月１５日(月)

実施状況

活 動 名	枚方市立樟葉西小学校 4 年生　浸水地歩行体験授業			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 12 月 15 日（月）			
実施場所	枚方市立樟葉西小学校　図書室・渡り廊下  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		63 名	
	内訳	参加者	58 名	4 年生 58 名（2 クラス）
		講師	―	
		スタッフ	1 名	土井 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	3 名	教諭
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:40	開始 3 限目授業		
	10:45	①前回の授業内容をふりかえり（図書室） ・水害はなぜ起こるか、どんな種類があるのか、などを確認 ・ハザードマップで、地域のリスクを確認 ・「マイ・タイムライン」を作って備えを学んだことを確認 ・宿題として出した「備蓄品を家族と考えてくる」をやってきたか確認		
	11:00	②浸水地歩行体験の説明（図書室⇔渡り廊下） ・全体の流れを説明し、防寒対策をして渡り廊下へ移動するよう指示 ・渡り廊下にて土井 R による実演と岡村 R の解説 ・名簿順に体験を開始。全員が体験終了した後に図書室へ戻る		
	11:15	③ふりかえり（図書室） ・体験してみての感想、気づいたことの共有 ・浸水地の危険性と、そうなる前の早期避難の重要性を伝える ・今日学んだことのまとめ		
	11:25	3 限目終了		
	11:30	4 限目も同様の授業を別クラスに実施		
	12:15	4 限目終了		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		―		
河川レンジャーの活動内容	準　備	事前打合せによる詳細確認（スケジュール・場所・準備物、他）		
	当　日	設営・授業・撤収		
	事　後	返却・アンケートの確認		

参加者からの意見	・日頃から防災のことを考えて、準備をしておこうと思いました。 ・今まで防災に対しての意識が足りていなかったので、これからは気をつけようと思いました。 ・備蓄したらいいものなどを考えられた。しん水地歩行は下が見えなくて怖かった。 ・準備は大切だと思ったし、傘も準備した方がいいと思った。 ・本当に災害が起きたら水の水位がどこまで上がるかわからないから、油断は禁物だなと思いました。 ・水は高いところから低いところへ行くことが分かりました。外水氾濫以外に内水氾濫がある事を知りました。 ・流域、外水氾濫、内水氾濫などたくさんの大事な言葉がわかった。 ・防災学習を学ぶ事はとても大事だなと思いました。また備蓄チェックシートをお母さんとやっているとき、お母さんが『あなたが言ってくれたので防災の準備がもっと良くなった』と言ってくれました。 ・自然災害の怖さがさらに怖い所をしって、普段から防災リュックを準備するようにしたい。 ・3 日分の水や食料が必要なのがわかった。 ・こけるかもと思って緊張した。もし本当に洪水が起こって、その時家から遠いところにいたら、浸水地歩行たいけんの時よりも歩かなきゃいけなくなったらさらに大変だと思った。

活動状況



前回授業の振り返りと地域リスクの確認



浸水地歩行体験前に注意点を解説・実演



浸水地歩行体験



体験後、児童に気づきがあったかを尋ねる

3.39 多自然池エリア　なごめる水辺づくり　　・令和７年１２月２４日（水）

実施状況

活 動 名	多自然池エリア　なごめる水辺づくりNo.25			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年 12 月 24 日（水）			
実施場所	淀川河川公園　枚方　多自然池エリア 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		16 名	
	内訳	参加者	6 名	大人 6 名
		講師	―	
		スタッフ	4 名	土井 R、清水 P、河本 P、他 1 名
		市民団体等	4 名	松愛会 1 名、交野野鳥の会 2 名、枚方好きやんゴミ拾い部 1 名
		行政機関	1 名	枚方市観光交流課
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:00	開会式 活動趣旨と注意事項、行動予定の説明(岡村 R)		
	10:10	清掃開始（多自然池エリアへ） ・ポイント 3 に集めてあるごみの分別、ポイント 1 のごみの回収など		
	10:40	清掃終了 回収ゴミの分別チェック、集合写真撮影		
	10:45	収集場所へゴミの移動		
	10:50	閉会式 （参加者の感想・気づきの共有、今後の活動紹介）		
	11:00	終了		
配付資料		・本日の活動内容及び注意点チラシ ・今後の活動の告知チラシ　・淀川水系一斉美化アクション告知チラシ		
関係機関からの支援内容		・枚方市環境政策課：ゴミ回収袋（支給）、トング（貸与）、回収ごみの収集 ・淀川河川事務所：平日河川公園への入場許可申請、許可書（貸与）		
河川レンジャーの活動内容	準　備	・関係先への届け出と依頼		
	当　日	・設営、スタッフとの打合せ、タイムキーパー、安全管理、意見聴収、撤収		
	事　後	・関係先への返却		
参加者からの意見		・参加者のみなさんのおかげで多自然池の様子が変わってきている。引き続きどのように管理していけばよいのか打合せし、要望に応えるようにしたい。（枚方市観光交流課） ・今年最後の活動だったので参加したかった。できて良かった。 ・交野市では、里山の不法投棄のゴミの処理についてボランティア団体として困っており、レンジャー活動はその点をしっかりされているので参考にしたい。 ・参加者のみなさんがそれぞれ工夫した治具を持ってこられており、活用されているのがすごい。 ・停泊地の奥に大量に残ったゴミを回収できなかったのが残念だが、決められたエリアをしっかりとゼロリセットすることも大切なことだと納得した。		

	・ゴミ拾いだけでなく、変化していく植物に対してどのように対処していくかが今後の課題でしょうか？ ・月に一度の活動だが参加することで気分が良くなるので、今後も継続して参加していこうと思う。 ・来年も活動を企画いただいているようなので、みなさんとともに参加していきましょう。 ・今回は全員がいつものメンバーだったので効率よくできたようだ。ペットボトルが多いのがいつも気になっている。 ・初めてスタッフ側での参加となりましたが、視点を変えると安全性や時間を守ることの大切さを理解できた。

活動状況



開会式（活動趣旨説明）



現地での説明



清掃活動



ゴミの分別

3.40 枚方市立津田小学校　４年生　防災学習　　・令和８年１月１９日（月）

実施状況

活 動 名	枚方市立津田小学校　4 年生　防災学習			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 8 年 1 月 19 日（月）			
実施場所	枚方市立津田小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		76 名	
	内訳	参加者	71 名	4 年生 71 名（3 クラス）
		講師	―	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	3 名	教諭
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール		
	13:40	開始 5 限目授業 水害から身を守るために　～みんなにできることってなんだろう～（岡村 R） 自己紹介、スタッフ紹介 「河川」ってなんと読みますか？ みんなのまち「枚方」を流れる「大きな川」 淀川河川公園　枚方地区の紹介、河川レンジャーとは（活動内容を紹介） 「水の行方と地面の様子」（動画鑑賞）（水は高い所から低い所へ流れる） 1. 水害ってどうしておこるのかな？ ⇒町や家は大丈夫？　避難について考えよう 水害の歴史を学ぶ（明治 18 年洪水碑　伊加賀切れ　枚方市） 近年の出水写真を紹介（淀川や溝谷川）外水氾濫、内水氾濫、土砂災害を説明 自宅の位置を穂谷川洪水ハザードマップで確認
	14:20	休憩
	14:25	6 限目授業 2. たいへん大きな台風がやってくる ⇒いつ何をすればいいのかな？　マイ・タイムラインを作ってみよう 3. 備えることが大事だね ⇒何を準備しておけばいいのかな？ ⇒家族で備蓄チェックシートを確認しておく 4. 今日の授業で気づいたことをみんなで話し合おう 気づき、意見、質問をまとめる 防災学習のまとめ　①「水害」のことを知る　②「地域」のことを知る ③何ができるか考える　④家族みんなで考える アンケートのお願い
	15:15	終了
配付資料		ハザードマップ、マイ・タイムラインシート（シール） 備蓄チェックシート

関係機関からの支援内容		―
河川レンジャーの活動内容	準　備	・事前打合せ（内容、場所、時間割他）、スタッフ支援のお願い
	当　日	・設置準備、授業
	事　後	・後片付け、アンケートのまとめ
参加者からの意見		・日頃から避難所を確認しておこうと思った。 ・いつ何が起こるか分からないので、入念に準備しておこうと思った。 ・ハザードマップを確認しておくことが大切。 ・ニュースをみたらすぐに行動する。 ・生活に必要なものとか、自分のための物を準備しようと思った。 ・避難所でしてはいけないこととかを勉強したい。 ・水の話をもっとして欲しいです。 ・家族などと話し合うことや食料など、自分でできることを準備する。 ・河川レンジャーはどうやって誕生したのか知りたい。 ・災害は自分たちが思っているほど小さなことじゃなくて、たくさんの人たちが一つの災害で怪我を負っている。だから、災害は本当に怖いことであって舐めてはならないことだと思った。そして、災害が起こったときに本当にどうするか。避難の仕方や情報、家族との連絡など、それを知るために今回の河川レンジャーが来てくれる機会があったんだと思う。今回はありがとうございます。このことを活用して生活をしたいです。

活動状況



「水の行方と地面の様子」（動画視聴）



マイ・タイムラインの作成



授業で気づいたことを話し合おう



気づき、意見、質問の発表

3.41 枚方市立樟葉西小学校校区　総合防災訓練　　・令和８年１月２５日（日）

実施状況

活 動 名	枚方市立樟葉西小学校校区　総合防災訓練			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和８年１月 25 日（日）			
実施場所				
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		109 名	
	内訳	参加者	106 名	大人 94 名、子ども 12 名
		講師	－	
		スタッフ	１名	波戸 R
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	１名	樟葉西小学校校長
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	１名	

スケジュール	9:00	開会 主催者挨拶・出展者紹介等
	9:10	活動開始 ・くずは並木、センチュリー、西船橋、ﾀﾜｰ･ﾌｧｲﾝｼﾃｨｰ樋ノ上の４自治会他の浸水歩行体験、洪水時の注意事項等説明
	10:55	活動終了
	11:00	閉会
配付資料		備える物チェックシート
関係機関からの支援内容		－
河川レンジャーの活動内容	準　備	事前打合せ、現場状況、準備物、支援者の確認、貸出品の引取り
	当　日	設営、訓練、撤収
	事　後	貸出品の返却
参加者からの意見		・水が濁っていて深さが判らず、何があるのかわからない怖さが判った。 ・訓練では平地で流れが緩かったが、実際には水の流れがありもっと怖いだろうと思った。 ・浸水地を歩くことが恐ろしいことが判ったので、早めの避難が大切だと感じた。 ・娘が 4 年生で、小学校の防災学習を通じて教えてもらったことを家で話し合いました。河川レンジャーさんに感謝しています。 ・寒いけど貴重な体験ができ参加してよかった。 ・浸水地歩行体験を実施している河川レンジャーについて、枚方市消防団のホームページで紹介したい。

活動状況



主催者挨拶



洪水時注意事項等説明



浸水歩行体験説明



浸水歩行体験

○天野　康生（18 期生：1 年目）

3.42 庭窪ワンド保全活動　　・令和７年５月２５日（日）

実施状況

活 動 名	庭窪ワンド保全活動			
氏　　名	天野　康生（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 5 月 25 日（日）			
実施場所	淀川河川公園庭窪河畔地区・庭窪ワンド、庭窪レストセンター（守口市）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		29 名	
	内訳	参加者	8 名	大人 7 名、子ども 1 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	
		市民団体等	2 名	CASA（認定特定非営利法人　地球環境市民会議）
		行政機関	3 名	大阪府立環境農林水産総合研究所・生物多様性センター
		学校関係	14 名	大阪商業大学、大阪工業大学、大阪産業大学
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	9:30	開会式（庭窪レストセンター） ・自己紹介、スタッフ紹介、各参加団体代表挨拶 ・活動趣旨、注意事項説明（天野 R）、集合写真撮影 ・ゴミ袋、火バサミ配布		
	9:50	庭窪ワンド、鳥飼大橋桁下付近 ・清掃 ・ゴミ集積場へ移動		
	11:00	清掃終了 収集ゴミ内訳調査　21 袋（70L）の内 3 袋抽出（大阪商業大学）		
	11:30	庭窪ワンド内捕獲生物の見学 解散（庭窪レストセンター）		
	11:45	終了		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		―		
河川レンジャーの活動内容	準　備	庭窪レストセンター鍵借用、雨天時問い合わせ対応		
	当　日	庭窪レストセンター開錠、会場準備、受付、欠席者フォロー、開会挨拶		
	事　後	片付け、庭窪レストセンター施錠、鍵返却		
参加者からの意見		・長年参加しているがゴミが減らない。 ・草木が生い茂って川への動線が分からない。整備できないか。		

活動状況



開会式（注意事項説明）



清掃活動①



清掃活動②



収集ゴミ内訳調査

3.43 庭窪ワンド保全活動　　・令和７年６月８日（日）

実施状況

活 動 名	庭窪ワンド保全活動			
氏　　名	天野　康生（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年６月８日（日）			
実施場所	淀川河川公園庭窪河畔地区・庭窪ワンド、庭窪レストセンター（守口市）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		47 名	
	内訳	参加者	20 名	大人 18 名、子ども 2 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	一般
		市民団体等	9 名	地球環境市民会議、レンジャーズプロジェクト
		行政機関	8 名	大阪府立環境農林水産総合研究所・生物多様センター
		学校関係	8 名	大阪商業大学、大阪工業大学、大阪産業大学
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	9:30	開会式（庭窪レストセンター） ・自己紹介、スタッフ紹介、各参加団体代表挨拶 ・活動趣旨、注意事項説明（天野 R）、集合写真撮影 ・ゴミ袋、火バサミ配布		
	9:50	庭窪ワンド、鳥飼大橋桁下付近 ・清掃 ・ゴミ集積場へ移動		
	11:00	庭窪ワンド内捕獲生物の見学 収集ゴミ内訳調査　41 袋（70L）の内 3 袋抽出（大阪商業大学）		
	11:30	清掃終了		
	11:45	終了、解散（庭窪レストセンター）		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		―		
河川レンジャーの活動内容	準　備	庭窪レストセンター鍵借用、雨天時問い合わせ対応		
	当　日	庭窪レストセンター開錠、会場準備、受付、欠席者フォロー、開会挨拶 【収集ゴミ】41 袋(70L)、タイヤ 1 本、敷布団 2 枚		
	事　後	片付け、庭窪レストセンター施錠、鍵返却		
参加者からの意見		・レストセンター建屋について、今の活動を継続するためにこれからも使用させていただきたいが、補修や管理計画など今後の予定を知りたい。		

活動状況



開会式（注意事項説明）



清掃活動



回収されたゴミ



庭窪ワンド生物調査の見学

3.44 庭窪ワンド保全活動　　・令和７年７月１３日（日）

実施状況

活 動 名	庭窪ワンド保全活動			
氏　　名	天野　康生（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年７月 13 日（日）			
実施場所	庭窪ワンド  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		36 名	
	内訳	参加者	18 名	大人 16 名、子ども２名
		講師	―	
		スタッフ	１名	
		市民団体等	４名	地球環境市民会議、イタセンネット
		行政機関	４名	大阪府立環境農林水産総合研究所・生物多様性センター
		学校関係	８名	大阪商業大学、大阪工業大学、大阪産業大学、近畿大学
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	１名	
スケジュール	9:30	開会・挨拶・参加団体紹介・注意事項説明等		
	9:45	活動開始 ワンド清掃、ワンド生物調査、生物同定		
	11:45	調査終了、片付け		
	12:00	活動終了、解散		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		―		
河川レンジャーの活動内容	準　備	庭窪レストセンター鍵借用、雨天時問い合わせ対応		
	当　日	庭窪レストセンター開錠、会場準備、受付、欠席者フォロー、開会挨拶 【収集ゴミ】22 袋(70L)		
	事　後	片付け、庭窪レストセンター施錠、鍵返却		
参加者からの意見		・ワンド周辺の草木がかなり生い茂っているので、伐採や草刈などを行って整備された場所、木陰などを作ることができたら立ち寄ってみようという気になる。		

活動状況



主催者挨拶



ワンド清掃



ワンド生物調査



生物同定

3.45 庭窪ワンド意見交換会　　・令和７年８月１０日（日）

実施状況

活 動 名	庭窪ワンド意見交換会			
氏　　名	天野　康生（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年８月 10 日（日）			
実施場所	淀川河川公園　庭窪レストセンター  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		９名	
	内訳	参加者	―	
		講師	―	
		スタッフ	１名	
		市民団体等	４名	イタセンネット、ネイチャー大阪
		行政機関	１名	大阪府立環境農林水産総合研究所・生物多様センター
		学校関係	２名	大阪商業大学、大阪産業大学
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	１名	
スケジュール	10:00	活動開始（主催者挨拶・主旨説明等） ・2025 年度活動計画説明 ・活動計画及び庭窪ワンド保全に関する課題や要望等について意見交換		
	12:00	活動終了		
配付資料		・庭窪ワンド保全意見交換会 ・活動計画資料 ・桂川の豊かな自然環境と外来生物を知ろう（R6.8.24 活動報告）		
関係機関からの支援内容		―		
河川レンジャーの活動内容	準　備	庭窪レストセンター鍵借用、配布資料準備		
	当　日	庭窪レストセンター開錠、会場準備、受付、意見交換会進行		
	事　後	庭窪レストセンター施錠、鍵返却		
参加者からの意見		・ワンド保全を進めていくために、問題認識と分析を行ったうえで、ＰＤＣＡを回していくことが重要だが、現段階ではＰＤしかできていない。中、長期的な計画を立て、繰り返し行っていくために意見交換会は貴重な機会。今後も実施をお願いしたい。 ・活動には「民」だけでは限界があり、特に大がかりな工事が必要な場合「官」を巻き込む必要がある。摂津市の鳥飼地区で好事例があるので参考にするのはどうか。 ・人が気軽に来られる場づくりは重要と思う。子供が近付ける水辺としていくためには、きちっとした計画を作成することが大事。 ・周辺環境を良くするには、何かシンボル的なものが必要ではないか。		

活動状況



主催者挨拶



意見交換①



意見交換②



意見交換③

3.46 庭窪ワンド保全活動　　・令和７年９月１４日（日）

実施状況

活 動 名	庭窪ワンド保全活動			
氏　　名	天野　康生（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	共催（団体名：淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク）			
活動日	令和７年９月 14 日（日）			
実施場所	淀川河川公園　庭窪河畔地区  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		38 名	
	内訳	参加者	―	
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	22 名	地球環境市民会議 2 名、イタセンネット 2 名、レンジャーズプロジェクト 6 名、Happy kids いただきます実行委員会 1 名、エコトラック 2 名、アイトランスポート 2 名、パナソニック 7 名（内子供 2 名）
		行政機関	5 名	大阪府立環境農林水産総合研究所・生物多様性センター
		学校関係	10 名	大阪商業大学 2 名、大阪工業大学 2 名、大阪産業大学 4 名、同志社大学 2 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	9:30 9:45 12:00 12:30	開会・挨拶・参加団体紹介・注意事項説明等 活動開始 ワンド清掃、ワンド生物調査 活動終了 全体終了		
配付資料	―			
関係機関からの支援内容	―			
河川レンジャーの活動内容	準　備	庭窪レストセンター鍵借用、雨天時問い合わせ対応		
	当　日	庭窪レストセンター開錠、会場準備、受付、欠席者フォロー、開会挨拶 【収集ゴミ】70 リットル×18 袋、鉄パイプ、敷布団など大型ごみも回収。		
	事　後	片付け、庭窪レストセンター施錠、鍵返却		
参加者からの意見	・浮草にワンドが覆われて漂着ゴミが浮草で止まってしまい、回収できなかった。浮草撤去の予定はないのか。ボランティアでできることがあれば対応したい。 ・初めて参加したが、こんなにゴミがたくさんあるとは思わなかった。 ・食品トレイや発泡スチロールが砕けた小さなゴミはトングで拾えない。何か良い方法はないか。			

活動状況



主催者挨拶



ワンド清掃



ワンド生物調査



生物同定

3.47 うめきた朝ガク　　・令和７年９月２５日（木）

実施状況

活 動 名	うめきた朝ガク（河川レンジャー活動紹介と意見交換）オンライン			
氏　　名	天野　康生（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 9 月 25 日（木）			
実施場所	オンライン開催			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		15 名	
	内訳	参加者	15 名	大人 15 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	

スケジュール	7:10	開会・挨拶・参加団体紹介・注意事項説明等
	7:30	淀川河川レンジャーおよび庭窪ワンドでの活動紹介 ・河川レンジャーの役割 ・海ゴミ問題について（川からの流出が 8 割、生き物への影響など） ・庭窪ワンドでの環境保全活動について ゴミ状況、活動の目的、取組内容、日程など
	8:00	グループディスカッション・・どうすればたくさんの人に川にきてもらえるか 参加者が 4 班に分かれてディスカッション （主催団体スタッフがファシリテート担当） ・河川は癒し空間として大切なので、より魅力的になるよう活動することが求められていると思う。 ・癒しだけでなく、楽しさも必要。うまくゾーニングできれば良いのでは。 ・川の役割を伝える教育も大事。今回話を聞いて初めて知ったことも多い。もっと情報発信に力を入れてはどうか。
	8:30	放課後タイム（フリートーク）
	9:00	全体終了
配付資料		―
関係機関からの支援内容		―
河川レンジャーの活動内容	準　備	資料作成
	当　日	オンラインで活動の説明とディスカッションを実施
	事　後	―
参加者からの意見		・すごいゴミの量でびっくりした。予定があえば保全活動にも参加したい。 ・自分たちが子どもの頃はもっと川で遊んでいた。当時と同じような環境にすることは無理でも、ふれあいやすい水辺づくりに取り組んで欲しい。 ・環境教育の難しさについて改めて考えさせられた。 ・学校や行政との連携は大事。よい関係性を築いていってください。

活動状況



オンライン画面スクリーンショット

3.48 庭窪ワンド保全活動　　・令和７年１０月１２日（日）

実施状況

活 動 名	庭窪ワンド保全活動			
氏　　名	天野　康生（枚方出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	共催（団体名：淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク）			
活動日	令和 7 年 10 月 12 日（日）			
実施場所	守口市大庭町（庭窪ワンド、庭窪レストセンター）			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		39 名	
	内訳	参加者	5 名	松愛会守口・門真 3 名、他 2 名
		講師	―	
		スタッフ	2 名	山口進 RA、他 1 名
		市民団体等	16 名	天辻鋼球 2 名、エコトラック 2 名、大阪ガスオートサービス 1 名、パナソニック 6 名、イタセンネット 2 名、 レンジャーズプロジェクト 3 名
		行政機関	5 名	生物多様性センター5 名
		学校関係	10 名	大阪商業大学 3 名、大阪工業大学 1 名、大阪産業大学 3 名、同志社大学 3 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	9:30	庭窪レストセンターに集合し開会挨拶。保全活動説明。諸注意。本日の活動内容は、ゴミは少ないようなのでワンド内の外来植物・魚の除去を主に行う。 場所は、鳥飼大橋下流はゴミ拾い。24 号ワンドは外来植物除去。25 号ワンドは地曳網の 3 カ所とする。 各組織代表者による挨拶		
	9:45	集合記念写真撮影後、作業場所へ移動 水際ゴミ拾い。24 号ワンド内外来植物をレーキにより引っかけ水揚げ乾燥。 25-1、25－2 号ワンド各 2 回の地曳網		
	12:00	各作業終了、レストセンターにて解散		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		レーキ。火バサミ。ゴミ袋。胴長。河川レンジャーのぼり		
河川レンジャーの活動内容	準　備	広報チラシ作成。門真市、守口市への案内。下見調査(10/8、10/11)。レストセンター鍵借用		
	当　日	24 号ワンド草刈。使用物品清掃・保管。施錠。		
	事　後	鍵返却		
参加者からの意見		・土手から 25 号ワンドに向かう動線を整備して欲しい。階段が遠い。 ・25-1 号ワンドは外来植物の侵入がなく、25-2 号ワンドは繁茂してしまっている。この違いは何なのか。またどちらがワンドとして正しい姿なのか。 ・外来植物の侵食がすさまじい。臭いもひどく水質が悪くなっていると感じる。人力ではとても駆除しきれない。ここまで広がる前になんとかできないのか。 ・10 年ほど前にも外来植物がひどく繁殖してしまったことがあった。結局繰り返されている。根本的な対策はないか。		



	・本流とワンドの間、入口にオイルフェンスをつくって、外来植物がワンド内に滞留しないようにしてはどうか。ワンドからの流出も防げるのではないか。 ・冬季に回収する予定があるのかどうか教えて欲しい。

活動状況



ワンド水際ゴミ拾い



ワンド内外来植物の除去



外来植物の水揚げ(24 号ワンド)



地曳網による外来魚捕獲(25-2 号ワンド)

○安田　宇江亜（河川レンジャーアドバイザー）

3.49 水辺の安全利用　高槻市立丸橋小学校２・４・６年生　　・令和７年７月１５日（火）

実施状況

活動名	水辺の安全利用　高槻市立丸橋小学校 2･4･6 年生			
氏名	安田　宇江亜（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 7 月 15 日（火）			
実施場所	高槻市立丸橋小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		291 名	
	内訳	参加者	279 名	2 年生 81 名、4 年生 86 名、6 年生 112 名
		講師	―	
		スタッフ	2 名	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	10 名	教員
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	08:45	4 年生開始(挨拶等)		
		・準備運動+シャワー		
	08:55	・ライフジャケット説明+着用開始		
	09:10	・着水～ライフジャケット浮き体験～自由時間(前列と後列に分かれる)		
	09:30	・水辺での注意(終了)		
	09:40	6 年生開始(挨拶等)		
	09:45	・水泳授業		
	10:00	・水辺の安全講習後ライフジャケット説明+着用開始		
	10:15	・着水～ライフジャケット浮き体験～自由時間		
	10:25	・水辺での注意(終了)		
	10:45	2 年生開始(挨拶等)		
	10:55	・水辺の安全講習後ライフジャケット説明+着用開始		
	11:15	・着水～ライフジャケット浮き体験～自由時間(前列と後列に分かれる)		
	11:25	・水辺での注意(終了)		
配付資料	―			
関係機関からの支援内容	河川事務所(ライフジャケット×120 個)			
河川レンジャーの活動内容	準　備	メール・電話での打ち合わせ、物品の受け取り		
	当　日	物品運搬および搬入、安全講習		
	事　後	物品片付け、引き上げ、返却		

参加者からの意見	・暑いから早く水に入りたかった ・時間が短かった ・自分もライフジャケットを持っているのでちゃんと使いたい ・次回は計画的に時間をとるのできっちり教えてあげてほしい ・音響設備は整えてほしい ・ペットボトルを使えなくて残念 ・落ちた先生を助けることができた

活動状況



4年生水辺の危険性について



6年生ライフジャケットで浮き体験



2年生の浅いプール

○山口　遼太（河川レンジャーアドバイザー）

3.50 枚方市緑化フェスティバルへの出展　　・令和７年４月２６日（土）

実施状況

活 動 名	枚方市緑化フェスティバル			
氏　　名	山口　遼太（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 4 月 26 日（土）			
実施場所	ニッペパーク岡東中央（岡東中央公園：枚方市岡東町）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		156 名	
	内訳	参加者	149 名	大人 117 名、子ども 32 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	7 名	淀川河川公園管理センター 3 名 枚方市公園みどり課 2 名 枚方市環境制作室 2 名
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	10:00	開始 ・淀川の環境やヨシに関する展示 ・ヨシ筆作りの指導 ・質問等への対応		
	16:00	終了		
配付資料	河川レンジャーニュース、淀川発見講座のチラシ、岡村 R 活動募集チラシ			
関係機関からの支援内容	河川レンジャー事務局：配布資料の準備、物品の貸与、印刷作業 河川公園管理センター：テントやテーブル等の備品提供			
河川レンジャーの活動内容	準　備	物品等の準備・受取り、各所との打ち合わせ		
	当　日	物品の搬入と設営、来場者への解説、ヨシ筆作り指導など		
	事　後	物品の搬出と撤収、関係各所へのお礼、報告書の作成、物品返却		

参加者からの意見	・鵜殿のヨシがとても貴重で、身近な淀川にあるということが誇らしいです。 ・枚方河川公園にはよく行くのですが、実は高槻市、というお話が面白かったです。 ・ヨシの事を詳しく聞けて勉強になりました。 ・以前もレンジャーさんの活動に参加させてもらい楽しかったです。また自然とふれあうような活動に参加したいです。今後も頑張ってください。 ・淀川の河川敷にたくさんの自然があることが分かりました。また今度散歩に行ってみたいと思います。 ・生き物を採ったり水辺で遊んだりする活動がもっと増えてほしいです。 ・枚方の河川敷の森が無くなってビックリしましたが、お話を聞いてその整備にも意味があり、生物への配慮がなされているのだと納得できました。 ・多自然池という場所が枚方にあることも初めて知りましたし、親水空間としての活用が検討されていることも嬉しい情報でした。私たちに出来る形で参加が出来ればと思いますので、また HP を見て参加したいです。

活動状況



設営・展示の様子

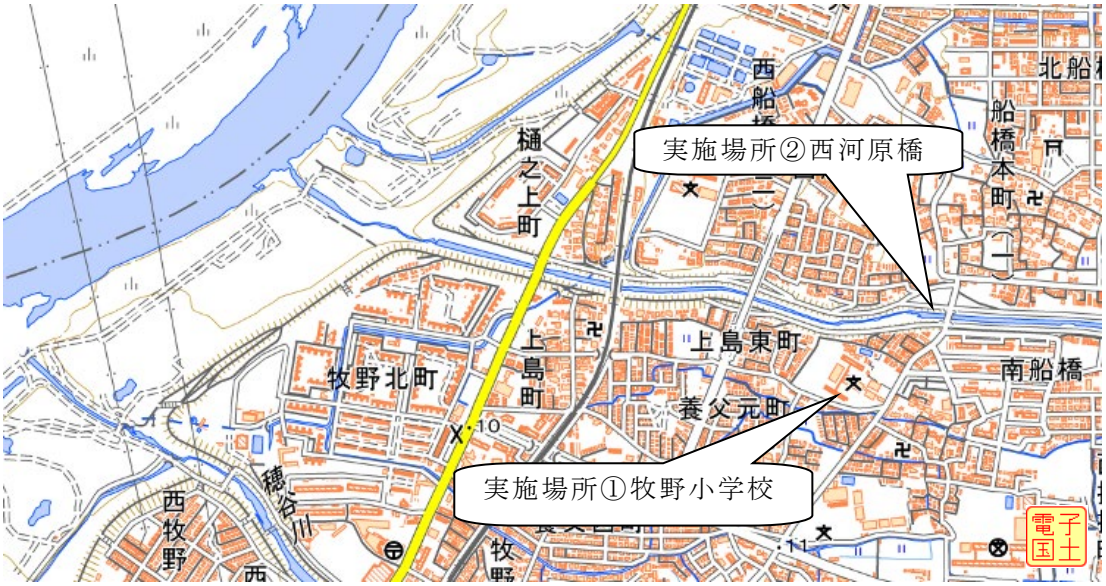

内部の展示


ヨシの手触りや性質を確かめる参加者


ヨシ筆作り

3.51 牧野小学校いきいき広場　船橋川探検隊　　・令和７年６月７日（土）

実施状況

活 動 名	牧野小学校いきいき広場　船橋川探検隊			
氏　　名	山口　遼太（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年６月７日（土）			
実施場所	枚方市立牧野小学校～船橋川　西河原橋  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		31 名	
	内訳	参加者	20 名	牧野小学校児童 20 名
		講師	―	
		スタッフ	11 名	牧野小学校 PTA ９名 高校生２名（卒業生・過去参加者）
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	10:00	開始、図書室にてあいさつ		
	10:05	船橋川についての説明 ライフジャケットと水辺で遊ぶ際の注意事項説明		
	10:20	班でグループになり船橋川に向けて出発		
	10:35	船橋川にて諸注意と水位計、河川監視カメラの解説と水防災の話		
	10:40	生物観察開始 ・児童は手網で水深 10cm ほどのエリアで生物採取 ・途中に仕掛けを引き上げて捕獲した生物を水槽に移す		
	11:20	橋の下の日陰で休憩を取り生物の同定作業 ・外来生物の解説、船橋川の生物層と環境について解説		
	11:35	班単位で小学校に移動		
	11:45	小学校にて足などを洗浄		
	11:55	図書室にてまとめ、子どもだけで川に行かないよう念押し		
	12:00	終了、解散		
配付資料	・やくそくをまもって、かわでたのしくあそぼう：近畿地整 河川部水政課 ・川あそびは楽しいけれどこんなところでは遊ばないで：近畿地整 河川部水政課			
関係機関からの支援内容	レンジャー事務局：物品貸与、資料印刷 枚方土木事務所：河川データの提供（水位・河川カメラの映像）			

河川レンジャーの活動内容	準　備	資料の作成、物品受取、下見、雨天対応の協議連絡
	当　日	解説、安全管理、生物捕獲指導
	事　後	物品返却、各所御礼
参加者からの意見		・船橋川に普段から降りれたらいいなと思った。階段とかがあると嬉しいです。 ・いろんな川魚を初めてみたけど、キラキラしてきれいで好きになった。 ・川に降りて遊べるような広場があれば良いと思う。 ・普段はほとんど水が無いのに、たくさん生物が捕れてびっくりした。 ・すごく大きなカメが見つかったけど、外来種で簡単には飼えないんだなと思った。 ・イシガメという日本のカメがいたので船橋川をすごいと思えた。 ・毎年楽しみに来てるけど、今年は自分でも捕まえることが出来たので一番楽しかった！船橋川が好きになった。 ・普段は危ないから入っちゃだめといわれるけど、何が危なくて、どう気を付ければ楽しめるのかがよくわかりました。 ・条件付き特定外来種というのがいて、それがよく知ってるザリガニやアカミミガメで、飼っても良いけど絶対に自然に放しちゃいけないということを聞いて、そうなんだ気を付けようと思いました。 ・毎年ありがとうございます。子どもたちが遊ぶ、川の原風景をこれからも残していってほしいです。

活動状況



今回の活動説明



船橋川へ移動し生物採取



網を使って生き物の捕獲



生物の同定と解説

3.52 大阪高齢者大学校　防災講演「マイ・タイムライン」　・令和７年７月４日（金）

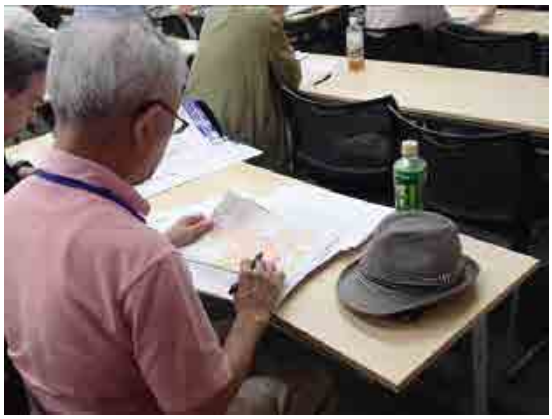
実施状況

活動名	大阪高齢者大学校 防災講演「マイ・タイムライン」			
氏名	山口　遼太（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年７月４日（金）			
実施場所	大阪府助産師会館 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		45名	
	内訳	参加者	42名	大人42名
		講師	ー	
		スタッフ	2名	ディレクター、アドバイザー
		市民団体等	ー	
		行政機関	ー	
		学校関係	ー	
		淀川河川事務所	ー	
		河川レンジャー事務局	1名	

スケジュール	13:30	開始 自己紹介（河川レンジャーとは、役割、水害におけるソフト対策、河川レンジャーになるきっかけとなった水害の話） 住民が水害後にタイムラインの復旧を自ら短時間で行われたことからの学び＝常に備えておくことの重要性を学んだ体験談
	13:45	ハザードマップで地域のリスクを調べよう Y市のハザードマップで見方を学ぼう・・浸水深の調べ方、避難ルートの確認（アンダーパスなどの注意事項）、避難所マーク 受講生の居住地域のハザードマップで自身の地域のリスク・最寄りの避難所を調べる
	14:00	避難パターンをフローで調べる
	14:05	行動表（マイ・タイムライン）を個人で作る
	14:35	グループディスカッション（4～5人のグループに） マイ・タイムラインを作成して気づいたこと、シール以外の行動などを4グループに分かれて話し合う ⇒ 全体でグループごとに話し合った内容をシェア
	14:50	まとめ
	15:00	終了
配付資料		マイ・タイムラインシート・シール、Y市ハザードマップ、レジュメ
関係機関からの支援内容		事務局　マイ・タイムラインシート・シール、Y市ハザードマップ
河川レンジャーの活動内容	準　備	資料作成、メールでの打合せ、物品申請
	当　日	事前準備、解説、進行、安全管理、事後撤収
	事　後	各所お礼、報告書類作成

参加者からの意見	・ハザードマップを確認でき、マイ・タイムラインを作成できたのがよかったです。 ・マイ・タイムラインを作成することにより改めて災害に備えることの必要性を感じた。 ・普段気づかない危険な場所がわかっていなかった。 ・マンションと戸建や浸水域とそうでない地域により対応が異なるが、事前に対策を考えたい。 ・マイ・タイムラインを実際に考える事で自分の避難行動が明らかにする事ができました。 ・実際の防災行動について改めて認識する事ができました。 ・日ごろあまり意識しなかった“災害発生時の対応”を再認識しました。 ・災害に対する実際の行動を自分で自分を守るシミュレーションできたのは良かった。 ・ハザードマップ、区役所から配られてきたままになっていましたが、今回初めて開きました。 ・日ごろあまり考えることが無かった身の回りの防災を考え、大変有意義でした。 ・家族でマイ・タイムラインを作成したい。勉強になった。 ・災害情報をいかに正確に早く入手できるのか？対応は自助第一、共助も大事！ ・日頃から避難等の意識がなく、これから必要最低限の準備を心掛けたいと思いました。 ・具体的な行動の心づもりが平素から要るのだと認識しました。 ・今迄考えたこともなかったマイ・タイムラインについて、考える機会が有益だったと思います。

活動状況



ハザードマップで調べる



マイ・タイムラインの作成



グループワーク



質疑応答

3.53 寝屋川市立三井小学校５・６年生　水辺の安全　出前授業　　・令和７年７月８日（火）

実施状況

活動名	寝屋川市立三井小学校５・６年生　水辺の安全　出前授業			
氏　　名	山口　遼太（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年７月８日（火）			
実施場所	寝屋川市立三井小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		84 名	
	内訳	参加者	76 名	5･6 年生 76 名
		講師	―	
		スタッフ	3 名	岡村 R、白川 R、波戸 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	5 名	教員 5 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	

スケジュール	09:35	授業開始、児童移動・活動準備
	09:50	自己紹介、今日覚えて欲しい３つのこと
	10:00	服を着た状態で水に入って動きやすさの違いを確かめる
	10:15	背浮きの体験
	10:20	＜給水休憩＞
	10:25	浮力体（ペットボトル）があるとどう違うかの体験
	10:35	溺れている人を助ける方法の説明・実演
	10:40	＜給水休憩＞
	10:45	ライフジャケットの着用方法
	10:50	ライフジャケットを着けて浮かぶ
	10:55	ライフジャケットの浮力や動きやすさを確かめる（自由時間）
	11:05	授業のまとめ
	11:10	終了

配付資料		水辺の安全リーフレット、アンケート QR
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：物品貸与、資料印刷
河川レンジャーの活動内容	準　備	学校との打合せ、現地下見、物品申請、資料作成
	当　日	物品運搬、最終確認、事後撤収作業
	事　後	書類作成、アンケート集計、関係各所御礼

参加者からの意見	・ライフジャケットを初めて着た。大事さがよく分かった。 ・教えてくれる人のせつめいがわかりやすかった！ ・海や川に行くときはライフジャケットを持っておいた方が良いという事が更に深まりました。 ・ペットボトルが溺れたときにあんなふうに使えるなんてびっくりした！ ・服が重く感じたしライフジャケットを初めてきて楽しかった！ ・服を着て入水することや、ペットボトルで浮くことは授業で体験した事があったけれど、ライフジャケットを着て水に浮く体験は初めてだったので、想像以上に浮いて驚きました。今回の授業で学んだ正しい救助方法をこれからもしっかり覚えておきたいです。 ・ライフジャケットの重要性がもっとわかった。 ・自分や他人の安全を守る大切な機会を頂けてとても嬉しかった。 ・ペットボトルより思った以上に浮いたからびっくりした。 ・川や海に行くときはライフジャケットを着ようと思いました。誰かが溺れたときに自分のできることをしようと思いました。 ・冬に川に溺れてしまうと服が重いので、川には気をつけようと思いました。ライフジャッケットはペットボトルとかより、安心ができるのですごくいいものだなと思いました。 ・ペットボトルって思っていたより浮くんだなとを思った。 ・泳ぐのがすごく上手かった。 ・水の近くで遊ぶ時はライフジャケットを着て、気をつけながら遊ぼうと思った。

活動状況



着衣泳と背浮きの解説



浮力体を使用した救助の実演



ライフジャケットを着た際の浮き方解説



PFD を着た状態での動きに慣れさせる

3.54 守口市立藤田小学校６年生　水辺の安全　出前授業　　・令和７年７月９日（水）

実施状況

活動名	守口市立藤田小学校６年生　水辺の安全　出前授業			
氏　　名	山口　遼太（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年７月９日（水）			
実施場所	守口市立藤田小学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		71名	
	内訳	参加者	62名	6年生62名
		講師	―	
		スタッフ	3名	岡村R、小林R、波戸R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	6名	教員6名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	10:50	授業開始、児童移動・活動準備		
	11:00	自己紹介、今日覚えて欲しい３つのこと		
	11:05	服を着た状態で水に入って動きやすさの違いを確かめる		
	11:20	背浮きの体験		
	11:25	＜給水休憩＞		
	11:30	浮力体（ペットボトル）があるとどう違うかの体験		
	11:35	溺れている人を助ける方法の説明・実演		
	11:40	＜給水休憩＞		
	11:45	ライフジャケットの着用方法		
	11:50	ライフジャケットを着けて浮かぶ		
	11:55	ライフジャケットの浮力や動きやすさを確かめる（自由時間）		
	12:05	授業のまとめ		
	12:10	終了		
配付資料		水辺の安全リーフレット、アンケートQR		
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：物品貸与、資料印刷		
河川レンジャーの活動内容	準　備	学校との打合せ、現地下見、物品申請、資料作成		
	当　日	物品運搬、最終確認、事後撤収作業		
	事　後	書類作成、アンケート集計、関係各所御礼		
参加者からの意見		・川は浅そうに見えても、中は危ないかもしれない。 ・川の危険性、対処方法などがすごく分かりやすかった。 ・ライフジャケットは川の浅いところでも家族につけられて勝手に外していることもあったけど、これからはちゃんとライフジャケットをつけようと思った。		

	・ライフジャケットがこんなに水に浮かぶとは思わなかった。(水の力怖いと思った) ・水に溺れたら命に関わることだと思った。 ・川は浅いとこでも危険というのがわかった。 ・ポッポ（波戸 R）が簡単に動けていてすごいと思った。俺も浮きたい! ・ライフジャケットは溺れなくて便利だけれど、たとえば川に遊びに行く時にライフジャケットを着たら、動きにくくて十分に楽しめない気がする。 ・海や川には行ったことはないけど、行く時にはライフジャケットや色々なものがいることがわかった。 ・ライフジャケットの安心感があったし、ライフジャケットを着ているからと言って調子に乗らないことも知った。 ・ペットボトル一本だけでうけて、ペットボトル一本で命を救えるんだと思った。 ・空のペットボトルを投げたときはそんなに飛ばなくて、でもちょっと水を入れたときは空のペットボトルよりも遠く飛ぶことがわかりました。 ・ロープは浮くやつの方が石などに絡まない！ ・普通の服では溺れやすいことや、ライフジャケットのありがたみを知った。 ・海や川などの深いところには、何か溺れないように対策をしてから入ろうと思う。 ・川や海などに溺れたらどうすれば良いかを学習することができました。溺れている人がいたら浮くもの、ペットボトルなどを投げて体を守ったり、溺れている人の今の状態を聞き出すことなどが今日の勉強でとても大切と思ったところです。 ・夏休みに川や海などに行く人がいると思います。今日の勉強をもう 1 度振り返り、お家の人に今日あったことなどを言い合うのも良いなと思いました。今日の勉強を踏まえて夏休みを楽しみたいと思いました。

活動状況



今日学ぶ 3 つのポイントを解説



服を着て水に入った際の動きにくさを体験



ペットボトルを投げて救助する方法を実演



ライフジャケットを着た際の浮き方を体験

4　高槻出張所管内

○杉本　真一（14 期生：5 年目）

4.1 高槻ジュニア河川レンジャー　川の安全ウォーク活動　　・令和７年４月６日（日）

実施状況

活 動 名	高槻ジュニア河川レンジャー			
氏　　名	杉本　真一（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年４月６日（日）			
実施場所				
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		20 名	
	内訳	参加者	17 名	大人 5 名、子ども 12 名
		講師	―	
		スタッフ	3 名	一般ボランティア
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	10:00	集合（受付）、開会　活動説明と安全上の注意		
	10:10	活動開始：JR 高槻駅出発、芥川橋から芥川を北上		
	10:35	芥川桜堤公園：安全な川遊びについての説明		
	11:05	名神高速道路下（休憩）		
	11:20	芥川緑地公園（あくあぴあ芥川）：トイレ休憩		
	11:30	芥川緑地公園上流：芥川の川に住む魚、安全な川遊びについて注意喚起		
	11:40	西之川原橋下流：警報サイレンについての説明		
	11:50	塚脇橋到着：ふりかえり、講評		
	12:00	活動終了、解散		
配付資料	―			
関係機関からの支援内容	【レンジャー事務局】 レンジャーのぼり（小旗）			
河川レンジャーの活動内容	準　備	事前下見（3/31 実施）、参加者への連絡		
	当　日	プログラムの実施、安全確認		
	事　後	活動記録の作成、参加者ふりかえりのとりまとめ		

参加者からの意見	・上流に行くほど川の石がおおきくなっていた。 ・川の水がきれいだった。 ・たくさんあるいて、つかれた。 ・家族であそびにいきたいと思います。 ・雨の時は川にはいかないようにする。 ・サイレンがあって安心しました。

活動状況



警報サイレンの説明（芥川桜堤公園）



河川観察（芥川桜堤公園）



移動の様子（門前橋付近）



川の生き物マップ紹介（あくあぴあ芥川）

4.2 いまむらこどもえん　鵜殿のヨシで学ぼう！遊ぼう！！　　・令和７年４月１９日（土）

実施状況

活動名	いまむらこどもえん鵜殿のヨシで学ぼう！遊ぼう！！　～川の学習会（川スタ）～			
氏　　名	杉本　真一（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年４月 19 日（土）			
実施場所				
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		25 名	
	内訳	参加者	22 名	大人 10 名、子ども 12 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	2 名	幼稚園教諭、園長
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:00	開始　自己紹介（河川レンジャーの紹介） ヨシのお話（写真紙芝居） 高槻市の鵜殿に大きなヨシ原がある ヨシ原にはいろんな役割がある（川の水をきれいにする、いきもののすみか、護岸） ヨシ原の一年、ヨシは生活の中で使われている 篳篥（ひちりき）ってどんな笛か、みてみよう（篳篥を回してみてもらう）		
	10:40	質疑応答		
	10:45	ヨシ笛をつくろう ヨシを切断する→ヨシの掃除をする⇒リードを作って取り付ける⇒吹いて音が出るか調整するを親子で体験		
	11:25	出来上がったヨシ笛で、みんなで合奏しよう　カエルの歌の合奏		
	11:40	終了		
配付資料		ヨシ笛の作り方、淀川発見講座チラシ		
関係機関からの支援内容		「ヨシってすごい」紙芝居、ヨシ笛		
河川レンジャーの活動内容	準　備	いまむらこどもえんとの打合せ		
	当　日	上記スケジュールの内容		
	事　後	活動のとりまとめ 関係機関への挨拶		
参加者からの意見		・ヨシはどうやって増えるの⇒花も咲くけど、地下茎が伸びて増える。 ・笛を作るヨシは青いときにとっても大丈夫？⇒1 月に刈ったものを使います（枯れて茶色になって乾燥した状態のもの） ・ノコギリを使うのが初めてだった。親子でいっしょに学べてよかった。 ・リードを付けるのがむずかしかったけど、楽しかった。		

活動状況



ヨシの働きを説明



ヨシ笛の作り方説明



ヨシ笛の作成



ヨシ笛吹けた

4.3 摂津市水辺の生き物観察会　　・令和７年７月２５日（金）

実施状況

活 動 名	摂津市水辺の生き物観察会
氏　　名	杉本　真一（高槻出張所管内河川レンジャー）
運営形態	共催（団体名：摂津市環境政策課）
活 動 日	令和７年７月 25 日（金）
実施場所	あくあぴあ芥川前の芥川右岸（芥川緑地公園）



参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		49 名	
	内訳	参加者	43 名	大人 16 名、子ども 27 名
		講師	1 名	河合氏（環境省希少野生動植物種保存推進員）
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	4 名	摂津市環境政策課
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	10:00	開始
		・摂津市環境政策課 課長代理より挨拶及び紹介
		・杉本 R による挨拶、あくあぴあ芥川学芸員紹介
	10:15	・現地での杉本 R による注意事項及びセーフティートーク
		川の安全のはなし（ライフジャケットの装着説明）
	10:30	・講師の河合氏及び綾氏（一般参加）の紹介
		・河合氏による芥川の説明、魚の取り方の説明（河合氏、投網の実演）
	10:45	・魚とりの開始
	11:10	・休憩
	11:20	・魚とりの再開
	11:45	・河合氏による魚合わせ
	12:00	・着替え・昼食
	13:00	・あくあぴあ芥川学芸員による博物館の展示説明
	13:15	・あくあぴあ芥川での展示物の自由見学
	13:45	・アンケート記入（3F 多目的ホール）
	14:00	終了（閉会挨拶）
配付資料		アンケート用紙（保護者用・子供用） あくあぴあ芥川リーフレット、環境政策課啓発用クリアファイル

関係機関からの 支援内容		【摂津市】参加者募集、マイクロバス借上げ、テント、ブルーシート、参加者飲料の提供 【あくあぴあ芥川】3F 多目的ホールの借用、館内見学説明 【中央流域センター】活動支援物品の借用、参加者ふりかえりシートの印刷
河川レンジャーの活動内容	準　備	4/24 摂津市環境政策課との打合せ 7/4 現地下見（あくあぴあ芥川との打合せ）摂津市同行 7/19 現地下見（最終） 支援物品の借用
	当　日	活動の実施 安全管理
	事　後	支援物品の返却、河合氏の資材搬送 活動のとりまとめ
参加者からの意見		【子ども】 ・さかなをとるのがたのしかった ・また行きたい ・川の生き物についてよくしれた ・いろんな生き物をかんさつでき勉強になりました ・川を大切にしようと思った 【大人】 ・子どもたちが興味をもって楽しんでいたのでよかったです ・安全に川遊びができ楽しめました ・先生の説明がわかりやすく勉強になりました ・オイカワがきれいで感動しました

活動状況



生き物観察



魚とり



河合先生による投網打ち



河合先生による魚合わせ

4.4 高槻ジュニア河川レンジャー　　・令和７年９月１４日（日）

実施状況

活 動 名	高槻ジュニア河川レンジャー			
氏　　名	杉本　真一（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年９月 14 日（日）			
実施場所	高槻市総合センター1F 展示ホール 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		35 名	
	内訳	参加者	34 名	大人 23 名、子ども 11 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	14:00	開始 あいさつ ・写真、洪水シミュレーション動画による高槻の洪水時の説明、避難 ・家庭でできる洪水対策の説明 ・子どもたちから「避難する時に持っていく物」の発表		
	14:30	終了		
配付資料		・子ども用ワークシート		
関係機関からの支援内容		【高槻市】プロジェクター一式（PC） 【高槻市市民公益活動サポートセンター】発表ステージエリアの提供		
河川レンジャーの活動内容	準　備	・高槻市市民公益活動サポートセンターのイベント打合せ会へ参加 ・現地下見		
	当　日	・参加者受付 ・活動の実施（安全管理）		
	事　後	・関係機関への挨拶 ・活動結果のとりまとめ		
参加者からの意見		・こうずいがきたらあわてないようにしようと思った。 ・水にのみこまれないように早くにげます。 ・ちゃんとしらべて逃げるようにします。 ・高いところへひなんするようにしたい。 ・てんきよほうをしっかりかくにんします。 【大人】 ・とてもわかりやすく事前に調べておきたいと思います。 ・洪水のこわさがわかりました。		

活動状況



あいさつ



洪水シミュレーション動画での説明



子供への質問



説明状況

4.5 秋のワンドでいきものさがし　　・令和７年１１月８日（土）

実施状況

活 動 名	第 11 回流域治水・川づくりプロジェクト in 鳥飼地区　秋のワンドでいきものさがし			
氏　　名	杉本　真一（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	共催（団体名：摂津市）			
活動日	令和 7 年 11 月 8 日（土）			
実施場所	鳥飼ワンド  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		37 名	
	内訳	参加者	16 名	
		講師	1 名	河合氏
		スタッフ	15 名	酒井 RA（指導員）、奥山 R、波戸 R、西畑 R、他 1 名 大阪成蹊大学　学生 9 名、教員 1 名
		市民団体等	―	
		行政機関	3 名	摂津市政策推進課
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	2 名	
スケジュール	10:00	開始 活動ルール、注意事項説明		
	10:10	鳥飼ワンドの紹介、クイズ（大阪成蹊大学　学生）		
	10:15	ワンド周辺の動植物観察（河合氏による案内、生き物の解説）		
		休憩		
	11:00	レンジャー活動等の紹介 外来種問題について（河合氏）、クイズ（大阪成蹊大学　学生） ワンドの成り立ち、鳥飼ワンドの現状を説明（河合氏） 摂津市まちづくりの取り組み紹介		
	11:10	投網による生き物調査・採取した生き物の解説（河合氏）		
	12:00	アンケート		
	12:10	終了（終了後、レンジャーによる定点写真撮影調査、生物調査を実施）		
配付資料		・淀川の環境を学ぼう（講師作成） ・参加者アンケート		
関係機関からの支援内容		【高槻出張所】鎌、のこぎり（下見作業用） 【中央流域センター】テント、生き物観察用資材（ﾌﾟﾗｹｰｽ大、ｴｱﾎﾟﾝﾌﾟ他）、 活動紹介パネル→鳥飼ワンド紹介、講師用パネル、ライフジャケット他		

河川レンジャーの活動内容	準　備	下見調査　計 2 回実施 実施日：10 月 22 日 14:00～17:00　ワンドへの動線及び活動場所確認 11 月 06 日 14:00～16:30　下見・活動場所の草刈り 支援物品の受取
	当　日	設営、活動実施、安全管理、ワンドのモニタリング調査（定点写真撮影、生物調査）
	事　後	支援物品の返却、活動のとりまとめ ワンドのモニタリング調査報告書の作成（定点写真撮影、生物調査）
参加者からの意見		・植物について、いろいろお話をきけてたのしかった。 ・知らないことを沢山聞けたし、子供にとっても良い経験でした。 ・クイズで子どもたちが楽しそうに考え、答えてくれて、よかった。 ・子どもたちが楽しそうに生き物を観察していて、良いなと思った。 ・地元なのですが、知らない事ばかりで、親子で発見が楽しかったです。 ・植物、バッタ、魚など子供たちが実際に見て、触れることができ、良い刺激になったと思います。 ・鳥飼ワンドの生物だけでなく、植物の知識も知ることができ、河川ギリギリな場所まで行くことができ、楽しく過ごすことができました。 ・短時間でワンドについて、体験をもとに教えてくれたのが楽しかったです。 ・植物の知識をたくさん身につけることができて良かったです。投網を使っているところも初めて見ました。 ・ワンドは普段、草におおわれていて、危ないイメージでした（ホームレス、野犬、外国人グループ）。今日は、みなさんと安全にお散歩できて、良かったです。 ・とてもくわしい解説で興味がわきました。子どもも興味をもって参加することができました。 ・スタッフの皆さん、学生の皆さんが子供たちに優しく接してくれて、安心して最後まで楽しく過ごすことができました。

活動状況



開会



ワンド内の植物について説明



ワンドに関するクイズ



ワンドで採取した生き物の観察

4.6 川の学習会（川スタ）～防災教室 in 三箇牧小学校～・令和７年１２月８日（月）

実施状況

活 動 名	川の学習会（川スタ）～防災教室 in 三箇牧小学校～			
氏　　名	杉本　真一（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 12 月 8 日（月）			
実施場所	高槻市立三箇牧小学校～淀川右岸 24.0k～淀川築堤・修堤記念碑  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		34 名	
	内訳	参加者	30 名	3 年生 30 名
		講師	－	
		スタッフ	－	
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	2 名	教諭
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	2 名	

スケジュール

8:45	開会（高槻市立三箇牧小学校　中庭）
	挨拶・自己紹介・安全上の注意事項説明（杉本 R）
8:50	淀川フィールドワーク開始
	校舎に設置された想定浸水深標識を確認
	神峯山寺への道標の案内
	距離標や左右岸について説明（淀川右岸 24.0k 地点）
	三箇牧揚水機場の役割
9:15	淀川築堤・修堤記念碑を見学
9:30	帰校・休憩
9:40	防災教室（座学・三箇牧小学校　視聴覚室）
	テーマ「三箇牧の防災について学ぶ」
	・これまでの洪水を知る（淀川築堤・修堤記念碑、明治に起きた主な洪水年表）
	昭和 28 年台風 13 号、平成 25 年台風 18 号の三箇牧小学校周辺の出水写真
	・もし高槻で豪雨災害が起きたら（CG 写真）
	・自分たちの住んでいるところはどんなとこ？（近隣河川、地形と標高）
	・ハザードマップで調べてみよう！（浸水の深さの目安）
	・どうして水害が起きるの？（外水氾濫、内水氾濫）
	・避難するとき何を持っていく？
	・ふりかえり（緊急避難場所、避難所、大雨警戒レベル、洪水で気をつけること）
	（ワークシートへの記入や質疑応答を行いながら進行）
	・「みんなで気をつけること」
	→水路や川へは一人で行かない、川で遊ぶときは大人と行く、自分の命は自分で守る
	・高層マンション在住でも気をつけること
	・全員避難が出ていなくても早めに安全な場所へ避難するなど気をつけることが大切
10:25	終了

配付資料		・川の学習会（川スタ）ワークシート ・高槻市ハザードマップ（三箇牧小学校区抜粋） ・ふりかえりシート
関係機関からの支援内容		【中央流域センター】配布資料の印刷 【三箇牧小学校】PC、プロジェクター一式借用
河川レンジャーの活動内容	準　備	・事前打合せ、支援物品の受取（印刷物）　・現地下見
	当　日	・活動の実施　・安全管理
	事　後	・活動のとりまとめ
参加者からの意見		・川のれきしがわかってよかった。 ・家族にもつたえたいと思いました。 ・こう水はこわいことがわかった。 ・ひなんする時にもっていくものがわかった。 ・淀川のことをもっとしりたいと思った。

活動状況



校舎に設置された想定浸水深標識を確認



距離標について学ぶ（R24.0k）



これまでの洪水を知る



住んでいる場所の浸水深を調べよう

4.7 いまむらこどもえん かんきょうお話し会(鵜殿見学)・令和８年１月１９日（月）

実施状況

活 動 名	いまむらこどもえん かんきょうお話し会(鵜殿見学)			
氏　　名	杉本　真一（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和８年１月 19 日（月）			
実施場所	鵜殿  			
参加人数および団体名(人数の右欄)	参加総数		66 名	
	内訳	参加者	54 名	園児(6 歳児)54 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	11 名	幼稚園教諭、園長、理事長
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	9:20	開始　自己紹介(河川レンジャーの紹介) 安全注意(車の往来、横断) (法面階段に移動)ヨシ原をみてみよう
	9:30	ヨシのお話(写真紙芝居)
	9:50	質疑応答 ヨシ原の観察 ヨシの仲間のセイタカヨシにさわってみよう
	10:05	終了 休憩(園バス移動で昼休憩をはさみ、午後、別のクラスが到着)
	10:50	開始（午前と同じ）
	11:30	終了
配付資料		―
関係機関からの支援内容		【高槻出張所】緊急用道路車両通行許可証（ゲート鍵） 【中央流域センター】 「ヨシってすごい」紙芝居、小型スピーカーマイク、Ｒのぼり・小旗
河川レンジャーの活動内容	準　備	・いまむらこどもえんとの打合せ ・現地下見（安全確認と見学ポイント確認） ・高槻出張所との見学会実施時期の調整（鵜殿工事関係）、緊急用道路届け出、許可証の授受 ・支援物品の受取
	当　日	・現地設営（のぼり設置）　・ゲート待機/誘導（徐行） ・活動の実施（こどもえんと安全管理）
	事　後	・支援物品の返却　・活動のとりまとめ ・関係機関への挨拶

参加者からの意見	・ヨシはなぜ背が高くなるの? ⇒ 根っこがしっかり張っているからかな? ・ヨシは川の水をきれいにするけど川を汚しちゃいけないの(ヨシがきれいにしてくれるんじゃないの?) ⇒ ヨシはみんなが使ったお水をきれいにしてくれるけど、ものすごく汚い水だったらヨシも生きていけない。水を汚さないようにしようね。 ・カヤネズミってちっちゃい。 ・ヨシが高いからすごかった（セイタカヨシ） ・バスの中で事前学習（鵜殿のヨシで作られた紙(卒園証書)を見せる）をしました。

活動状況



ヨシの働きを説明



ヨシとオギの違いをみてみよう



セイタカヨシをさわってみよう



カヤネズミの大きさを見てみよう

4.8 川の学習会（川スタ）環境教室４年生　　・令和８年１月２３日（金）

実施状況

活 動 名	川の学習会（川スタ）環境教室　～水はどこからやってくる？～			
氏　　名	杉本　真一（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活 動 日	令和８年１月 23 日（金）			
実施場所	高槻市立三箇牧小学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		28 名	
	内訳	参加者	23 名	4 年生 23 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	4 名	教諭 4 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	14：45	開始 杉本 R による自己紹介 パワーポイントによる淀川の説明 ・淀川とはどんな川かについての話し ・ワンドの成り立ちについて 淀川の環境の話（以下の内容） ・天然記念物のイタセンパラ、アユモドキの話し ・ヨシの話し ・外来種（植物・魚）の話し ・淀川の利水と水質の話し ・ゴミの清掃の話し ・マイクロプラスチックの話し		
	15：30	終了		
配付資料		・淀川のワンドにいってみよう（冊子） ・ふりかえりシート		
関係機関からの支援内容		【中央流域センター】冊子「ワンドにいってみよう」の提供、資料の印刷 【三箇牧小学校】PC、プロジェクターの提供（USB 持参）		

河川レンジャーの活動内容	準　備	・三箇牧小学校との打合せ ・安全確認
	当　日	・講座準備（設営） ・活動の実施
	事　後	・活動のとりまとめ ・関係機関への挨拶
参加者からの意見		・淀川にはいろんないきものがいてびっくりした。 ・川をたいせつにしようとおもいました。 ・生き物が住める川になってほしいと思いました。 ・水をたいせつにしようと思った。 ・淀川のことがわかりました。

活動状況



淀川水系のお話し


学習をうける児童



画像による生き物紹介


質問に答える児童

4.9 たかつき川の学習会 三箇牧小学校環境教室(生活科)・令和８年２月５日（木）

実施状況

活 動 名	たかつき川の学習会 高槻市立三箇牧小学校環境教室（生活科）～淀川のいきものを知ろう～			
氏　　名	杉本　真一（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和８年２月５日（木）			
実施場所	高槻市立三箇牧小学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		27 名	
	内訳	参加者	25 名	2 年生 25 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	1 名	教諭
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	9:40 9:50 10:00 10:10 10:13 10:17 10:30	開始　自己紹介(河川レンジャーの紹介) 淀川の川の成り立ち(琵琶湖から瀬田川を通って宇治川、三川合流、大阪湾) 淀川の生きものの紹介 淀川のシンボルフィッシュ　イタセンパラの紹介 なぜイタセンパラが少なくなったのか考えてみよう ワンドが生き物の宝庫(魚類、貝類などの紹介) ヨシの話(ヨシの働き、川の浄化、洪水時に岸を守る、いきもののすみか) 外来種の話(外国から持ってこられた生き物、持ち帰ったり、飼育したりしてはダメ) 川には危ないところがある　川の安全クイズ まとめ 川で安全に遊ぶためには、どうしたらいい？ 淀川がどんな川であってほしい？ を考え、発表（交流） 絵本「川」で上流～下流の川の変化を見て終了		
配付資料		冊子「ワンドに行ってみよう！」 ふりかえりシート（アンケート）		
関係機関からの支援内容		【三箇牧小学校】PC、プロジェクターの提供（USB 持参）		
河川レンジャーの活動内容	準　備	三箇牧小学校との打合せ、実施場所の確認		
	当　日	講座準備（設営）、活動の実施（安全管理）		
	事　後	活動のとりまとめ、関係機関への挨拶		

参加者からの意見	□川で遊ぶ時に注意することはどんなことですか ・ゴーグルと浮袋を用意する ・底の見えるところで遊ぶ ・大人の人と行く □どんな川であってほしいですか ・魚が魚を食べない川(外来種がいない川) ・きれいな川 □その他 ・生きものをたいせつにしようと思います。 ・いろんな魚がいてびっくりした

活動状況



淀川の川の成り立ち解説



淀川のいきものの学習



川の安全クイズ



ふりかえり

○竹本　克巳（16 期生：3 年目）

4.10 春の淀川・桜の玉川を歩く　　・令和７年４月４日（金）

実施状況

活 動 名	春の淀川・桜の玉川を歩く（淀川フィールドワーク）			
氏　　名	竹本　克巳（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	共催（団体名：高槻市立三箇牧公民館）			
活動日	令和７年４月４日（金）　（雨天のため 4/2 から延期）			
実施場所	三箇牧公民館、三島江野草地区、三島鴨神社、東仙寺、番田川桜堤、芭蕉句碑、玉川の里  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		18 名	
	内訳	参加者	15 名	大人 15 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	―	
		行政機関	2 名	高槻市立三箇牧公民館
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	

スケジュール	
10:00	開始・挨拶・注意事項
10:20	三島江浜跡・三島江河川敷公園野草地区
10:45	三島鴨神社
11:00	東仙寺
11:20	西之川公園北広場・番田川桜堤
11:45	芭蕉句碑・玉川の里
12:00	質疑応答・挨拶・アンケート回収・終了・解散

配付資料		№70 レンジャーニュース、淀川発見講座チラシ、案内資料、歩行コース、アンケート
関係機関からの支援内容		№70 レンジャーニュース、淀川発見講座チラシ、案内資料（印刷）、歩行コース（印刷）、アンケート（印刷）
河川レンジャーの活動内容	準　備	公民館と打ち合わせ、案内資料作成、神社と寺に挨拶、事務局に貸与品借用
	当　日	実施（雨天のため 2 日から 4 日に延期）
	事　後	公民館等に挨拶、アンケート回収、事務局に貸与品返却

参加者からの意見	・初めて淀川沿いを歩き、三島江浜跡、野草地区など新たな発見をした。 ・雨で順延して良かった。春を感じることができた。 ・桜堤の桜並木を歩き、春を直観できた。丁寧な説明が良かった。 ・歴史が好きなので興味がある。 ・今回のような短距離のウォーキングであれば参加させて頂きたい。 ・近場で時々催して頂きたい。 ・卯の花もコスモスの時期も企画してください。 ・淀川のことを知れて良かった。

活動状況



淀川　河川敷公園野草地区の案内



三島鴨神社の説明



番田川　西之川公園北広場の案内



玉川の里　芭蕉句碑の説明

4.11 地域を流れる淀川と水防災　　・令和７年７月２７日（日）

実施状況

活 動 名	地域を流れる淀川と水防災			
氏　　名	竹本　克巳（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	共催（団体名：高槻市柱本自主防災会）			
活動日	令和７年７月 27 日（日）			
実施場所	大阪府高槻市　柱本公民館 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		25 名	
	内訳	参加者	―	
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	22 名	柱本自主防災会会員及び自治会員
		行政機関	2 名	高槻市都市創造部下水河川企画課
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	10:00	開始。自主防災会会長から、本日二部構成で開催する案内。
	10:05	（第一部）高槻市より「備えて安心！水害対策」について 高槻市ハザードマップについて、プロジェクター、ビデオを使用して説明 ※安威川ダムが完成したことから、浸水想定区域の変更点について説明。 合い言葉は、「はにたんにげます」
	10:35	質問応答。アンケート記入・回収
	10:45	（第二部）竹本 R「地域を流れる淀川と水防災」について 河川レンジャー全般の活動紹介後、プロジェクター（配付資料あり）を使用して説明。地域の地勢や浸水対策と淀川の特徴と治水対策など
	11:20	質問応答。アンケート記入・回収
	11:45	終了
配付資料		ハザードマップ抜粋（外水はん濫、内水はん濫）、緊急避難場所・避難所（三箇牧地区）、令和７年度事業概要（淀川河川事務所）、地域を流れる淀川と水防災（説明資料）、河川レンジャーＮＥＷＳ2025 夏号#71、古代から現代までの淀川の歴史（淀川資料館）、流域治水プロジェクト／河川レンジャーが行う防災活動、淀川の氾濫に備えて（高槻市）、ハザードマップ一部更新版、川を安全に利用するために レンジャーアンケート、出前講座アンケート
関係機関からの支援内容		プロジェクター、資料の印刷（中央流域センター） 古代から現代までの淀川の歴史（淀川資料館）、淀川の氾濫に備えて（高槻市）ほか
河川レンジャーの活動内容	準　備	主催者との講演内容・時間等の調整、高槻市との内容調整、資料作成
	当　日	会場設営、進行打合せ、片付け
	事　後	報告書作成、アンケート取りまとめ、高槻市への挨拶、出張所への質問報告 一部配布資料の差替え分持参（防災会会長へ）

参加者からの意見	・河川敷の樹木を５年ほど前に伐採されましたが、効果は？また継続されるのですか？ ・今回のような防災学習の機会をお願いします。 ・初めて参加して勉強になった。 ・とても分かりやすくて良かった。 ・治水のために大きく改良工事がされたことを知らなかった。 ・内水はん濫が多いのだと実感した。淀川が決壊したら恐ろしい。 ・子どもにも聞かせたかった。過去の災害が知れた。歴史がわかった。 ・過去の災害の様子がわかった。（資料が良かった） ・地域のことがわかりやすく理解できた。 （高槻市へ） ・自治会長として、心構えとして時間降雨量が何ミリとなったら、下水から逆流が始まるのか知っておきたい。 （高槻出張所へ） ・降雨後に堤防裏法尻の石積みから染み出しが道路舗装面を流れている。心配なので現地確認をして必要なら対策をして欲しい。（写真資料あり） ※当日、質問時に頂いた資料とアンケートを、28 日（月）出張所久保所長に報告と資料提出し、主催者の会長への回答を依頼した。

活動状況



高槻市によるハザードマップ説明



ハザードマップをスマホでも確認



カメラも持参しメモをとる参加者



プロジェクターを使用して解説

4.12 高槻市立上牧小学校「ヨシ原と生き物」出前授業 ・令和７年９月１６日（火）

実施状況

活 動 名	高槻市立上牧小学校「ヨシ原と生き物」出前授業			
氏　　名	竹本　克巳（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年９月 16 日（火）			
実施場所	高槻市立上牧小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		50 名	
	内訳	参加者	43 名	2 年生 43 名
		講師	－	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	5 名	教諭 3 名、校長、教頭
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール		
	9:50	開始 自己紹介～河川レンジャーの紹介 「うどののヨシをしろう」PPT の説明 ・鵜殿の場所、大きさ ・ヨシ原の一年(春～冬、ヨシ原野焼き) ・ヨシってすごい(いきもののすみかになっている、護岸、有機物の除去など) ・生活の中でのヨシの活用
	10:20	ヨシのフォトスタンドの作成 ・作り方の説明 ・フォトスタンドの枠の台紙を切る (休憩 15 分) ・ヨシを台紙に貼り付け、イーゼル型のスタンドを組み立てる
	11:30	今日のまとめ
	12:00	片付け、終了

配付資料		ヨシスタンドの作り方
関係機関からの支援内容		「うどののヨシをしろう」PPT 作成、ヨシクラフトの資材一式 最新のレンジャーニュース
河川レンジャーの活動内容	準　備	教諭との打ち合わせ(8/5)、メールでの打合せ 2 回
	当　日	ヨシ工作の実施、校長との面談（学校でのヨシを使った活動など）
	事　後	アンケートの回収
参加者からの意見		・台紙にヨシをボンドで貼るのに、ヨシがまっすぐじゃなくて難しかった。 ・輪ゴムでヨシをまとめるのが難しい。 ・接着剤が手につきはがしにくかった。 ・ほかのものもつくりたい。 ・難しかったが、レンジャーさんに手伝ってもらってできた。 ・ヨシ工作が楽しかった、またつぎも来てほしい。

	質疑内容・意見 ・ヨシはどんなものにつかわれていますか。 ・笛をつくりたい。 ・うどのでいろんな生き物をみつけたい。 ・ヨシ刈りをしてみたい。

活動状況



ヨシについてまなぼう



うどの の広さは?



ヨシをつかってフォトスタンドをつくろう



きょうのじゅぎょうのまとめ

4.13 防災体験学習（茨木市防災訓練出展）　　・令和７年９月２７日（土）

実施状況

活 動 名	防災体験学習（茨木市防災訓練出展）			
氏　　名	竹本　克巳（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 9 月 27 日（土）			
実施場所	茨木市立三島中学校グランド 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		146 名	防災訓練全体参加者約 300 名
	内訳	参加者	125 名	大人 85 名、子ども 40 名
		講師	―	
		スタッフ	10 名	奥山 R、竹本 R、土井 R、佐藤 P 茨木市防災士 6 名
		市民団体等	―	
		行政機関	10 名	茨木市長、茨木市消防署員、消防団員、茨木警察署員ほか
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	8:30	開会式（関係者）　主催者：茨木市危機管理課　挨拶
	9:00	茨木市　市民水害対策訓練　開始 浸水地歩行体験 ・活動趣旨と注意事項の説明(竹本 R) 紙芝居やパネルを使用して浸水地の危険性を説明 ・浸水地歩行体験（以下の要点を説明）（スタッフで分担） 大切なのは浸水前に避難を完了すること 冠水地を歩くときは、傘などを使って足元を必ず確認してから進む 長靴ではなく自分の足に合った履きなれた運動靴で避難 既に冠水が始まり避難するのが危険な時は、高い建物や上の階へ移動
	12:00	茨木市　市民水害対策訓練　終了 閉会式（関係者）　茨木市危機管理課　挨拶
	12:10	終了
配付資料		―
関係機関からの支援内容		事務局から浸水地歩行体験キット、長靴（大人用子ども用）、ハンドマイク、ビブス
河川レンジャーの活動内容	準　備	茨木市危機管理課と打合せ、前日一部資材持込と下見
	当　日	浸水地歩行体験実施、体験キット据付及び撤収
	事　後	事務局へ浸水地歩行体験キット等の返却
参加者からの意見		・濁った水の中を障害物や段差に注意して歩いてみて、思った以上に怖いことが分かった。 ・短い距離を歩くだけでも疲れた。 ・小さい子どもを二人連れて歩くことが無理だと実感した。 ・浸水地歩行の危険性を自治会の会合で紹介しようと思う。 ・河川レンジャーの存在や活動内容について初めて知った。 ・今後行われる地域の防災訓練等でも浸水地歩行体験をしてほしい。

活動状況



浸水地の危険性を説明



浸水地歩行体験



浸水地歩行体験（子どもの手を繋ぎ歩行）



浸水地歩行体験（消防団員による体験）

4.14 高槻市立上牧小学校「地域の川（よど川）と防災」・令和７年１２月３日（水）

実施状況

活 動 名	高槻市立上牧小学校「地域の川（よど川）と防災」出前授業			
氏　　名	竹本　克巳（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 12 月 3 日（水）			
実施場所	高槻市立上牧小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		42 名	
	内訳	参加者	37 名	4 年生 37 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	4 名	教諭 3 名、校長
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	10:50	開始 自己紹介～河川レンジャーの紹介
	10:55	環境（淀川と住んでいるところ）PPT の説明 ・どこに住んでいるのか(高槻市の地形) ・地域にある川の施設(五領揚水機場、玉子排水機場、雨水取口施設)
	11:20	淀川の生き物 ・ワンド・干潟(生き物のゆりかご)
	11:30	・鵜殿のヨシ原(いきもののすみかになっている、護岸、有機物の除去など) ・生活の中でのヨシの活用
	11:35	休憩
	11:40	ヨシ原の続き 水害(どんな水害があるか)
	11:45	・高槻市で起きた過去の水害 ・改修後の状況 ・先人の備え(木船、段倉)
	11:55	アンケート記入
	12:10	質疑応答、今日のまとめ
	12:25	終了

配付資料		ワンドにいってみよう、レンジャーニュース 72 号
関係機関からの支援内容		事務局：冊子「ワンドにいってみよう」「レンジャーニュース 72 号」の提供
河川レンジャーの活動内容	準　備	教諭との打ち合わせ(9/8, 9/25, 11/4)、メールでの打合せ、学校付近写真撮影
	当　日	出前授業実施
	事　後	アンケートの回収

参加者からの意見	意見 ・外来種が沢山いることを知りました。他にもヨシが岸をまもることを初めて知りました。木船や段倉等の取り組みがあることを初めて知った。 ・淀川は３つの川からできていることを初めて知った。 ・高槻でも内水はん濫が起きたことを初めて知れた。 ・今は水害がすくないけど、ふだんからグッズをあつめたいと思う。 ・いろんな川があることと、全部の川が淀川に流れていることがわかった。 ・淀川をたいせつにしようと思った。 ・水や食べ物をじゅんびしょうと思った。 ・生き物って、魚だけでもたくさん種類があるんだなーと思いました。 ・高槻もむかしは何回も水害が起こっていると知った。 ・生き物の宝庫、ワンドがあったとは、初めて知った。 ・身の回りでも水害が起こっていることがわかった。淀川にはたくさんの歴史があった。 ・淀川にはナマズがいることや、貴重な生き物がいるとわかった。 ・いつ水害が来てもいいように準備しようと思う。 ・上牧のとこらへんが水でつかったことがあると初めてしった。 ・父牛をほうぼくしていたのを初めてしった。 ・河川レンジャーが住民のみんなと淀川をよくする活動をする人なので、これからも河川レンジャーさんにがんばってほしいと思います。 質問 ・河川レンジャーは何人ぐらいいますか?　どんなことをしていますか?

活動状況



よど川について学ぼう



うどの　の広さは？



淀川の生き物を知ろう



今日の授業のまとめ

4.15 高槻市立津之江小学校 水害・地震から身を守るために　　・令和７年１２月９日（火）

実施状況

活 動 名	高槻市立津之江小学校　水害・地震から身を守るために			
氏　　名	竹本　克巳（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年 12 月９日（火）			
実施場所	高槻市立津之江小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		54 名	
	内訳	参加者	47 名	6 年生 47 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	西畑 R
		市民団体等	1 名	民生委員児童委員協議会
		行政機関	2 名	高槻市危機管理室
		学校関係	2 名	教諭
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	10:45	開始 河川レンジャーの紹介 住んでいる地域と学校(高槻市の地形、地勢、近くの町の状況)
	10:55	近くで水害は起きるの? 高槻市で起きた水害 ハザードマップを見てみよう 住んでいる近くにあるもの
	11:05	ワークシートでチェックしてみよう(小学校の浸水深、避難所)
	11:18	マイ・タイムラインを作ってみよう
	11:25	先生の作ったマイ・タイムラインの発表、みんなと同じ? 子どもの作成したマイ・タイムラインの発表(2 名)
	11:33	まとめ
	11:35	終了
配付資料		高槻市ハザードマップ(津之江校区抜粋)、ワークシート、マイ・タイムラインシート・避難行動シール、アンケート、レンジャーニュースNo.71
関係機関からの支援内容		事務局：マイタイムラインキットの印刷、ワークシートの貸与、レンジャーニュースNo.71
河川レンジャーの活動内容	準　備	教諭との打合せ（10/23, 11/6）地域写真撮影、その他メールで打合せ
	当　日	出前授業実施
	事　後	アンケートの回収
参加者からの意見		・避難所が三島高校じゃなくて、川西中学校なのを初めて知った。 ・内水はん濫で水があんなに出ると思わなかった。 ・台風が強くなくてもどうなるかわからないから、食べ物とか準備しておこうと思った。

	・水害の怖さについて、改めて知れてよかった。 ・防災マップは、非常事態の時にとても役立つことがよくわかった。 ・災害はいろんな人々に被害を与えることがわかった。 ・津之江は川が近くにあるから、小学校も自分の家も浸水したら危ないということを初めて知った。 ・河川氾濫がおきたこともあると聞いて驚いた。 ・準備を３日前からしないとできないとわかった。 ・自分の家があぶないとわかった。 ・水害についてよりくわしくなれたし、もう一度そなえについて考える機会になってとても勉強になった。 ・自分の住んでいるところは水害で３ｍから５ｍ水が来るところなのをはじめて知った。津之江は川が多いから気を付けようと思った。 ・ハザードマップはどのくらい水がくるのかわかるのがすごくわかりやすい。みやすい。 ・マイ・タイムラインで、自分のと友のとでぜんぜんちがった。食品を準備して災害に活かす。 ・水害の影響で地面がわれたり、浸水したり、そういうことがこの地域でも起こることを頭に入れていきたい。 ・ハザードマップには、避難所などの場所が書いていてわかりやすいと思った。 ・水害による被害は昔から多いことを知った。

活動状況



高槻市で起きた水害の解説



ハザードマップで小学校の浸水深を調べる



マイ・タイムラインを作ろう



マイ・タイムラインの発表

4.16 防災体験学習　　・令和８年１月１８日（日）

実施状況

活 動 名	防災体験学習（浸水地歩行体験）			
氏　　名	竹本　克巳（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 8 年 1 月 18 日（日）			
実施場所	大阪府島本町高浜　島本町立第四小学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		136 名	
	内訳	参加者	130 名	ブース来場者：大人 58 名、子ども 72 名
		講師	―	
		スタッフ	4 名	道場 R、竹本（晃）R、佐藤 P、猪俣 P
		市民団体等	―	
		行政機関	1 名	島本町町長山田氏
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール				（島本町危機管理課からの協力依頼） 9:30　開会式、島本町自主防災会連絡協議会長挨拶、黙祷 島本町町長山田氏挨拶 ブース展示開場、浸水地歩行体験開始 来場者には、浸水時避難は多くの危険があることを紙芝居を用いて説明し、浸水した道路を避難する場合の方法・足回りなど注意事項を解説。浸水時の歩行を体験してもらう。 12:00　ブース展示終了、撤収作業
配付資料				―
関係機関からの支援内容				河川レンジャー事務局：浸水地歩行体験キット・付属品、水中ポンプ、長靴、傘、延長コード、浸水地歩行説明パネル、島本町ハザードマップパネル、ビブス 島本町：ホース、水道水、テント、机、椅子、ビニールシート
河川レンジャーの活動内容	準　備			島本町危機管理課と打合せ（数回）、前日浸水地歩行体験キット設置
	当　日			浸水地歩行体験キットへ注水・セッティング、スタッフ分担打合せ、同キット撤去
	事　後			キット乾燥、返却、島本町危機管理課講評聞き取り
参加者からの意見				・ハザードマップはどこでもらえるのか？　ＨＰでも見れるのか？ ・ハザードマップで自宅が浸水するのを知った。高台に逃げることをしないと。 ・水の中を歩く経験はないので、歩行して良かった。 ・私たちの自治会でもしてほしい。こういう経験をすることが大事。 ・こどもたちに良い経験をさせることが出来た。水の恐ろしさを知った。 ・町長からは、「島本町も数年前に駅前が浸水したことがある。住民に浸水の恐ろしさを体験できる機会ができて良かったと思う。」とのこと。 ・自主防災会の会員にも体験してほしい内容である。 ・江崎グリコの担当者より、どこかで防災の催しがあれば協力しますとのこと。

活動状況



島本町町長山田氏も体験



浸水した道路の危険性を説明



ハザードマップで自宅の位置確認



子どもたちの体験を録画する親

4.17 冬の野鳥観察会 in 三島江野草地区　　・令和８年２月７日（土）

実施状況

活 動 名	冬の野鳥観察会 in 三島江野草地区			
氏　　名	竹本　克巳（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	共催（団体名：高槻市立三箇牧公民館）			
活動日	令和８年２月７日（土）			
実施場所	高槻市立三箇牧公民館／淀川河川公園三島江野草地区 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		19 名	
	内訳	参加者	13 名	大人 10 名、子ども 3 名
		講師	―	
		スタッフ	2 名	中野 R、竹本(晃)R
		市民団体等	―	
		行政機関	3 名	公民館館長、ほか 2 名
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:00	開始、公民館にて三箇牧公民館館長挨拶、注意事項説明 河川レンジャーからスコープ取扱い、鳥の見分け方、本日の工程と配付資料の説明 野草地区に向けて出発。途中、三島江浜跡などの説明		
	10:10	野鳥観察開始、環状剥皮実験地での活動紹介 観察を終えて公民館へ戻る		
	11:20	公民館にて鳥合わせ、15 種類を確認		
	11:30	鳥飼ワンド・唐崎ワンドなど整備状況説明。河川清掃、レンジャーニュースの紹介 館長より鳥にちなんだクイズ 2 問出題。アンケート 2 種類記入・回収。 館長より終わりの挨拶		
	11:45	終了、解散		
配付資料		河川レンジャーＮＥＷＳ2025 冬号#73、淀川河川公園の歴史 鳥合わせ表、歩行ルート、水辺の野鳥たち下敷き、水域環境部会からの報告資料 アンケート（河川レンジャー、公民館）		
関係機関からの支援内容		河川レンジャーのぼり、資料の印刷、ビブス、水辺の野鳥たち下敷き チラシ（公民館）、広報掲載（高槻市たかつき DAYS 1 月号）		
河川レンジャーの活動内容	準　備	公民館との事前打合せ、下見調査(12/13、1/17、1/31、2/5)		
	当　日	活動実施		
	事　後	報告書作成、アンケート取りまとめ		
参加者からの意見		・近くに住んでいるが、こんなにたくさんの種類の鳥が身近にいることに気づいていなかったので、来て良かった。 ・普段散歩に来ようと思った。 ・なかなか見つからないが、見た後は楽しい。めったに来ない場所なのでおもしろい。 ・いつも気にかけていない鳥を観察する機会を得て良かった。 ・楽しかった。 ・鳥知識のある方と歩くのは楽しい。 ・水鳥の観察場所は遠すぎて見えにくかった。 ・船に乗って川から眺めて見たい。		

活動状況



三島江地区での野鳥観察



スコープをのぞき込む参加者



キジバトの鳴き声を聞きながら



堤防の芝に潜む野鳥を探す

○奥山　佳一（19 期生：試行）

4.18 吹田市立岸部第二小学校　環境出前講座　　・令和７年７月１４日（月）

実施状況

活 動 名	吹田市立岸部第二小学校　環境出前講座			
氏　　名	奥山　佳一（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年７月１４日（月）			
実施場所	吹田市立岸部第二小学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		88 名	
	内訳	参加者	83 名	4 年生 83 名
		講師	－	
		スタッフ	－	
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	4 名	教員
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	9:35	開始（あいさつ、自己紹介など）		
	9:40	家庭から出るごみとは		
	9:50	世界のごみのゆくえ		
	9:55	地域の身近な川　正雀川～安威川～神崎川～淀川		
	10:00	海への影響、マイクロプラスチック		
	10:05	川のごみ		
	10:10	日本は見えない水を輸入している		
	10:15	バーベキューゴミの放置		
	10:20	まとめ・終了		
配布資料		－		
関係機関からの支援内容		多目的室の会場準備と後片付け 事後のアンケートの印刷と回収		
河川レンジャーの活動内容	準　備	パワーポイントの作成 一日分のゴミの量が分かるように事前に袋詰めにして用意、その他の掲示用ゴミ		
	当　日	パソコン、レーザーポインター、サンプル用のゴミ		
	事　後	アンケート回収		
参加者からの意見		＜アンケート結果＞ ①「川と海のゴミ」の話はわかりましたか ・すごく分かった 62%　・まあまあ分かった 36%　・よくわからなかった 2% ②話を聞いてゴミの問題に興味が持てましたか ・すごく持てた 37%　・持てた 62%　・持てなかった 1% ③話を聞いて川や海のゴミのことや水のことを調べたいと思いましたか ・すごく思う 26%　・思う 62%　・思わない 7%		

	＜個別の意見＞ ・ゴミが落ちていたらひろってみます ・これからはゴミをへらしたりする取り組みに参加したいです ・ゴミをすてていたら拾って、ちゃんとゴミ箱に捨てます ・話を聞いて今後調べてみたいと思った ・今後は出来るだけ物を何回も使いなおしをします ・ちょっとでも水を節約したいなと思いました ・私も一度、川をきれいにする活動をしてみたいです ・あらためて川や海に興味を持って、川や海をきれいにしようと思いました ・ゴミを拾う活動はぜんぜん参加していなかったので、ちょっとでも参加しようと思いました ・私はゴミを集めたりするボランティアは一度も参加したことがないので、やってみたいと思いました など、積極的に活動していこうという意見があった。

活動状況



小学校担当教員からの紹介



クイズを交え参加型で実施



一人が 1 日に出すごみ量を新聞紙で表現



まとめ（自分たちにできること）

4.19 吹田市立岸部第二小学校　河川のつくりかえ　　・令和７年１１月１９日（水）

実施状況

活 動 名	吹田市立岸部第二小学校　河川のつくりかえ　出前授業			
氏　　名	奥山　佳一（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 11 月 19 日（水）			
実施場所	吹田市立岸部第二小学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		94 名	
	内訳	参加者	89 名	4 年生
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	4 名	教員
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:45	開始（あいさつ、自己紹介など） 学習テーマ「淀川はどうして作りかえられたのか？」 ・淀川水系の基本情報（地理的特徴、瀬田川洗堰を動画で紹介） ・流域とは？　淀川流域を地図で解説（長さ・流域面積の紹介） ・地域の身近な川　正雀川～安威川～神崎川～淀川 ・淀川の歴史（縄文時代から弥生時代までの流れ）		
	10:50	淀川の舟運 ・舟運の大動脈として栄え京都と大阪を結ぶ交通路に（三十石舟、蒸気船）、渡し船 ・航路を確保するための水制工の設置 ・ワンドとは何か（成り立ちや特徴）		
	11:00	淀川の水害と治水事業 ・川の特徴と洪水被害、明治 18 年洪水、新淀川の開削 ・関わった人物：ヨハネス・デレーケ、沖野 忠雄、大橋 房太郎、の紹介 ・高潮について ・ハザードマップの紹介		
	11:10	現在の淀川、河川整備 ・毛馬閘門のしくみと役割（動画で紹介） ・淀川大堰のしくみと役割 ・治水対策：堤防のかさ上げ、スーパー堤防、防潮扉		
	11:20	淀川の魅力 ・自然環境、生き物、舟運、川遊び もっと淀川について知りたい人へ ・淀川河川事務所ホームページ、淀川資料館の紹介、外来種問題についても説明		
	11:30	まとめ・終了		
配布資料		―		

関係機関からの 支援内容		多目的室の会場準備と後片付け 事後のアンケートの印刷と回収
河川レンジャーの活動内容	準　備	パワーポイントの作成
	当　日	パソコン、レーザーポインターでの説明
	事　後	後日アンケート回収
参加者からの意見		児童アンケートより ①「淀川のつくりかえ」の話はわかりましたか？ すごくわかった→41%　まあまあわかった→58%　よくわからなかった→1% ②話を聞いて淀川にきょうみがもてましたか？ すごくもてた→29%　もてた→67%　もてなかった→4% ③話を聞いて、淀川の歴史や自然について調べたいと思いましたか？ すごく思う→32%　思う→57%　思わない→1%　（未記入 10%） ④淀川など近くの川でどんなことがしたいですか？ 魚とりやとりの観察 →61% 生き物をまもる活動 →43% 川をきれいにする活動 →29% 川の昔話を聞く会 →15% 洪水など災害について知る活動 →18% ボートなど川でするスポーツ →50% 感想より ・昔から洪水などがおこっているけど工夫して防いできたのがよくわかりました。 ・資料館に入ったり、実際に行ってみて、もっと学びたいと思いました。 ・淀川の近くにおじいちゃんが住んでいてよく話をしているので今日聞けなかったことをもっと聞きたいと思います。 ・教科書では分からない事が聞けて嬉しかったです。 ・もっと淀川を見てみたい、もっと多くの川を学びたい、次は洪水のことをじっくり調べたい。 ・河川レンジャーの主な仕事は何をしているのですか。くわしく知りたいです。 ・今日の説明で淀川のつくりかえにすごく興味を持ちました。 ・淀川はすごい場所だったことをあらためて知りました。

活動状況



学習テーマを紹介



スライドに沿ってクイズを交え説明



地域を流れる川を地図で確認



河川施設の紹介（動画の視聴）

○小林　勝男（19 期生：試行）

4.20 枚方市立五常小学校６年生　水辺の安全出前講座　　・令和７年７月１４日（月）

実施状況

活 動 名	枚方市立五常小学校 6 年生　水辺の安全出前講座			
氏　　名	小林　勝男（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 7 月 14 日（月）			
実施場所	枚方市立五常小学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		77 名	
	内訳	参加者	72 名	6 年生 72 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	4 名	教員 4 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	
09:40	授業開始、児童移動・活動準備
09:50	自己紹介、今日覚えて欲しい 3 つのこと
09:55	服を着た状態で水に入って動きやすさの違いを確かめる
10:05	背浮きの体験
10:10	浮力体（ペットボトル）があるとどう違うかの体験
10:15	溺れている人を助ける方法の説明・実演
	＜給水休憩＞
10:20	ライフジャケットの着用方法
10:30	ライフジャケットを着けて浮かぶ
10:45	ライフジャケットの浮力や動きやすさを確かめる（自由時間）
10:50	授業のまとめ
10:55	終了・先生に引き継ぎ

配付資料		水辺の安全リーフレット、アンケート QR
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：物品貸与、資料印刷
河川レンジャーの活動内容	準　備	・学校との調整、打合せ、下見 ・スケジュールに合わせてシナリオ作成、リハーサル、物品準備
	当　日	・最終確認、アンケート協力依頼、準備作業、指導、撤収、反省会 ・学校側に撤収作業終了の報告と挨拶、物品返却
	事　後	・アンケート結果の共有、書類作成

参加者からの意見	＜担当教諭＞ ・次年度以降も同様の授業を継続したいのでご協力願います。 ＜体験した児童＞ ・（着衣泳で）服を着ているだけでこんなに重くなるんだとかんじた。 ・もし、溺れている人がいたら、身の回りにあるペットボトルや、ポテトチップスが入ったカバンや、タッパーや、ボールなどを投げると溺れている人の命が助けれる可能性があるということがわかった。 ・絶対に人を助けようと飛び込んではいけないことがわかった。 ・リュックサックのポテトチップスが浮かぶのは知らなかった。 ・プールは波がないので、川や海などではどう危ないか知りたい。 ・ペットボトル１本でこんなにうけることを初めて知った。 ・ライフジャケットの正しい付け方を知れた。 ・ライフジャケットなどがあると安心して浮けるからすごいと思った。 ・川に行く時は絶対にライフジャッケットは必要だと感じた。 ・ライフジャケットがあるから絶対安全というわけでもないと思った。 ・川の危険や、ライフジャケットの安心さを学んだから川や海に行く時にライフジャケットを着ようと思った。 ・今日は楽しかったです！来年中学校なので、中学校に来てください！ ・これから夏休みが始まるから、さらに気をつけたい。 ・川や海は楽しいこともあるけれど、もしもの時に備えてライフジャケットなどをつけようと思った。 ・小林さんと事務局の方の話がわかりやすかった。

活動状況



ペットボトルを使用した背浮き



授業中の安全監視



ライフジャケットを着た状態で背浮き



授業の要点　振り返りとまとめ

4.21 高槻市立柱本小学校５・６年生　出前講座（水辺の安全）　　・令和７年７月１５日（火）

実施状況

活 動 名	高槻市立柱本小学校 5･6 年生　出前講座（水辺の安全）			
氏　　名	小林　勝男（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年７月１５日（火）			
実施場所	高槻市立柱本小学校  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		54 名	
	内訳	参加者	48 名	5 年生 19 名、6 年生 29 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	竹本 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	4 名	教員 4 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	
9:35	開始
9:40	教員による指導。水慣れ（ウォーミングアップ）、着衣泳準備
9:45	レンジャー自己紹介後、着衣で浮かぶ体験、ペットボトルを活用して浮かぶ体験
10:10	休憩 ＊溺れた人に浮かぶものを投げる、棒で引き寄せる等の救助を実演
10:20	ライフジャケット着用体験
10:30	ライフジャケットを着用し、浮かぶ体験
10:50	まとめ
11:00	終了

配布資料		水辺の安全リーフレット、アンケート QR
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：物品貸与、資料印刷
河川レンジャーの活動内容	準　備	・学校との調整、打合せ、下見 ・シナリオ作成、リハーサル、物品準備
	当　日	・最終確認、アンケート協力依頼、準備作業、指導、撤収、反省会 ・学校側に撤収作業終了の報告と挨拶、物品返却
	事　後	・アンケート結果の共有、書類作成、今後の活動へ活かす
参加者からの意見		〈担当教諭〉 ・次年度以降も同様の授業を継続していくので協力願います。 ・やんちゃな児童が沢山いるのに、流石でした。 〈体験した児童〉 ・服を着ていると、気持ち悪いし、重く感じた。

	・絶対に人を助けようと飛び込んではいけないことがかった。 ・ペットボトル１本で浮けることを知った。 ・ペットボトルがすごかった。 ・ペットボトル２個でも浮かびやすい事を気付いた。 ・ライフジャケットがあると浮けるとわかった。 ・溺れている人がいたら、助けたいと思った。 ・ライフジャケットはめちゃ楽しくて浮きやすくて動きやすかったし、飛び込んで助けずにペットボトルなどを投げると良いと感じた。 ・もっと水は怖いということがわかりました。来年も来て欲しいと思った。 ・ライフジャケットがあれば溺れる危険がないって思えた。 ・ライフジャケットがこんなに浮くとは思わなかった。 ・危険が多いと感じた。 ・もしも溺れたときに役に立つと思った。 ・水の中には危険がいっぱいなんだなーと思いました。 ・流れもあると、もっとやばいことを知った。 ・ライフジャケットがあれば本当に安心安全だなと思いました。 ・ライフジャケットを使うととても浮きやすかった。海に行くときは使いたい。 ・水の危険性がわかった。 ・安心感が強かったからお母さんに買ってといってみようと思う。 ・じじいの話が長い。 ・うざい。

活動状況



開始のあいさつと内容説明



着衣で水中に浮かぶ体験



ライフジャケットの着用指導



ライフジャケットで浮く体験

○原　健二（河川レンジャーアドバイザー）

4.22 第５５回淀川河川公園大塚地区課題検討ＷＧ　　・令和７年５月１２日（月）

実施状況

活動名	第 55 回淀川河川公園大塚地区課題検討 WG			
氏名	原　健二（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 5 月 12 日（月）			
実施場所	高槻市冠コミュニティセンター 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		13 名	
	内訳	参加者	―	
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	3 名	南大冠東地区住民会議(1 名)、冠コミュニティ協議会(2 名)
		行政機関	5 名	高槻市都市創造部(4 名)、高槻市南大冠公民館(1 名)
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	5 名	河川公園課(2 名)、高槻出張所(1 名)、日本工営都市空間(2 名)
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	16:30	開始 本日の議事次第及び配布資料に沿って議論 ・堤防道路横断の安全性改善に関して ・堤防道路日曜休日通行規制撤廃に伴う公園入口一本化に関して ・淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトに関して ・淀川芥川クリーンアップ大作戦（大塚地区）実施報告 ・淀川河川公園大塚地区再整備（階段護岸等）に関して ・令和 7 年度 WG 取り組みに関して ・その他		
	18:00	終了		
配付資料		○第 55 回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討ＷＧアジェンダ ○イワダレソウモニタリング調査 20250512WG ○堤防道路草押さえ対策状況 ○春の野草観察とたたき染めチラシ ○R7 年度淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクト関連イベント開催計画 ○淀川芥川クリーンアップ大作戦（大塚地区）アンケートまとめ ○令和 7 年度 WG 取り組みに関して ○第 54 回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討ＷＧ議事録 ○河川レンジャーNEWS（No.70）2025 年春号		
関係機関からの支援内容		高槻市：冠コミュニティセンター無料貸し出し 河川レンジャー事務局：資料のコピー等		
河川レンジャーの	準　備	淀川河川敷大塚地区事前調査、資料作成		
	当　日	議事進行		

活動内容	事　後	報告書作成
		【議事内容】 １．堤防道路横断の安全性改善に関して ⑴低草丈草種（イワダレソウ）のモニタリング調査結果報告 ・5 月時点での植被率 7.3%（10 ヶ所のコドラート平均）、新芽が出てきている。 ・チガヤの植被率は 50%程度で減少傾向、スギナが繁茂。 ⑵堤防天端周辺への草止め施工状況 ・イワダレソウ植栽地の横断歩道部分の上下流側の 4 ヶ所で施工 堤防法面は淀川河川事務所から許可がおりなかったので堤防天端部分のみの施行。 ・今後、施工効果のモニタリング調査をイワダレソウ調査に合わせて実施していく。 ２．堤防道路通行規制撤廃に伴う公園入口一本化に関して ・安全面や公園管理業務の簡素化含めて早急に一本化を進める。 但し、施工業者の決定や貼り付けシートの対応さらには公園案内 HP の修正等 6 月 22 日（日）の春の野草観察会のイベント開催時までには間に合わない。 ⇒　イベント案内チラシの公園入口案内は従来のままとすることにした。 ３．淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトに関して ⑴淀川魅力発見（春編）「春の野草観察とたたき染め」に関して ・今回は初めての取り組みとして採取した草花でトートバックへのたたき染めを実施する。 ⑵令和 7 年度イベント開催計画に関して ・淀川魅力発見「春編」、「夏編」、「秋編」、「冬編」で四季を通じてのイベント定着を図る。 ・淀川歴史探訪に関しては実施時期や内容含めて継続検討。
参加者からの意見		４．淀川芥川クリーンアップ大作戦（大塚地区）実施報告 ・大塚地区参加者 37 名（河川レンジャー1 名除く）、77 袋相当を回収 ・今回は高槻出張所の維持管理業者や企業からの参加者が多くパワーアップされた。 ・参加者からは多くのゴミがあり驚いたというコメントがあった一方で、昨年度も参加された方からは昨年度に比べるとゴミが少なくなったとのコメントもあった。 来年度も大塚ワンドでのクリーンアップ活動を継続する。 ・意見として軍手だと濡れるのでゴム手袋があれば良いとの意見があった。 水の中にあるペットボトルの回収時や回収したペットボトルに中身が残っていると重くなるため捨てる作業をすると濡れる可能性がある。 使い捨てのポリエチレン手袋を軍手の内側にはめることも有効と思われる。 来年度、対応するかは検討する。 ・大塚ワンドに関してはもう少し歩きやすくなると良いとの意見あり。 ⇒　地域住民や学校との連携で枝打ち等できる範囲での整備を検討する。 ５．淀川河川公園大塚地区切り下げに関して ・前年度に設計が完了した階段護岸に関して予算化に向けてハードルは高いと思われるが、今後の施工に向けた進捗状況をウォッチしていく。 ６．令和 7 年度 WG の取り組み ・取り組み（案）をベースに今後とも WG を継続していく。 ・課題検討と情報交換に分けてやることも有りではないかとの意見も出たが当面は現状の進め方で実施する。 ・開催時間に関しては働き方改革の動きもあり、開催時間を早められないかとの意見に対して、メンバーの参加可能時間も含めて次回から 30 分早めて 16:00 からの開催とした。

	７．その他 ・5 月のゴールデンウィークでの河川公園での BBQ 実施状況の共有。 高槻市エリアでは無料で BBQ ができる場所は淀川河川公園（大塚地区）に限られるので、毎年多くの人が来ている。 ８．次回予定 日時：2025 年 7 月 14 日（月）16：00～18：00 場所：高槻市冠コミュニティセンター 令和 7 年度今後の開催予定（7/14、9/22、11/17、1/19、3/9）

活動状況



議論する WG メンバー①



議論する WG メンバー②

4.23 春の野草観察とたたき染め　　・令和７年６月２２日（日）

実施状況

活 動 名	春の野草観察とたたき染め			
氏　　名	原　健二（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：高槻市南大冠公民館）			
活動日	令和７年６月 22 日（日）			
実施場所	淀川河川公園大塚地区  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		47 名	
	内訳	参加者	33 名	大人 20 名、子ども 13 名
		講師	8 名	ネイチャーたかつき
		スタッフ	―	
		市民団体等	―	
		行政機関	3 名	南大冠公民館
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	2 名	業務委託（日本工営都市空間）2 名
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:00	開会式。開催趣旨説明（淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトとの共催）。 南大冠公民館　館長挨拶。講師（ネイチャーたかつき）紹介。 スケジュールと注意事項（熱中症注意、適宜の水分補給）説明。		
	10:10	６班に分かれて野草観察&たたき染め用植物採集スタート。 ネイチャーたかつきがガイド 途中水分補給休憩をグループごとに採集		
	11:40	観察終了・集合		
	11:40	たたき染めスタート　南大冠公民館指導 淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトの年間活動紹介(バッタのオリンピック、野草とリース作り、野鳥観察)ネイチャーたかつき活動紹介。 アンケート記入のお願い・回収		
	12:10	終了解散		
配付資料		河川レンジャーNEWS 2025 春号、野草写真・解説入り小冊子、アンケート、エコバッグ(たたき染め用)、たたき染めの色止め方法		
関係機関からの支援内容		河川レンジャー事務局：河川レンジャーのぼり、小旗、テーブル、ビブス、救急セット、バインダー ネイチャーたかつき：野草解説冊子編集、		
河川レンジャーの活動内容	準　備	事前打ち合わせ(5/30)、現地下見(6／13)　（ネイチャーたかつき、南大冠公民館）		
	当　日	スタッフ集合し役割分担確認、受付準備。後片付け、借用品返却		
	事　後	アンケート整理、活動報告書作成		

参加者からの意見	（アンケートからの抜粋） 【春の野草観察とたたき染めに関して】 ・普段、目を向けることのない野草に目を向ける機会があってとっても良い経験になりました。たたき染めも自然の色を楽しむことができました。 ・色々な草花が見れて楽しかった。最後のたたき染めも楽しくできました。 ・野草観察とても良かった。もっと時間があればよいのに。 ・たたき染めの時間がとても少なかったのが残念でした。植物の話はとても楽しく教えていただいてありがとうございます。 ・小さい子供がいるとおいていかれてしまう。もう少しゆっくり歩いていただけるとうれしい。 ・集合場所が解りにくかったです。ゴリラは大きなオブジェかとおもってたら、ちっちゃかった。 【河川公園大塚地区に関して】 ・河川レンジャーさんのワンドの話がもっと聞きたいです。 ・淀川の河川敷には多様な植物があり、こんなに広いことがわかりました。 ・人が入れるところと入れない所が解りやすくなれば良いと思った。 ・河川敷の詳しい地図などを配布して欲しい。

活動状況



開会



講師の案内で野草・樹木観察



ワンドの説明



たたき染め

4.24 第５６回淀川河川公園大塚地区課題検討ＷＧ　　・令和７年７月１４日（月）

実施状況

活 動 名	第 56 回淀川河川公園大塚地区課題検討 WG			
氏　　名	原　健二（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 7 月 14 日（月）			
実施場所	高槻市冠コミュニティセンター  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		10 名	
	内訳	参加者	―	
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	4 名	南大冠東地区住民会議 2 名、冠コミュニティ協議会 2 名
		行政機関	2 名	高槻市都市創造部 2 名
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	4 名	河川公園課 1 名、高槻出張所 1 名、日本工営都市空間 2 名
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	16:00	開始 本日の議事次第及び配布資料に沿って議論 ・堤防道路横断の安全性改善に関して ・堤防道路日曜休日通行規制撤廃に伴う公園入口一本化に関して ・淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトに関して ・淀川河川公園大塚地区再整備（階段護岸等）の今後に関して ・令和 7 年度 WG 取り組みに関して ・その他		
	17:00	終了		
配付資料		○第 56 回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討ＷＧアジェンダ ○イワダレソウモニタリング調査 20250714WG ○堤防道路草押さえ対策状況 ○淀川河川公園大塚地区公園入口統一 ○春の野草観察とたたき染めアンケートまとめ ○R7 年度淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクト関連イベント開催計画 ○摂津市広報紙 2025 年 6 月号（鳥飼の河川公園再整備） ○第 55 回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討ＷＧ議事録		
関係機関からの支援内容		高槻市：冠コミュニティセンター無料貸し出し 河川レンジャー事務局：資料のコピー等		
河川レンジャーの活動内容	準　備	淀川河川敷大塚地区事前調査、資料作成		
	当　日	議事進行		
	事　後	報告書作成		
参加者からの意見		【議事内容】 １．堤防道路横断の安全性改善に関して ⑴低草丈草種（イワダレソウ）のモニタリング調査結果報告 ・7 月時点での植被率 5.9%（10 ヶ所のコドラート平均）、開花している		

	除草作業後なので雑草の中で見えなかったイワダレソウが根付いているので 先月比　被植率はアップしている。(4.4%→5.9%) ・チガヤの植被率は 50%程度 ⑵堤防天端周辺への草止め状況 ・堤防草刈り前の確認の結果、視認性改善に一定の効果が認められる。 ・次回の高槻市による堤防天端から 1mの除草作業が 8 月中旬（予定）であるため除草前に確認をする。 ２．堤防道路通行規制撤廃に伴う公園入口一本化に関して ・旧の休日入口に上流側からの公園入口の事前案内看板、統一された平日入口に公園入口の看板に修正され、6/29（日）から公園入口が統一された。 ・統一された入口は旧の休日入口に比べて広いので車両の出入りの安全性向上と解りやすい看板で利用者の利便性が向上した。 ３．淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトに関して ⑴淀川魅力発見（春編）「春の野草観察とたたき染め」実施報告 ・今回は初めての取り組みとして採取した草花でトートバックへのたたき染めを実施。たたき染めは子供も大人も楽しめたようで好評であった。 ・６グループに分かれて野草観察を実施したが、小さな子供さんと参加された家族のグループが、先頭グループから大きく遅れる事になった。次回から小さな子供さんがいる家族向けには観察経路を短縮するようなルートも準備することを検討する。 ⑵令和 7 年度イベント開催計画に関して ・淀川魅力発見（春編）「春の野草観察とたたき染め」が終了したので次は淀川魅力発見（夏編）「バッタのオリンピック」となる。 競技エリアとなるエノキのある広場の開催日の１W前後でのタイミングでの草刈りを高槻出張所に依頼。(バッタの飛距離測定の容易性とスタッフの安全性確保のため) ・冬の「大塚冒険王」に関しては、関西大学へ実施するか否かを打診中。 実施する場合は、淀川河川公園管理センターとしてのイベントとして実施することも検討する。 ・淀川歴史探訪に関しては実施時期や内容含めて継続検討。 ４．淀川河川公園大塚地区再整備（階段護岸等）の今後に関して ・現時点で特に動きはない状態、動きがあれば情報共有する。(河川公園課) ・公園事業だけでなく何かと組み合わせた事業にならないと現状難しいかも。 ・何か大塚ワンドでの大きなイベント等があればそれをきっかけに進展するかも。 ・大塚ワンドの活用含めて本 WG でもイベント開催の検討を進める。 ５．その他 ・鳥飼地区でのローラースポーツ施設の再整備情報の共有 現在、民間のスケートクラブが定期的に練習会を実施しており、使用ルールの徹底含めて良い方向で活用されている。 それ以外の個人利用に関しては、使用ルールの徹底が課題である。 ・大塚地区の管理道路内に設置された４体の埴輪に関して 現状１体はなくなっている。看板を設置し、埴輪を設置した人に撤去を呼びかけている。 ・ブルーインパルス展示飛行時の堤防道路の迷惑駐車の状況共有 ６．次回予定 日時：2025 年 9 月 22 日（月）16：00～18：00 場所：高槻市冠コミュニティセンター 令和 7 年度今後の開催予定（9/22、11/17、1/19、3/9）

活動状況



議論する WG メンバー①



議論する WG メンバー②

4.25 第５７回淀川河川公園大塚地区課題検討ＷＧ　　・令和７年９月２２日（月）

実施状況

活 動 名	第 57 回淀川河川公園大塚地区課題検討 WG			
氏　　名	原　健二（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 9 月 22 日（月）			
実施場所	高槻市冠コミュニティセンター  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		8 名	
	内訳	参加者	ー	
		講師	ー	
		スタッフ	ー	
		市民団体等	3 名	南大冠東地区住民会議 1 名、冠コミュニティ協議会 2 名
		行政機関	3 名	高槻市都市創造部 2 名、高槻市南大冠公民館 1 名
		学校関係	ー	
		淀川河川事務所	2 名	日本工営都市空間 2 名
		河川レンジャー事務局	ー	
スケジュール	16:00	開始 本日の議事次第及び配布資料に沿って議論 ・堤防道路横断の安全性改善に関して ・淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトに関して ・大塚ワンドに関して ・淀川河川公園大塚地区再整備（階段護岸等）の今後に関して ・その他		
	17:00	終了		
配付資料		配布資料 ○第 57 回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討ＷＧアジェンダ ○イワダレソウモニタリング調査 20250922WG ○堤防道路草押さえ対策状況（20250922） ○バッタのオリンピックちらし ○R7 年度淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクト関連イベント開催計画 ○大塚ワンドの現状(20250909) ○第 56 回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討ＷＧ議事録 ○河川レンジャーNEWS　No.71（2025 年夏号）		
関係機関からの支援内容		高槻市：冠コミュニティセンター無料貸し出し 河川レンジャー事務局：資料のコピー等		
河川レンジャーの活動内容	準　備	淀川河川敷大塚地区事前調査、資料作成		
	当　日	議事進行		
	事　後	報告書作成		

参加者からの意見	１．堤防道路横断の安全性改善に関して ⑴低草丈草種（イワダレソウ）のモニタリング調査結果報告 ・9 月時点での植被率 5.9%（10 ヶ所のコドラート平均)、開花している全体としては 5%程度で階段際を中心に根付いている。 ・チガヤの植被率は 50%程度 ⑵堤防天端周辺への草止め状況 ・イワダレソウを植えた住宅側は草止めした場所の視認性改善の効果がある。ただし、イワダレソウ植栽地はチガヤへの植生転換が進んでいるために視認性の改善が見られるとも思われる。それ以外の場所（川側）は背の高いセイバンモロコシが繁茂しており、現状の草止め対策では効果は限定的と思われる。 ・草止め対策の効果に関してはもう少し継続してモニタリングしていく。 ２．淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトに関して ⑴淀川魅力発見（夏編)「バッタのオリンピック」開催予告 ・昨年度までは会場である河川公園の駐車場への入口が解らないという参加者がいたが、今年度は入口看板設置で迷う人はいないと思われる。 ⑵令和 7 年度イベント開催計画に関して ・冬の「大塚冒険王」に関しては、関西大学へ実施するか否かを打診中。現時点で数名の参加学生がいるが、開催するための人員確保ができるか継続検討中。 ・淀川歴史探訪に関して、今年度は実施見送る。開催に向けた準備が困難なため。地域の歴史に興味のある人は多くいるので、開催すれば人は集まるとのコメントあり。 ３．大塚ワンドに関して ・現状のワンドは、上流側の入口含めて雑草に覆われて立ち入りが難しい状況（つり人はそれなりに入っている） ・秋の野草観察時に大塚ワンドを見渡す場所からは雑草が生い茂って見通しが悪い状況にあるので、除草作業をするか要検討。 ・ワンド内や本川側（数カ所）に特定外来生物であるナガエツルノゲイトウが繁茂。ワンドの保全のための駆除に向けた活動が必要。 ・ワンドの周辺を散策する簡易遊歩道の整備を地域住民や学校と連携した活動として検討する。 ４．淀川河川公園大塚地区再整備（階段護岸等）の今後に関して ・現時点で特に進展なし ５．その他 ・大塚船着場周辺の砂州の状況共有 現状、大塚船着場は砂州で船の発着はできない状況 ・第４回水都くらわんか花火の観覧者状況共有 ・高槻出張所からの情報として川沿いの管理道路を他エリアで出た砕石で舗装する工事を予定とのこと　⇒　後日、使用予定の砕石が舗装に適さないことが判明し工事は実施しないとの連絡あり。 ６．次回予定 日時：2025 年 11 月 17 日（月）16：00～18：00 場所：高槻市冠コミュニティセンター 令和 7 年度今後の開催予定（2026/1/19、3/9）

活動状況



議論する WG メンバー①



議論する WG メンバー②

4.26 バッタのオリンピック　　・令和７年９月２８日（日）

実施状況

活 動 名	バッタのオリンピック			
氏　　名	原　健二（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：南大冠公民館）			
活動日	令和７年９月 28 日（日）			
実施場所	淀川河川公園大塚地区  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		64 名	
	内訳	参加者	57 名	大人 25 名、子ども 32 名
		講師	１名	金子氏
		スタッフ	２名	
		市民団体等	―	
		行政機関	３名	高槻市南大冠公民館職員
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	１名	
スケジュール	9:30	開会式 ・趣旨説明（河川レンジャー）、挨拶、講師紹介、諸注意等		
	9:40	バッタ採集		
	10:20	バッタの同定とエントリーの確定		
	10:55	協議開始 ・種目別飛距離、滞空時間競争、結果発表、表彰式 ・講師による講評		
	11:40	終了		
配付資料		バッタ観察資料、アンケート等		
関係機関からの支援内容		高槻出張所（競技エリア草刈り等）、淀川公園管理センター（椅子、コーン等） レンジャー事務局（テント等借用、資料コピー等）		
河川レンジャーの活動内容	準　備	公園一時使用提出、競技エリア事前コーン設置、表彰用メダル作成等		
	当　日	司会進行と全体運営		
	事　後	アンケートまとめと報告書作成		
参加者からの意見		アンケートからの抜粋 【今回のバッタのオリンピックに関して】 ・子どもが一生懸命にバッタを探し、捕まえたバッタの中からどれでエントリーしようか、真剣に考える姿がとても印象的でした。すごく良い経験になったと思います。 ・バッタの同定が難しかった。たくさんの種類がいることに驚いた。 ・今年も楽しく参加でき楽しめました。なかなかバッタを捕まえるのがむずかしく、そこがいいところなのかもしれません。金子先生の説明がわかりやすく、回答でも知らないことが多かったです。ありがとうございます。 ・バッタ採集時間をもう少し長くしてもよいと思いました。 ・楽しく参加させていただき、今回で３回目です。来年も是非開催お願いします。		

	【河川公園含めた河川敷に関して】 ・遊具(滑り台・ブランコ)などを作ってほしい。(複数意見あり) ・今年から日祝でも車が河川敷を通れるようになりました。今まで無視した車が多かったのですが、利用はしやすくなりました。後は事故に気を付けたいです。 ・きれいなトイレ。 ・今日のような取り組みを是非増やしてほしい。

活動状況



開会式



バッタの採集



競技



表彰式

4.27 地区コミュニティ文化祭出展 ・令和７年１１月１・２日（土日）、８・９日（土日）

実施状況

活 動 名	地区コミュニティ文化祭出展			
氏　　名	原　健二（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	協力			
活動日	令和７年 11 月 1 日（土）、2 日（日）　　令和７年 11 月 8 日（土）、9 日（日）			
実施場所	 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		146 名	
	内訳	参加者	146 名	冠コミュニティセンター文化祭：全体 400 名、内ブース 80 名 南大冠東地区文化祭：全体 330 名、内ブース 66 名
		講師	－	
		スタッフ	－	
		市民団体等	－	
		行政機関	－	
		学校関係	－	
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	－	
スケジュール	9:30	開始（冠コミュニティセンター文化祭 1 日目 11/1）		
	17:00	終了		
	10:00	開始（冠コミュニティセンター文化祭 2 日目 11/2）		
	16:00	終了		
	9:30	開始（南大冠東地区文化祭 1 日目 11/8）		
	16:00	終了		
	10:00	開始（南大冠東地区文化祭 2 日目 11/9）		
	15:00	終了		
配付資料		レンジャーNEWS(No.72)		
関係機関からの支援内容		レンジャー事務局：展示パネル（河川レンジャー紹介、大塚ワンド関連他）の作成及び貸与		
河川レンジャーの活動内容	準　備	展示準備		
	当　日	展示説明		
	事　後	貸与品返却、報告書作成		
参加者からの意見		・いつも川の横の管理道路を散歩しているが、大塚ワンドの存在を知らなかった。 ・時々ワンド内を散歩しているが、もう少し歩きやすいと良い。 ・ワンド内に休憩できるベンチがあれば良い。 ・時々、お父さんとルアーでブラックバスつりに来ている。（小学生の女の子） ・大塚ワンドに行ってみたいので、来年３月のクリーンアップ活動に参加します。 ・大塚ワンドのクリーンアップ活動に参加しています。もっと参加者が増えると良い。 【大塚ワンドでやってみたいイベント、活動アンケート】 ・遊歩道整備が全体の 37.7%で最も多かった。		

活動状況

① 冠コミュニティセンター文化祭



展示状況



展示を見る参加者

② 南大冠東地区文化祭



展示状況



アンケートにシールを貼る参加者

4.28 第５８回淀川河川公園大塚地区課題検討ＷＧ　　・令和７年１１月１７日（月）

実施状況

活 動 名	第 58 回淀川河川公園大塚地区課題検討 WG			
氏　　名	原　健二（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 7 年 11 月 17 日（月）			
実施場所	高槻市冠コミュニティセンター  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		12 名	
	内訳	参加者	―	
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	3 名	南大冠東地区住民会議 1 名、冠コミュニティ協議会 2 名
		行政機関	5 名	高槻市都市創造部 4 名、高槻市南大冠公民館 1 名
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	4 名	河川公園課 1 名、高槻出張所 1 名、日本工営都市空間 2 名
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	16:00	開始 本日の議事次第及び配布資料に沿って議論 ・堤防道路横断の安全性改善に関して ・淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトに関して ・大塚ワンドに関して ・淀川河川公園大塚地区再整備（階段護岸等）の今後に関して ・その他		
	17:15	終了		
配付資料		配布資料 ○第 58 回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討ＷＧアジェンダ ○イワダレソウモニタリング調査 20251117WG ○堤防道路草押さえ対策状況（20251102） ○バッタのオリンピックアンケート結果 ○R7 年度淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクト関連イベント開催計画 ○地区コミュニティ文化祭での大塚ワンド活用アンケート結果 ○淀川河川公園大塚地区における住民共働活動について（日本工営都市空間） ○第 57 回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討ＷＧ議事録 ○河川レンジャーNEWS　No.72（2025 年秋号）		
関係機関からの支援内容		高槻市：冠コミュニティセンター無料貸し出し 河川レンジャー事務局：資料のコピー等		
河川レンジャーの活動内容	準　備	淀川河川敷大塚地区事前調査、資料作成		
	当　日	議事進行		
	事　後	報告書作成		

参加者からの意見	議事内容 １．堤防道路横断の安全性改善に関して ⑴低草丈草種（イワダレソウ）のモニタリング調査結果報告 ・11 月時点での植被率 5.9%（10 ヶ所のコドラート平均）全体としては 5%程度 ・チガヤの植被率は 50%程度 ⑵堤防天端周辺への草止め状況 ・状況としては 9 月に報告した状況と同じ。草止めの効果というよりはイワダレソウ植栽地がチガヤへの植生転換が進んでおりセイバンモロコシに比べると背丈が低いことで視認性の改善が見られるとも思われる。高槻市としても同一見解。 ・早々に除草作業が実施されるので次年度も植生の変化を含めてモニタリングしていく。 ・交通規制がなくなったが、日曜日の交通量は増えているか？ データは取っていないが感覚的にはそれほど変わったとは思わない（原） ２．淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトに関して ⑴淀川魅力発見（夏編）「バッタのオリンピック」開催報告 ・今年度は日曜休日の通行規制がなくなったのと公園入口看板設置もあり参加者で迷う人はいなかった。アンケートでも利用しやすくなったとのコメントあり。 ⑵令和 7 年度イベント開催計画に関して ・秋の野草観察とリースづくりは雨天で中止 ・「大塚冒険王」に関しては、関西大学により 2/28（土）13:00～16:00 で実施することとなった。2/7 の「冬の野鳥観察と野草の迷路探検」に向けて野草迷路企画も関西大学により実施される。 ・第 21 回淀川芥川クリーンアップ大作戦は 3/14（土）に実施予定。 ３．大塚ワンドに関して ・地区コミュニティ文化祭での大塚ワンド活用アンケート調査結果 展示ブースに来られた方にシールを貼ってもらって参加したいイベントや活動に関するアンケートを実施。 結果としては「ワンド散策の遊歩道をつくろう」が全体の 37.7%（26/69）で最も多かった。大塚ワンドの存在を知らない人がほとんどであったが、大塚ワンドでの風景を展示したこともあり、興味を持ってもらえた。 ４．淀川河川公園大塚地区再整備（階段護岸等）の今後に関して ・現時点で特に進展はない。予算は防災系に関してのプライオリティが高い傾向がある。 ・大塚ワンドにおける地域住民活動が、持続的に実施されることが重要である。 ５．その他 ①大塚地区魅力発見プロジェクトの自立的な運営に関してのマニュアル作成中（日本工営都市空間） ②川砂の採取船状況の共有 ③地域消防団の大塚地区船着場での放水訓練状況の共有 ④河川横の管理道路舗装に関して使用予定の砕石が舗装に適さないことが判明し舗装工事は実施しないとのこと（高槻出張所） ６．次回予定 日時：2026 年 1 月 19 日（月）16：00～18：00 場所：高槻市冠コミュニティセンター 令和 7 年度今後の開催予定（2026/3/9）

活動状況



議論する WG メンバー①



議論する WG メンバー②

4.29 第５９回淀川河川公園大塚地区課題検討ＷＧ　　・令和８年１月１９日（月）

実施状況

活 動 名	第 59 回淀川河川公園大塚地区課題検討 WG			
氏　　名	原　健二（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	主催			
活動日	令和 8 年 1 月 19 日（月）			
実施場所	高槻市冠コミュニティセンター  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		12 名	
	内訳	参加者	―	
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	4 名	南大冠東地区住民会議 3 名、冠コミュニティ協議会 1 名
		行政機関	4 名	高槻市都市創造部 4 名
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	3 名	高槻出張所 1 名、日本工営都市空間 2 名
		河川レンジャー事務局	1 名	道場 R（見学）
スケジュール	16:00	開始 本日の議事次第及び配布資料に沿って議論 ・堤防道路の安全性に関して ・淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトに関して ・第 21 回淀川芥川クリーンアップ大作戦（大塚地区）に関して ・淀川河川公園大塚地区再整備（階段護岸等）の今後に関して ・その他		
	16:50	終了		
配付資料	配付資料 ○第 59 回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討ＷＧアジェンダ ○イワダレソウモニタリング調査 20260119WG ○冬の野鳥観察と野草の迷路探検チラシ ○冬の野鳥観察と野草の迷路探検ルートマップ ○R7 年度淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクト関連イベント開催計画 ○第 21 回淀川芥川クリーンアップ大作戦（大塚地区）チラシ ○清掃ルートとゴミ状況 ○第 58 回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討ＷＧ議事録 ○河川レンジャーNEWS　No.73（2025 年冬号）			
関係機関からの支援内容	高槻市：冠コミュニティセンター無料貸し出し 河川レンジャー事務局：資料のコピー等			
河川レンジャーの活動内容	準　備	淀川河川敷大塚地区事前調査、資料作成		
	当　日	議事進行		
	事　後	報告書作成		

参加者からの意見	議事内容 1．堤防道路横断の安全性改善に関して ⑴低草丈草種（イワダレソウ）のモニタリング調査結果報告 ・1 月時点での植被率 7.3%（10 ヶ所のコドラート平均）　全体としては 5%程度 ・チガヤの植被率は 50%程度 ・チガヤへの植生転換は堤防植生としては望ましい。草丈に関してもセイバンモロコシよりも低いため良い傾向。また、イワダレソウを植えた部分のみがチガヤへの植生転換が図られているのでこのままチガヤへの植生転換をモニターしていく。 ⑵堤防天端周辺への草止め状況 ・現状は除草作業が実施された跡なので状況の報告はなし。 ・堤防法面への草止めが対応できないため現状の対策は限定的であり他階段への展開はない。今後、何か変化があれば報告する。 ⑶今後の取り組み ・現状は新たな改善策はない状態なので階段周辺の草刈りの頻度をあげることとする。草丈により見通しが悪くなってきたらその都度、高槻市道路課に連絡することとした。 2．淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトに関して ⑴淀川魅力発見（冬編）「冬の野鳥観察と野草迷路探検」に関して ・事前チェックで野鳥観察ルートは野球場改修工事エリアを通らないのと工事は土日休みなので特に問題ない。 ⑵令和 7 年度イベント開催計画に関して ・「大塚冒険王」に関しては、関西大学により 2/28（土）13:00～16:00 で実施。野草迷路は基本的にイベント終了後に除草する予定 3．第 21 回淀川芥川クリーンアップ大作戦（大塚地区）関して ・大塚ワンドでのゴミ状況を共有し、前年と同様に高槻出張所の維持管理業者へのゴミ搬出のお手伝いを要請し、承諾をいただいた。 ・清掃ルートの安全性確保のために事前に枝打ち等を実施する。 ・大塚ワンドでたき火の跡がありマナーの向上が求められる。 4．淀川河川公園大塚地区再整備（階段護岸等）の今後に関して ・現時点で特に進展はない。引き続き大塚ワンドにおける地域住民活動を推進していく。 5．その他 ①公園でのパラグライダーの練習（飛行はしていない） ⇒　基本的に公園利用者に迷惑がかかる行為は禁止行為になるので見かけたら公園管理センターに通報して欲しい。 ②大塚地区での野球場整備工事情報の共有 ③ドッグランの設置情報共有 ④次回の WG に関して 2025 年度の本 WG の総括と 2026 年度の取り組みを議論予定 次年度は 1 回/3 ヶ月の頻度での開催も検討（現状は 1 回/2 ヶ月） 6．次回予定 日時：2026 年 3 月 9 日（月）16：00～18：00 場所：高槻市冠コミュニティセンター

活動状況



議論する WG メンバー①



議論する WG メンバー②

4.30 冬の野鳥観察と野草の迷路探検 2025 年度　　・令和８年２月７日（土）

実施状況

活 動 名	冬の野鳥観察と野草の迷路探検 2025 年度			
氏　　名	原　健二（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：南大冠公民館）			
活動日	令和８年２月７日（土）			
実施場所	淀川河川公園 大塚地区  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		50 名	
	内訳	参加者	39 名	大人 26 名、子供 13 名
		講師	1 名	日本バードレスキュー協会副理事長/自然の楽しさを伝えたい「高田組」髙田氏
		スタッフ	6 名	淀川河川公園管理センター3 名、日本工営都市空間 2 名、他 1 名
		市民団体等	－	
		行政機関	3 名	南大冠公民館
		学校関係	－	
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:00	開始 あいさつ、注意事項説明、双眼鏡の使用方法説明		
	10:15	野鳥観察 観察、講師による説明、観察まとめ		
	11:32	野草迷路探検		
	11:40	終了・解散		
配付資料		野鳥観察会冊子、大塚冒険王チラシ、淀川芥川クリーンアップ大作戦ちらし アンケート、河川レンジャーNews no.73 2025 年冬号		
関係機関からの支援内容		野草迷路企画（設計、クイズ）：関西大学ボランティアセンター学生 野草迷路施工：高槻出張所、クイズ設置（淀川河川公園管理センター） 双眼鏡借用：あくあぴあ芥川 備品借用/資料コピー等：河川レンジャー事務局		
河川レンジャーの活動内容	準　備	講師打合せ、迷路企画打合せ、迷路会場設営、野鳥観察ルート事前チェック等		
	当　日	司会含めた全体運営		
	事　後	借用物品返却、アンケートまとめ、報告書作成等		
参加者からの意見		アンケートから抜粋 【冬の野鳥観察】 ・予想以上にたくさんの種類の野鳥がいることを発見した。 ・講師の方がていねいに説明してくださり、解りやすかったです。 ・息子が普段野鳥に興味があったようで、深く知れて喜んでいました。 【野草の迷路探検】 ・クイズで淀川についての知識が増えた。 ・かなり広い迷路だったので子供達が楽しめました。クイズは難しかったです。 ・クイズ形式で楽しい。子供が勉強するきっかけになる。		

活動状況



野鳥観察①



野鳥観察②



講師による説明



野草迷路探検

5　連携活動報告

5.1 点野みんなの水辺づくり　　・令和７年４月１３日（日）

実施状況

活 動 名	点野みんなの水辺づくり			
氏　　名	上田　豪　（河川レンジャーアドバイザー） 玉井　理恵（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：摂南大学エコシビル部、ねや川水辺クラブ）			
活動日	令和７年４月 13 日（日）			
実施場所	寝屋川市点野　淀川河川公園点野野草地区（点野砂州・ワンドその周辺）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		21 名	
	内訳	参加者	1 名	一般
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	3 名	ねや川水辺クラブ３名
		行政機関	―	
		学校関係	17 名	摂南大学エコシビル部５名、教授、ゼミ生 11 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	

スケジュール	9：30	現地集合、開始 セーフティトーク、作業予定、注意点など（玉井 RA）
	9：45	本日の予定、淀川まるごと体験会・春について（玉井 RA） 活動の経緯説明、砂州～ワンド見学会 班分け後作業説明・開始 ・清掃班はワンドおよび本流漂着ごみ清掃 ・緑陰班はチガヤ苗周りのカラスノエンドウなどの抜根 ・淀川まるごと体験会の会場となる緑陰中央部の草刈り、通路づくり
	11:30	休憩、まとめ
	12:00	撤収、終了、現地解散
配付資料		淀川まるごと体験会チラシ
関係機関からの支援内容		【枚方出張所】点野流域センターの使用、車両乗り入れ許可、ゲート鍵、ゴミ袋、引上げゴミ処理、仮払い機燃料、チップソー 【寝屋川市】ボランティア車両（軽ダン）、ヘルメット、鎌、鋸、レーキ、ひっかけ棒 【ねや川水辺クラブ】ブルーシート、軍手、ゴム手袋、長靴、カッパ

河川レンジャーの活動内容	準　備	連携団体間調整、物品手配、下見
	当　日	安全管理、作業指導、進行 終了後、点野流域センター片付け 13:00 解散
	事　後	団体間調整・情報共有
参加者からの意見		・漂着ごみを回収した。今日もペットボトルなど非常に多く、できればもっと人数が欲しかった。 ・チガヤ苗の生育促進のために周辺の草を抜いた。引き続き取り組みたい。 ・初めて参加した。考えていた以上に大変な作業だったが、川の環境保全に貢献出来てうれしい。 ・初めて参加した。大変な作業だったが、やりがいを感じた。地域の街づくりに貢献できたと思えうれしい。 ・先月の作業の効果が見えたので、モチベーションが上がる。今後も継続して取り組みたい。 ・みんなで植えた苗が根付いているのでうれしい。愛着を持って見守りたい。 ・苦労して植えたセイタカヨシは一割程度しか根付かなかったようだが、生命力を感じた。根付いていってほしい。 ・オギの苗が全滅したと聞いて残念に思っていたが、よく探すと無事なものもあったので良かった。

活動状況



活動説明



砂州からワンドにかけての見学



清掃活動



チガヤ苗に覆いかぶさる
カラスノエンドウの抜根

5.2 淀川まるごと体験会・春　　・令和７年４月２７日（日）

実施状況

活 動 名	淀川まるごと体験会・春			
氏　　名	玉井　理恵（河川レンジャーアドバイザー） 上田　豪　（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：淀川まるごと体験会・春 2025 実行委員会）			
活動日	令和 7 年 4 月 27 日（日）			
実施場所	淀川河川公園太間公園・点野野草地区  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		74 名	
	内訳	参加者	31 名	大人 13 名、子ども 18 名
		講師	―	
		スタッフ	1 名	新保 P
		市民団体等	16 名	ねや川水辺クラブ 4 名、寝屋川市自然を学ぶ会 4 名、日本水防災普及センター3 名、NPO 法人自然と緑 1 名、(株)YK ベーキングカンパニー4 名
		行政機関	3 名	大阪府枚方土木事務所 2 名、大阪府寝屋川水系公営所 1 名
		学校関係	22 名	摂南大学エコシビル部・石田ゼミ
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:00	開始 実行委員長挨拶、主旨説明、協力団体紹介、注意事項等説明		
	10:10	活動開始 クラフト体験、浸水歩行体験、ワンド紹介ツアー、堤防決壊モデル実験　等々		
	12:05	閉会挨拶		
	12:10	終了		
配付資料	―			
関係機関からの支援内容	【枚方出張所】点野流域センターの使用、車両乗り入れ許可、プログラムで清掃したごみの適正処理　【中央流域センター】ライフジャケット（子ども用）、のぼり、据え置きマイク、ハンドマイク、救急セット、パネル　【河川公園管理センター】白テント　【寝屋川市】ボランティア車両、長靴、トング、軍手　【ねや川水辺クラブ】コンパネテーブル　【大阪公立大高専】冠水道路歩行体験キット　【NPO 日本水防災普及センター】破堤実験モデル　【寝屋川市自然を学ぶ会】クラフト材料　【NPO 自然と緑】クラフト材料　【株式会社エクセディ】ペットボトル飲料 120 本　【株式会社 YK ベーキングカンパニー】菓子パン 150 個			
河川レンジャーの活動内容	準　備	連携団体間調整、実行委員会招集・資料作成・会場等手配等、広報活動（広報「ねやがわ」掲載、チラシ作成・掲示・配布）下見・危険個所確認、物品手配、会場整備作業		
	当　日	連携団体調整、会場設営、スタッフミーティング、進行、撤収		
	事　後	受付簿集計、協力団体お礼、実行委員会共有・反省会日程調整、報告書作成		

参加者からの意見	・いつも来ている。今日はブランコないの？楽しみにしていたので残念。 ・木の枝のペンダント。味があってかわいい。愛着がわく。 ・このあたりでみられる植物を展示してくれていた。即席の植物園、大変興味深い。 ・草笛など、大人も子どもも楽しめた。 ・寝屋川市の流域治水について興味深く見学した。 ・防災についての体験型プログラムを取り入れている点など、工夫されていることがわかる。 ・近くに住んでいるが、河川公園には久しぶりに来た。ずいぶんきれいに整備されたのですね。また来ます。 ・トイレや水場が整備されたとは知らなかった。利用しやすくなります。 ・ワンドには結構ごみがたまるのですね。 ・夏はなくなったのですか？春が増えたのですね、よかった。 ・緑陰広場はこの時期、まだ木陰になっていないのですね。センダンの葉は新芽がやっと出てきたところですね。新しい発見がありました、ありがとうございます。

活動状況



主催者挨拶



クラフト体験



浸水歩行体験



堤防決壊モデル実験

5.3 点野みんなの水辺づくり　　・令和７年５月１１日（日）

実施状況

活 動 名	点野みんなの水辺づくり			
氏　　名	上田　豪　（河川レンジャーアドバイザー） 玉井　理恵（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：ねや川水辺クラブ、摂南大学エコシビル部）			
活動日	令和７年５月 11 日（日）			
実施場所				
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		７名	
	内訳	参加者	１名	大人１名
		講師	－	
		スタッフ	１名	新保Ｐ
		市民団体等	３名	ねや川水辺クラブ ３名
		行政機関	－	
		学校関係	２名	摂南大学エコシビル部 ２名
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	－	

スケジュール		
	9:30	現地集合、荷下ろし、開始 諸注意、前日下見時のトピック説明 作業説明 作業開始 ・1 号ワンド本流側ウォーターマッシュルーム侵入経路考察 ・ウォーターマッシュルームの説明、試験的駆除 ・ヒシの駆除 ・漂着ごみの清掃
	10:15	休憩
	11:00	・緑陰のセイタカヨシ移植区域のオオブタクサ抜根
	11:15	・抜根した植物の集積
	11:45	まとめ
	12:00	撤収、終了、現地解散

配付資料	ウォーターマッシュルームに関する資料（回覧）
関係機関からの支援内容	【枚方出張所】点野流域センターの使用、車両乗り入れ許可、ゲート鍵、ゴミ袋、引上げゴミ処理 【寝屋川市】ボランティア車両（軽ダン）、ヘルメット、鎌、鋸、レーキ、ひっかけ棒 【ねや川水辺クラブ】ブルーシート、軍手、ゴム手袋、長靴、ライフジャケット

河川レンジャーの活動内容	準　備	団体間調整、物品手配、下見、危険個所確認
	当　日	進行、安全管理、技術指導
	事　後	点野流域センターで用具洗浄、物品片付け、団体間共有、報告書作成
参加者からの意見		・ウォーターマッシュルームについて、聞いたことはあったが、とうとう点野でもみつかったか。 ・ウォーターマッシュルーム今回初確認であり、広がる前に駆除しきれると思っていたが、よくみると既に広がっていた。地下茎で広がるので、土ごとはぎ取ったが、手間がかかりすぎる。 ・ナガエツルノゲイトウで有効とされる、遮光シートなどを試す方がよいかも。 ・本流との境目の低いところに沿って侵入しているようだ。先月水位が高めだったので、その時に侵入したと思われる。 ・本当に初確認か。チドメグサと混同して、見逃してきただけかも。 ・ヒシも昨年は広がってから苦労して駆除したので、早めに回収しきりたいが、作業人数が少なすぎる。 ・セイタカヨシの生育状況については、先月の時点では、1割程度しか根付いていないように見えたが、8割程度根付いているようでよかった。 ・チガヤとオギの苗を植えたところが、草刈りされていた。出張所とも連携が取れているはずであったが、どうなっているのか？！　以前、残す約束の魚付き樹木がわざわざ伐採されたが、同じことを繰り返しているのでは？

活動状況



ウォーターマッシュルームを表土ごとはぎとる



地下茎を切らないようビニール袋に回収



1号ワンドのヒシ回収



ライナーを切らないようゆっくり取込む

5.4 鳥飼ワンド探検ツアー　　・令和７年６月１日（日）

実施状況

活 動 名	第 10 回流域治水ｸﾞﾘｰﾝｲﾝﾌﾗ・川づくりプロジェクト in 鳥飼地区 鳥飼ワンド探検ツアー			
氏　　名	伊藤　茂　（毛馬出張所管内河川レンジャー） 杉本　真一（高槻出張所管内河川レンジャー） 原　健二　（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年６月１日（日）			
実施場所	淀川右岸　摂津市　鳥飼ワンド３号、淀川河川公園鳥飼上地区、下地区  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		30 名	
	内訳	参加者	20 名	鳥飼ワンド探検ツアー：大人 10 名、子ども 9 名（当日ｷｬﾝｾﾙ 2 組） 河川レンジャー運営会議委員：1 名 淀川わいわいガヤガヤ祭のレンジャーブース来場者：計 1156 名 （内訳）午前：大人 286 名、子ども 270 名、 午後：大人 277 名、子ども 323 名
		講師	1 名	河合氏
		スタッフ	6 名	奥山 R、竹本 R、波戸 R、　指導員：酒井 RA・上田 RA 新保 P
		市民団体等	―	
		行政機関	1 名	摂津市政策推進課
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	2 名	
スケジュール	10:00	淀川わいわいガヤガヤ祭　開会 ブース展示・解説・来場者との交流 探検ツアーの紹介、参加呼びかけ、申し込みの受付		
	10:30	探検ツアー開始、淀川河川敷の植物観察（河合氏による生き物の解説）		
	11:00	鳥飼ワンド３号前で休憩 水辺の安全指導（ライフジャケット着用）杉本 R ワンドの成り立ち、鳥飼ワンドの現状を説明（河合氏） ワンドの周辺の生き物観察、 投網による生き物調査・採取した生き物の解説（河合氏）※採取補助:伊藤 R 参加者、アンケート記入と記載		
	12:15	探検ツアー終了 ※講師による指導 10:30-12:15 ※鳥飼ワンドのモニタリング調査（ワンドの定点撮影、採取した生き物の種類を記		

	15:00	録)、ゴミ拾いを河川レンジャーが実施 展示終了　※ブースは 10:00-15:00 まで展示を行った。
配付資料		淀川の環境を学ぼう（講師作成)、レンジャーNews、アンケート
関係機関からの 支援内容		【レンジャー事務局】 ・維持活動資材（胴長、タモ網など)、活動紹介パネル（活動紹介ブース） →レンジャー、鳥飼ワンド紹介など、講師用パネル 【高槻出張所】バケツ、工事用シャベル、火ばさみ 【毛馬出張所】緊急用道路通行許可証、ゲート鍵の借用、ゴミの回収依頼 【鳥飼サービスセンター】当日の会議室借用 【摂津市政策推進課】アンケート回答者への粗品提供 【淀川わいわいガヤガヤ祭実行委員会】展示ブース（机、ｲｽ）の提供 【河合先生】生体展示用生き物（ｶﾆ）の提供　協力:伊藤 R、波戸 R
河川レンジャーの 活動内容	準　備	・現地下見（4/17） ・現地事前作業＆打合せ(5/19)→ワンドへの動線及び作業場所の除草、当日の運営、活動紹介ブースについて ・資材、配布資料受取（5/30）
	当　日	ワンド探訪ツアーの実施、安全管理 「淀川わいわいガヤガヤ祭」河川レンジャーブースの設営、運営、
	事　後	関係機関への挨拶、活動記録のとりまとめ 支援物品の返却
参加者からの意見		■探検ツアーの意見・感想 ・ワンドが整備されてきれいになっていた ・身近な場所なので自然にふれることができてよかった ・魚だけでなく植物のことも知ることができ勉強になった ・新しく知れた魚もあったため理解しようと思った。 ・ガイドやスタッフさんが丁寧に、今に至った環境の経緯や理由を教えてくれてよく学べました ・本物にふれて、名前を知れるのも子どもにとってよかったです ・集合場所から現地は遠いが仕方ないですね（カニを見せてくれて退屈しなかった） ・先生の話にとても興味がもてた ・ワンドのことがよくわかった ・先生の話にとても興味がもてた ・カニや魚を見てさわって、息子はよろこんでいました！ ・定期的に活動をしてほしい ・ワンドは自然や生き物にふさわしい場所として子どもたちに残したい。 ・予定していた時間に活動が終わるように時間配分してほしい ■鳥飼ワンドに行かれての感想や今後の利活用等の意見 ・定期的に活動をしてほしい ・自然豊かな所だと思った ・ワンドは手入れをしないと維持できないことを知りました ・昨年よりきれいだった ・ゴミがいっぱいあった、モグラの穴みたいなのがあった。 ・自然や生き物にふれる場所が子どもたちに残したい、大事にしたい場所だなと思いました ・虫探しがしたい ・もっと活用されればと良いと思いますが、近くに住むものとしましてもそのあたりが問題かと思います。

活動状況



河川レンジャーブース展示物の解説



河川敷の植物観察



河川敷の水たまりで生き物採取



鳥飼ワンドの生き物観察

5.5 点野みんなの水辺づくり　　・令和７年６月８日（日）

実施状況

活 動 名	点野みんなの水辺づくり			
氏　　名	上田　豪　（河川レンジャーアドバイザー） 玉井　理恵（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：ねや川水辺クラブ、摂南大学エコシビル部）			
活動日	令和７年６月８日（日）			
実施場所				
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		4名	
	内訳	参加者	1名	大人１名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	3名	ねや川水辺クラブ３名
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	9:30	現地集合、荷下ろし、開始 諸注意 ・１号ワンドの状況確認（先月試行的に駆除したウォーターマッシュルームの状況とヒシの繁茂状況、通水の悪さ） ・大阪プロジェクト（連携団体らが参画するマイクロソフト社の環境事業）で移植されたセイタカヨシ、オギ、チガヤ、オニグルミ等の生育状況の確認 作業説明 作業開始		
	10:00	・広場ベンチ付近の花火跡の清掃 ・砂州緑陰の草刈り ・移植したセイタカヨシ、オギの生育の妨げとなるオオブタクサ、ネズミムギ、ナヨクサフジ、カナムグラの抜根、シロザの間引き。		
	11:30	休憩		
	12:00	・故意に折られた見守りの丘のエノキの応急処置 ・まとめ		
	12:30	現地解散		
配付資料		―		

関係機関からの支援内容		【枚方出張所】点野流域センターの使用、車両乗り入れ許可、ゲート鍵、ゴミ袋、ゴミ処理 【寝屋川市】ボランティア車両（軽ダン）、鋸、レーキ、ひっかけ棒 【ねや川水辺クラブ】フォーク、ブルーシート、軍手、ゴム手袋、長靴
河川レンジャーの活動内容	準　備	団体間調整、物品手配、下見、危険個所確認
	当　日	進行、安全管理、技術指導
	事　後	点野流域センターで用具洗浄、物品片付け、団体間共有、報告書作成
参加者からの意見		・ヒシが水面の 1/3 を覆ってしまったが、昨年のような大掛かりな駆除に時間を費やすことはどうかと思う。 ・通水の悪さから、1 号ワンドにはヘドロがたまっている。 ・出水時にしか通水がない構造上の問題の解決を求める要望書（連名）を作成する。 ・緑陰に植樹したクルミは花も咲き、順調のようだ。それに対して見守りの丘のほうは、先月はすでに瀕死の状況であったが、今月はほぼ絶望的状況。底質のすぐ下にごろ石がつめてあるので、生育には適さない環境である。

活動状況



先月、表土ごと取り除いたウォーターマッシュルーム



砂州の緑陰も仮払い機で広場と通路を確保



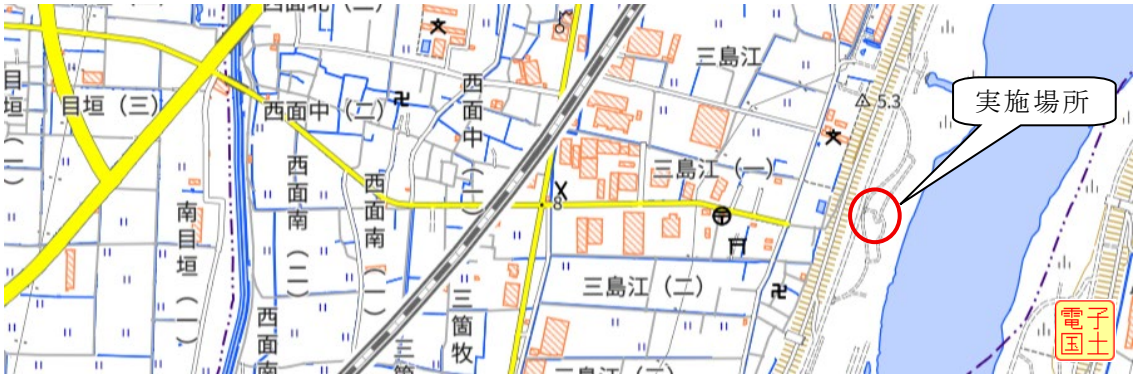
オギの周辺のオオブタクサ、アカザシロザなどを抜根



折られたエノキに応急処置を施す

5.6 自然とのふれあい（三島江野草地区）　　・令和７年６月２９日（日）

実施状況

活 動 名	自然とのふれ合い「ワンドの生き物探索」（三島江野草地区）			
氏　　名	酒井　信行（河川レンジャーアドバイザー） 竹本　克巳（高槻出張所管内河川レンジャー）			
運営形態	主催			
活動日	令和７年６月 29 日（日）			
実施場所	淀川河川公園三島江野草地区 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		17 名	
	内訳	参加者	6 名	大人２名、子ども４名
		講師	1 名	河合氏
		スタッフ	3 名	岡村 R、波戸 R、公園管理センター１名
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	6 名	高槻六中　顧問１名・生徒２名、　高校生３名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	10:00 10:25 11:10 11:20 11:30	開始 主催者挨拶、趣旨説明、注意事項説明 三島江野草地区の管理方針、環状剥皮法の仕組みの説明 生き物観察会（河合講師） 投網・もんどり網・タモ網による採集と観察、プランクトン採集と観察 環状剥皮の実験区域で活動紹介 活動総括、質疑回答 終了		
配付資料		活動内容、三島江野草地区の管理方針、活動区域図、環状剥皮実験の経過、アンケート、河川レンジャーニュース、子ども向け安全チラシ		
関係機関からの支援内容		中央管理センター：配布印刷物、活動支援物品（ハンドマイク、胴長ほか） 高槻出張所：ノコギリ、鎌、剪定バサミ、手袋 公園管理センター：テント、机、ビニールシート、事前の草刈り		
河川レンジャーの活動内容	準　備	配布印刷物の検討、近隣地域及び学校等へのチラシ配布 講師先生への依頼、公園管理センターへの草刈り等の依頼、現地下見ほか		
	当　日	活動の実施（暑さ対策を行いプログラムの変更）		
	事　後	貸与品等の返却		
参加者からの意見		・暑かったけど参加して良かった。 ・子どもはワンドの生き物を見て楽しんでいた。特に亀や小さな魚、田ウナギなどを見られて良かった。 ・また、参加したい。 ・中学生らは、環状剥皮をしたかったが、蜂がいて出来なかったのが残念。 ・木陰で涼む場所があったので良かった。		

活動状況



挨拶と活動内容の説明



もんどり網の説明



プランクトンの採集



採取した生き物の説明

5.7 点野みんなの水辺づくり　　・令和７年７月１３日（日）

実施状況

活 動 名	点野みんなの水辺づくり			
氏　　名	上田　豪　（河川レンジャーアドバイザー） 玉井　理恵（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：ねや川水辺クラブ、摂南大学エコシビル部）			
活動日	令和７年７月 13 日（日）			
実施場所	点野砂州およびワンドとその周辺（点野野草地区）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		８名	
	内訳	参加者	１名	大人１名
		講師	－	
		スタッフ	１名	新保 P
		市民団体等	４名	ねや川水辺クラブ ４名
		行政機関	－	
		学校関係	２名	摂南大学エコシビル部２名
		淀川河川事務所	－	
		河川レンジャー事務局	－	

スケジュール	
9:30	現地集合、荷下ろし、開始 諸注意、作業説明 作業開始 ・1 号ワンドのヒシ回収作業 ・水辺清掃
11:00	・ワンドでの作業のための通路の確保 休憩
11:45	・作業再開
12:00	・まとめ
13:00	現地解散

配付資料	－
関係機関からの支援内容	【枚方出張所】点野流域センターの使用、車両乗り入れ許可、ゲート鍵、回収したゴミ・外来植物の適正な処理 【寝屋川市】ボランティア車両（軽トラ）、レーキ、ひっかけ棒、刈り払い機 【ねや川水辺クラブ】フォーク、ブルーシート、軍手、ゴム手袋、長靴、胴長、ライフジャケット、プラボート

河川レンジャーの活動内容	準　備	団体間調整、物品手配、下見、危険個所確認
	当　日	進行、安全管理、技術指導
	事　後	点野流域センターで用具洗浄、物品片付け、団体間共有、報告書作成
参加者からの意見		・9 月実施予定の淀川まるごと体験会において、カヌー体験を 1 号ワンドで実施することが決まったので、早急にヒシを回収し、1 号ワンドの半分くらいは水面を開けなければならない。 ・急遽ボートを出してヒシを回収した。 ・昨年より人員は少ないが、昨年の経験者が多数いたので、作業はスムーズだった。 ・昨年の経験から、運搬が楽なプラボートを利用したことや、ボート満杯まで入れないことで最も負担のかかる陸上げの作業がスムーズだった。 ・先月応急処置を施した、見守りの丘のエノキが刈り取られていた。切り口が素人作業であることから、先月無理やり折った人が、応急処置を施したことに怒り刈り取ってしまったのではないか。 ・ワンドのヒシ回収がなければ作業を予定していた、オギ、チガヤの周辺の草抜きは、様子を見て別の機会に実施する。 ・オギ、チガヤの水やりについいても、検討課題である。 ・1 号ワンドでの作業がしやすいよう、周回できる通路が必要。釣り人などの通行により自然と通路が形成されているところもあるが、維持管理活動のために通路を確保したい。手が空いているときに、刈り払い機を入れるようにしていこう。

活動状況



プラボートを 1 号ワンドへ降ろす



ヒシをプラボートに乗せる水中班



ひっかけ棒等でヒシを引上げる陸上班



刈り取られた形跡のあるエノキ

5.8 枚方市　市教研社会班対象　防災授業研究　　・令和７年７月２３日（水）

実施状況

活 動 名	枚方市　市教研社会班対象　防災授業研究			
氏　　名	岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー） 山口　遼太（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	協力			
活動日	令和 7 年 7 月 23 日（水）			
実施場所	枚方市立川越小学校 			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		27 名	
	内訳	参加者	22 名	
		講師	―	
		スタッフ	1 名	波戸 R
		市民団体等	―	
		行政機関	―	
		学校関係	―	
		淀川河川事務所	3 名	流域治水課
		河川レンジャー事務局	1 名	

スケジュール	14:00	活動開始
	14:05	司会進行・導入の説明（山口 RA）
	14:07	淀川と枚方市のかかわり・現在の取組（流域治水課）
	14:25	質疑応答
	14:30	＜休憩＞
	14:40	河川レンジャー活動の体験 ・「マイ・タイムライン作り」（岡村 R）
	15:20	・補足説明（山口 RA）
	15:30	質疑応答
	15:40	河川レンジャーが取り組む、他の防災学習事例（山口 RA）
	15:55	全体を通して質疑応答
	16:05	まとめ、終了

配付資料		マイ・タイムラインツール一式（シート・シール・マップ・記入表） スライド資料、レンジャーニュース、防災出前講座関連資料、など
関係機関からの支援内容		淀川河川事務所　流域治水課：講演パートの対応、資料作成 河川レンジャー事務局：資料印刷、パンフレット提供
河川レンジャーの活動内容	準　備	関係先打合せ、資料作成、物品申請
	当　日	物品搬入、質問対応、撤収、物品搬出
	事　後	アンケート結果の集計、書類作成

参加者からの意見	・もし 4 年生を担当することがあれば、桜丘北小学校のようないろんな立場の人が繋がり、児童に「できた感」が感じられる授業をやってみたい。 ・人によって、住んでいる場所によっては違うこともあるかもしれないが、避難するタイミングのおすすめとかを紹介してもらえると嬉しい。子どもの中には、真面目でいつまでと言ってもらえると安心する子もいるので、あくまでも違っていいと言ってもらえればいいのですが。 ・正解は一つではないと思いますが、「お家の人と話して考えてみてください」だけでなく、ひとつのモデル（正解）を子供達は知りたがると思うので、その時間が欲しいです。 ・枚方市内のいろいろな場所で、すでに活動をされていると知らず驚きました。 ・マニュアルやマイ・タイムラインのキットを使って授業をしてみたい。（4 名）

活動状況



流域治水課より淀川の取組について解説



マイ・タイムライン作りの解説と実演



マイ・タイムライン作りを体験する教員



防災学習の取組を事例を交えて解説

5.9 点野みんなの水辺づくり　　・令和７年９月１４日（日）

実施状況

活 動 名	点野みんなの水辺づくり			
氏　　名	上田　豪　（河川レンジャーアドバイザー） 玉井　理恵（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：ねや川水辺クラブ、摂南大学エコシビル部）			
活動日	令和７年９月 14 日（日）			
実施場所	点野砂州およびワンドとその周辺（点野野草地区）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		18 名	
	内訳	参加者	4 名	大人 4 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	5 名	ねや川水辺クラブ 4 名、YK ベーキングカンパニー1 名
		行政機関	―	
		学校関係	9 名	摂南大学エコシビル部 2 名・石田ゼミ 7 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	9:30	現地集合、荷下ろし、開始 諸注意 作業説明（9/21 実施予定の淀川まるごと体験会に向けての会場整備） 作業開始 ・1 号ワンドのヒシ他水生植物の除去作業 ・ワンドでの作業のための通路の確保 ・砂州広場の草刈り、通路確保 ・水辺清掃 ・昆虫観察会下見と打ち合わせ		
	11:45	休憩		
	12:00	まとめ		
	12:20	終了、現地解散		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		【枚方出張所】点野流域センターの使用、車両乗り入れ許可、ゲート鍵、回収したゴミ、外来植物の適正な処理 【寝屋川市】ボランティア車両（軽トラ）、レーキ、ひっかけ棒、刈り払い機 【ねや川水辺クラブ】フォーク、ブルーシート、ゴム手袋、長靴、胴長、ライフジャケット、プラボート		

河川レンジャーの活動内容	準　備	団体間調整、物品手配、下見、危険個所確認
	当　日	進行、安全管理、技術指導、流域センターでの片付け後解散
	事　後	点野流域センターで用具洗浄、物品片付け、団体間共有、報告書作成
参加者からの意見		・8 月の活動を中止したため、1 か月手を入れなかったらどうなるか影響を実感した。 ・1 号ワンドについて、雨が少なく本流からの通水もなかった様子で、水面はヒシやナガエツルノゲイトウなどに覆われて、ヘドロがたまっていた。 ・7 月にヒシを除去した上流側 1/3 ほどの範囲は、ナガエツルノゲイトウが陸側から分布を広げているようであった。 ・7 月に手が回らず放置した下流側は、ヒシが優先して分布し、成長著しく大型で葉も肉厚な状況となっていた。 ・今回は、アルミボートとプラボートの 2 艇を導入し、カヌー体験が可能となる水域を拡大することができた。 ・ほぼマックスの状態であったヒシ分布が、今回空間を作ったことでさらに分布を拡大しようとするのではないか危惧される。 ・昆虫観察会のルート検討をおこなったが、緑陰で観察のために残しておいたノイバラ株が刈られていたのがショックだった。そこだけで見られるレアなオトシブミがいたのに…。 ・初めて参加した。話は聞いていたが、舐めていた。次回からも継続して参加したい。 ・今回は手が回らなかったが、移植したチガヤとオギが他の丈の高い草に覆われているので、心配だ。

活動状況



初参加グループの方々への自己紹介



ボート 2 艇での作業



陸に引き上げ処分へ



カヌー5 艇分の体験スペースを確保

5.10 淀川まるごと体験会・夏　　・令和７年９月２１日（日）

実施状況

活 動 名	淀川まるごと体験会・夏			
氏　　名	玉井　理恵（河川レンジャーアドバイザー） 上田　豪　（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：淀川まるごと体験会 2025・夏実行委員会）			
活動日	令和 7 年 9 月 21 日（日）			
実施場所	淀川河川公園太間公園・点野野草地区  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		107 名	
	内訳	参加者	47 名	大人 26 名、子ども 21 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	33 名	ねや川水辺クラブ 7 名、寝屋川市自然を学ぶ会 6 名、枚方カヌー協会 3 名、NPO 法人日本水防災普及センター1 名、近畿水の塾 1 名、自然環境復元協会 1 名、NPO 法人自然と緑 1 名、（株）エクセディ 3 名、YK ベーキングカンパニー(株)10 名
		行政機関	5 名	大阪府都市計画室 2 名、大阪府枚方土木事務所 1 名、大阪府議会議員 1 名、寝屋川市議会議員 1 名
		学校関係	21 名	摂南大学エコシビル部 11 名（OB 含む） 摂南大学石田ゼミ 10 名（教授含む）
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	9:35	まるごと体験会　開始 実行委員長挨拶、主旨説明、協力団体紹介、注意事項等説明		
	9:55	活動開始 【水上体験】：カヌー、E ボート体験 【陸上体験】：クラフト体験、浸水歩行体験、ワンド紹介ツアー、堤防決壊モデル実験、昆虫観察会、ツリーブランコ、他ブース出展、等々		
	12:20	閉会挨拶		
	12:40	終了		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		【枚方出張所】点野流域センターの使用、車両乗り入れ許可　【中央流域センター】ライフジャケット（子ども用）、のぼり、据え置きマイク、ハンドマイク、救急セット　【河川公園管理センター】白テント　【寝屋川市】ボランティア車両 【大阪公立大高専】冠水道路歩行体験キット　【大阪湾広域臨海環境整備センター】チラシ印刷、カラーリボン、他		
河川レンジャーの活動内容	準　備	連携団体間調整、実行委員会招集・資料作成・会場等手配等、広報活動（広報「ねやがわ」掲載、チラシ作成・掲示・配布）、下見、物品手配、会場整備作業		
	当　日	連携団体調整、会場設営、スタッフミーティング、進行、撤収		
	事　後	受付簿集計、協力団体お礼、実行委員会共有・反省会日程調整、報告書作成		

参加者からの意見	・楽しかった。１８歳になる娘が小学生の時に参加して、SUP 体験がとても楽しい思い出になっている。下の子が学校でチラシをもらってきたので、ぜひ体験させたいと思った。準備など大変だと思いますが、ずっと続けてほしいです。 ・小学校で配られたチラシを見て参加したら、同級生も参加していた。 ・ネットで「カヌー」を検索していたらヒットした。無料で体験できるのも珍しく、また面白そうなので、申し込んだ。宇治から来た。 ・ネットで知って申し込んだ。ここへ来るのは初めてだが、こんなに遊べるとは思わなかった。来た甲斐があった。 ・風が強くなりボートには乗れないかと思ったが、臨機応変な対応をしてくださり、乗れてよかった。 ・途中で風が強くなり、E ボートの安全運航が難しい状況であることを知らされたときに、川は舐めたらあかんなと思った。乗れないかも知れないといわれたときは残念に思ったが、ルート変更して乗せてもらえたので良かった。逆にそのほうが子どもたちにはよかったのかもしれない。「安全を確保したうえで運行」と強調されていたことも印象にのこります。 ・クラフト体験で、家族全員がみな自分の作品を作れて楽しかった。大事にします。 ・クラフト体験やぬりえコーナーがあって退屈しなかった。ブランコがよかった。 ・近くに、こんなに川に近づけるところがあるとは思わなかった。 ・毎月草刈りなどの活動をされているのは知らなかった。手伝いたい。 ・昆虫観察会、いっぱい虫が捕れて楽しかった。詳しく説明してくれてよかった。 ・親子でカヌー体験ができてよかった。 ・浸水歩行体験は、はじめなかなか歩き出せなかった。 ・お世話をされるスタッフは大変だと思います。来年はパパも手伝えればよいです。

活動状況



緑陰での開会式



学生による浸水地歩行体験



点野ワンドでのカヌー体験



昆虫観察会での生物解説

5.11 点野みんなの水辺づくり　　・令和７年１０月５日（日）

実施状況

活 動 名	点野みんなの水辺づくり			
氏　　名	上田　豪　（河川レンジャーアドバイザー） 玉井　理恵（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：ねや川水辺クラブ、摂南大学エコシビル部）			
活動日	令和７年 10 月 5 日（日）			
実施場所	点野砂州およびワンドとその周辺（点野野草地区）  			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		8 名	
	内訳	参加者	1 名	大人 1 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	3 名	ねや川水辺クラブ 3 名
		行政機関	―	
		学校関係	4 名	摂南大学エコシビル部 4 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	
スケジュール	9:30	現地集合、荷下ろし、開始 諸注意 作業説明 2～3 か月ワンドの作業中心だったので、セイタカヨシ・オギの移植エリアの手入れができていなかったので、丈がのびたオオブタクサやセイバンモロコシをとりのぞく		
	10:00	作業開始 セイバンモロコシはなるべく抜根したいが、穂がでているものは穂より下で刈り取りも可。		
	11:45	休憩		
	12:00	まとめ		
	12:20	終了、現地解散		
配付資料		―		
関係機関からの支援内容		【枚方出張所】点野流域センターの使用、車両乗り入れ許可、ゲート鍵、回収したゴミ、外来植物の適正な処理 【寝屋川市】レーキ、ひっかけ棒、刈り払い機、鋸 【ねや川水辺クラブ】軍手、ゴム手袋、長靴、カッパ、鎌		

河川レンジャーの活動内容	準　備	団体間調整、物品手配、下見、危険個所確認
	当　日	進行、安全管理、技術指導、流域センターで片付け後解散
	事　後	点野流域センターで用具洗浄、物品片付け、団体間共有、報告書作成
参加者からの意見		・セイタカヨシ、オギ、チガヤは移植後 1 年経つ。当初は他の草に負けるのではと心配したが、一定数は確実に根付き育っているので安心した。 ・春から初夏にかけて、苗の生育を妨げる丈の高い草を除去してきたが、夏の間は放置していたのでオオブタクサやセイバンモロコシが茫々に茂り、苗が見えなくなっていたので、心配した。 ・6 月にオギのエリアでは、他の草を除去したが、その際にオギの苗と他のイネ科の新芽の見分けがつかず、イネ科の葉が認められれば抜根せずに残すようにしていた。その結果、セイバンモロコシが多く蔓延っていた。 ・先月は刈り払い機での草刈りを担当していたので、手作業は効率悪く感じた。 ・鎌を使っての手作業のメリットは残したいものと、駆除したいものを選択的に刈れる点。自走式草刈り機では無理。その点、瞬時に見分けられる熟練者がコントロールする刈り払い機なら、ある程度選択的な刈り取りは可能である。状況に応じて使い分けることが、我々が取り組む川づくり、維持管理のポイントでもある。

活動状況



セイタカヨシ周辺のセイバンモロコシとオオブタクサ



覆いかぶさるクズなどをとり除く



オギ周辺のセイバンモロコシをとり除く

5.12 点野みんなの水辺づくり　　・令和７年１１月９日（日）

実施状況

活 動 名	点野みんなの水辺づくり			
氏　　名	上田　豪　（河川レンジャーアドバイザー） 玉井　理恵（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：摂南大学エコシビル部、ねや川水辺クラブ）			
活動日	令和７年 11 月 9 日（日）			
実施場所	寝屋川市点野　淀川河川公園点野野草地区（点野砂州・ワンドその周辺）茨田樋遺跡水辺公園			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		６名	
	内訳	参加者	１名	大人１名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	１名	ねや川水辺クラブ１名
		行政機関	―	
		学校関係	４名	摂南大学エコシビル部２名、石田ゼミ２名（石田教授含）
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	



スケジュール	9:00	点野流域センター集合、開始 雨のため、途中切り上げもある旨説明
	9:30	緑陰の状況を説明し後半雨をしのぎながらクズを除去する作業について説明 天気予報を確認、前半は茨田樋遺跡水辺公園の作業をすることに変更し全員移動。
	9:40	作業開始 周辺および河川公園からのアプローチ部分は河川事務所による草刈りが済んでいたので、手すり等に残ったクズを取り除き、刈り草が山になったところなど修景面を整える作業をおこなった。 エコ部は幹線水路のＥボート乗船場付近およびコースの下見。
	11:00	雨足が強まったので作業を中断 参加団体と協議のうえ作業を終了・撤収することに決定。
	11:30	流域センターで後片付け後、まとめ・共有、終了、解散
配付資料		―

関係機関からの 支援内容		【枚方出張所】点野流域センターの使用、車両乗り入れ許可、ゲート鍵 【寝屋川市】ボランティア車両（軽トラ）、フック、レーキ、フォーク、長靴、合羽、鎌 【ねや川水辺クラブ】ブルーシート
河川レンジャーの活動内容	準　備	連携団体間調整、物品手配、下見
	当　日	安全管理、作業指導、進行
	事　後	団体間調整、情報共有
参加者からの意見		・雨なのでどこまでやれるかと思ったが、河川公園から茨田樋遺跡水辺公園をつなぐスロープと階段部分の手すりに絡まったクズが除去できて、修景が整った。最低限やっておくべきことはできたのではないか。 ・スロープのコンクリートを割ってクズが出てきている。刈り取ってもこぶ状の根元が残っており、子どもや高齢者がつまずいて転倒することが危惧される。今回剪定鋏でなるべく根元を切り取った。 ・スロープの手すりの破損が何年も放置されたままで、だんだんひどくなってきたように思う。 ・今年は銀杏がたくさんなっているようだ。数年前の台風でやられたあとしばらく心配であったが、ようやく完全復活したように見える。 ・今回は雨のために緑陰の作業ができなかったが、冬季は草刈り作業がないのでどんな作業が必要か考えながら進めたい。

活動状況



通路にはみ出た刈り草をレーキで集める



スロープ手すりに絡みついたクズの除去

5.13 ふれあい土木展２０２５コーナー出展　　・令和７年１１月１４・１５日（金土）

実施状況

活 動 名	ふれあい土木展 2025 コーナー出展		
氏　　名	道場　明子（枚方出張所管内河川レンジャー）、岡村　雅広（枚方出張所管内河川レンジャー） 竹本　克巳（高槻出張所管内河川レンジャー）、波戸　睦　（毛馬出張所管内河川レンジャー） 中野　清　（伏見出張所管内河川レンジャー）		
運営形態	協力		
活動日	令和 7 年 11 月 14 日（金）・15 日（土）		
実施場所	国土交通省近畿地方整備局 近畿技術事務所  		
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数	985 名	
	内訳 参加者	968 名	14 日　大人 226 名、子ども 38 名 15 日　大人 415 名、子ども 289 名 計　大人 641 名、子ども 327 名
	内訳 講師	―	
	内訳 スタッフ	14 名	14 日：赤畠 R、奥山 R、パートナー2 名 15 日：白川 R、天野 R、土井 R、西畑 R、パートナー6 名
	内訳 市民団体等	―	
	内訳 行政機関	―	
	内訳 学校関係	―	
	内訳 淀川河川事務所	1 名	管理課
	内訳 河川レンジャー事務局	2 名	
スケジュール	10:00	コーナー開始、(9:30 朝会) 以下のコーナーを分担し、運営 ・川ゴミを知ろう（展示とクイズ） ・模型で洪水を体験しよう（模型体験） ・水害に備えよう（段ボールベッド・トイレ展示と避難リュック体験） ・ワンドを知ろう（展示と模型体験、塗り絵体験） ・淀川の地勢	
	16:00	終了(終了後、夕会)	
配付資料		レンジャーnews、出前講座チラシ（浸水歩行・防災）、河川レンジャー紹介リーフレット、川づくりパートナーチラシ、一斉美化アクションチラシ、活動案内チラシ、淀川のワンドリーフレット、コーナーパンフ(A3 8 つ折り)	
関係機関からの支援内容		・淀川河川事務所：物品の運搬　　・近畿技術事務所：机、椅子 ・レンジャー事務局：展示パネル他	
河川レンジャーの活動内容	準　備	・企画運営 G による出展内容の検討打合せ（9/12、10/1、10/24、11/7、11/13） ・企画運営 G 制作作業（11/6 道場 R、11/7 中野 R、道場 R、） ・ブース出展・備品申込み、・スタッフ募集、コーナー運営計画書作成 ・連絡調整会議・現地説明会への出席（波戸 R、中野 R） ・ブース設営作業（11/13 道場 R、竹本 R、波戸 R、中野 R）	
	当　日	ブース運営、安全管理、来場者対応、当日スタッフへの情報共有・レクチャー	
	事　後	ブース撤去・物品の搬出・運搬、総括会議（11/22）	
参加者からの意見		・小学生の息子とともに洪水について楽しく学習できました、ありがとうございます。 ・機会があったらレンジャーの活動に参加してみたい。 ・幅広い年齢の方皆さんが川ゴミについて認識されており、良くしたいとの気持ちを持っていることが分かりました。	

	・川ゴミコーナーではシールをどこに貼るかを一生懸命考えてくださる方が多く、進んで貼ってもらえて嬉しかったです。塗り絵も皆さんとても楽しそうでした。 ・お子さんのおられる親御さんですが、防災に強い意識を持たれている方が多かったように感じます。 ・淀川をじっくり見たことがないという来場者がおられた。 ・塗り絵は兄弟姉妹で来ても早く終わる子、こだわる子とバラバラで、待っている子が退屈そうでした。担当レンジャーが紙芝居などしてくれて助かりましたが、パートナーでも何かできればなぁと思いました‥。 ・防災リュックを作ろうコーナーでは、遊びとしてシールを貼っていくと予想していましたが、小学生も含めて真剣にシールを選んでリュックを作ってくれた。 ・河川レンジャーを知らない人が多い。レンジャーがいろんな活動を行っていることや参加していることを知らない人が多いので地道に宣伝活動等を含めた幅広い活動を進めていく必要性を感じた。土木展に参加している関係者にも知らない人が多い。 ・アンケートシールを貼ってもらう時にただ貼ってもらうだけでなく会話していくと、家庭での家族のゴミの捨て方の意識も見えてきました。また、川ゴミ拾いに参加してみたいと言ってくれた人がいました。街でゴミをみても捨てる場所が近くになくて拾えないという意見も頂きました。 ・防災への興味がある方は多いと感じた。川の保全の話と繋げられたら良いなと思う。 ・防災学習で訪問した児童や、川の企画に参加いただいた方もお見えになられ気兼ねなくお声を掛けていただいたことは嬉しかったです。 ・河川レンジャーってどんな人ですか?(複数の問い合わせ) ・ミニブックの構成が良く出来ていて、避難用品のコーナーで対応していて、何人かの親子連れに、これに貼って持ち帰ろう、よくわかるねー、自分が避難するときに持って行くものが見つけられたねーなど話されていた。

活動状況



川ゴミコーナー、クイズと対話



水害に備えよう、避難リュックを作ろう



模型で洪水を体験しよう



ワンドを知ろう、ぬりえ体験

5.14 茨田イチョウまつり　　・令和７年１１月２３日（日）

実施状況

活 動 名	茨田イチョウまつり			
氏　　名	上田　豪　（河川レンジャーアドバイザー） 玉井　理恵（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：ねや川水辺クラブ、摂南大学エコシビル部・石田ゼミ、NPO 法人日本水防災普及協会、大阪府立西寝屋川高校生物部、大阪府「私の水辺」推進協議会北河内委員会、大阪公立大高専、淀川管内河川レンジャー）			
活動日	令和 7 年 11 月 23 日（日）			
実施場所				
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		133 名	
	内訳	参加者	96 名	大人 64 名、子ども 32 名
		講師	―	
		スタッフ	―	
		市民団体等	13 名	ねや川水辺クラブ 5 名、寝屋川市自然を学ぶ会 4 名、NPO 法人日本水防災普及センター2 名、NPO 法人自然と緑 1 名、水辺に親しむ会 1 名
		行政機関	6 名	枚方土木事務所 2 名、寝屋川市役所 2 名、大阪府河川室 1 名、大阪府都市計画局 1 名
		学校関係	17 名	摂南大学エコシビル部 5 名、石田ゼミ 11 名（石田教授含む）、大阪工業大学応用科学部 1 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	1 名	
スケジュール	13:00 13:15 15:00	開会式（挨拶、協力団体等紹介、注意事項説明等） 各種イベント開始 ・堤防決壊模型実験　・浸水歩行体験　・どんぐり工作等クラフト体験 ・E ボート乗船体験　・パネル展示　・防災啓発、等 終了		
配付資料	茨田イチョウまつりしおり（チラシ裏面）、寝屋川流域ニュース 2025			
関係機関からの支援内容	【枚方出張所】河川公園車両通行証発行 【中央流域センター】子ども用ライフジャケット、のぼり、据え置きマイク、救急セット、スピーカー 【大阪府私の水辺北河内委員会】チラシ印刷、クラフト材料、ガムテープ、など 【寝屋川市下水道室】淀川左岸幹線水路の水位調整（E ボート運航のため） 【YK ベーキングカンパニー㈱】菓子パン			
河川レンジャーの活動内容	準　備	連携団体間調整、実行委員会招集、チラシ、資料作成、下見（危険個所確認）、物品手配、準備作業		
	当　日	会場設営、安全管理、進行		
	事　後	連携団体へのお礼と報告、報告書作成、反省会招集、次年度へ向けた総括		

参加者からの意見	・初めて参加した。限られたスペースながら出し物が多岐にわたり楽しかった。 ・初めてＥボートに乗った。短いコースだが想像していた以上に楽しかった。 ・Ｅボートに乗って、普段見ることのないアングルで面白い写真がたくさん撮れてよかった。 ・樹齢 120 年とは、すごいと思った。 ・工作も楽しかったし、お土産もたくさんもらえたので、歩いて来た甲斐があった。 ・無料でいろいろ楽しめてよかった。みなさんボランティアでされているとは驚きだ。市主催のイベントより値打ちがある。頑張ってください。 ・来年はぜひ出展したい。 ・毎年参加している。またここの銀杏でつくった「銀杏いもご飯」をふるまってほしい。

活動状況



開会式



クラフト体験



堤防決壊模型実験



Ｅボート乗船体験

5.15 点野みんなの水辺づくり　　・令和７年１２月１４日（日）

実施状況

活 動 名	点野みんなの水辺づくり			
氏　　名	上田　豪　（河川レンジャーアドバイザー） 玉井　理恵（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：摂南大学エコシビル部、ねや川水辺クラブ）			
活動日	令和 7 年 12 月 14 日（日）			
実施場所	寝屋川市点野　淀川河川公園点野野草地区（点野砂州・ワンドその周辺）			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		4 名	
	内訳	参加者	―	
		講師	―	
		スタッフ	1 名	土井 R
		市民団体等	2 名	ねや川水辺クラブ 2 名
		行政機関	―	
		学校関係	1 名	摂南大学エコシビル部 1 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	



スケジュール		
	9:00	点野流域センター集合 物品の積み込み
	9:30	セイタカヨシ、オギの移植エリアを状況確認 オギが育っていない一画があり、ちょうど緑陰のセンダンの枝が張り出している下にあたるので陽が当たらず、生育が阻害されている可能性も考えられるため、一部枝を伐木することにした。 10 月活動でシロザなどの丈の高い植物を抜根し、その場で集積したままだったので、エリアの外からのクズなどの侵出を防ぐための防塁となるよう集積した。 緑陰内のクズの除去の試みとして、根元から 30～50 ㎝ほど上で刈り、樹に巻き付いたツルを取り除いた。
		まとめ・共有
	11:45	土井 R にこれまでの川づくり活動の説明を兼ねて、全員で 1 号ワンドの状況を確認 流域センターへ戻り片付け

	12:30	終了・解散
配付資料		ー
関係機関からの支援内容		【枚方出張所】点野流域センターの使用、車両乗り入れ許可、ゲート鍵 【寝屋川市】ボランティア車両（軽トラ）、鎌、鋸、二段梯子、脚立、ロープ 【ねや川水辺クラブ】チェーンソー、ビニール手袋、軍手
河川レンジャーの活動内容	準　備	連携団体間調整、物品手配、下見
	当　日	安全管理、作業指導、進行
	事　後	団体間調整、情報共有
参加者からの意見		・他所の活動ではクズは根元から刈り取るだけだが、根がこんなに大きく深いとは思わなかった。 ・非常に勉強になり楽しかったので、また参加したい。 ・いつも草を刈るが、生えてこない刈り方を考えたい。 ・カモ類が多く飛来する季節になるので、バードウォッチングの場としての活用にも期待したいので、清掃（漂着ごみ、釣り糸など）も心掛けたい。

活動状況



セイタカヨシ、オギ、チガヤの移植説明



10 月刈取ったシロザ、オオブタクサの運び出しと集積



クズの駆除方法を工夫する

5.16 点野みんなの水辺づくり　　・令和８年１月１８日（日）

実施状況

活 動 名	点野みんなの水辺づくり			
氏　　名	上田　豪　（河川レンジャーアドバイザー） 玉井　理恵（河川レンジャーアドバイザー）			
運営形態	共催（団体名：摂南大学エコシビル部、ねや川水辺クラブ）			
活動日	令和８年１月 18 日（日）			
実施場所	寝屋川市点野　淀川河川公園点野野草地区（点野砂州・ワンドその周辺）			
参加人数および団体名（人数の右欄）	参加総数		6 名	
	内訳	参加者	―	
		講師	―	
		スタッフ	1 名	土井 R
		市民団体等	3 名	ねや川水辺クラブ 3 名
		行政機関	―	
		学校関係	2 名	摂南大学エコシビル部 2 名
		淀川河川事務所	―	
		河川レンジャー事務局	―	



スケジュール	9:00	点野流域センター集合 物品の積み込み
	9:30	注意事項、作業説明 ・先月に引き続き、移植エリアを覆うセンダンの枝を伐採する ・高所作業もあり注意必要 ・伐採作業は、ヘルメット着用。サポートであってもゴーグル着用が望ましい。 ・ワンドは水位が低く、漂着ごみが陸に残り、非常に見苦しい。作業の様子を見ながら、少しでも清掃時間を取りたい。
	9:45	作業開始 ・先週の強風で折れた枝などを撤去 ・移植エリアに張り出したセンダンの枝を伐採 ・枝の運び出し ・緑陰内で活用の妨げになるような枝を伐採
	11:10	・先に予定作業を終えた者で水辺清掃（1 号ワンドの本流沿い）

	11:30 12:00	作業終了、まとめ 終了・現地解散
配付資料		ー
関係機関からの 支援内容		【枚方出張所】点野流域センターの使用、車両乗り入れ許可、ゲート鍵、ごみなどの適正処理 【寝屋川市】ボランティア車両（軽トラ）、鎌、鋸、二段梯子、ロープ 【ねや川水辺クラブ】チェーンソー、ビニール手袋、軍手
河川レンジャーの活動内容	準　備	連携団体間調整、物品手配、下見
	当　日	安全管理、作業指導、進行
	事　後	団体間調整、情報共有
参加者からの意見		・太い枝は切っている途中で裂けてしまう場合があるので、熟練者中心でおこなうようにしたい。 ・葉が枯れた状態では、オギなのかセイバンモロコシなのか見分けがつかない。見分けやすい時期に、セイバンモロコシをしっかり除去しておくことが大事。 ・最後に清掃したが、ごみが多すぎる。毎回やった方がいい。 ・トングやひっかけ棒があった方がいい。毎回持ってくる。 ・今日は先月見られなかったキンクロハジロがたくさんいた。野鳥観察する時間も欲しい。 ・水鳥も増えているので、プラスチックごみや釣り糸などちゃんと除去したい。

活動状況



枯れたオオブタクサやセイバンモロコシの除去



緑陰広場活動の妨げとなる枝を伐採



センダンの木の枝を伐採



伐採後の枝を運びやすい大きさに